

現 場 説 明 書 (技術的事項)

工事名 (仮称) 東中条ポンプ所新築工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市神辺町地内に位置しています。

2 別途工事

プラント電気工事

プラント機械工事

場内配管工事

場内整備工事

3 福山市週休2日適用工事について

(発注者が指定した工事に該当し実施については(●)印のついたものを適用する)

・ 発注者指定型

(●) 受注者希望型

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休2日適用工事です。詳細については、別紙（公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

2 留意事項

【共通事項】

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣 住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (4) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。

- (5) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (6) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (7) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
また、工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (8) 高所作業に当たっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。
- (9) 実施工程表は、契約後 14 日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

【特記事項】

- (1) 施工区域及び隣接区域で別途工事が行われますので、現場着手日及び仮設計画など、あらかじめ関連工事業者とスケジュール調整を密に行い、協議調整の上、行ってください。
- (2) 施工区域前面道路は幅員が狭いため、施工時に通行止めを行う場合は、監督員と協議の上、地域住民への周知及び予告看板など、適切な措置を講じてください。
- (3) 工事で既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。
- (4) 本工事対象施設は本工事完成時に受電を行いません。そのため、建築電気及び建築機械の工事完了時の試験成績、機能確認は仮設にて電源を用意し試験を行ってください。
- (5) 工事作業及び工事関係車両の搬入出は、8 時～17 時までとしてください。
- (6) 重機作業等については、十分な振動・騒音・粉塵対策を講じてください。
- (7) 施工前に、施工図を提出し監督員の承諾を受けてください。
- (8) 本現場説明書及び設計図書に明示していない事項、またはその内容に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議し指示を受けてください。

福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施について

1 福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。

(1)「週休 2 日」とは、次のアからイまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。

ア 「完全週休 2 日（土日）」とは、対象期間の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの 7 日間とする。以下同じ。）毎に現場閉所又は現場休息（以下「現場閉所等」という。）を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1 週間に 2 日以上現場閉所等を行うものをいう。

イ 「月単位の週休 2 日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4 週 8 休（現場閉所等の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上のものをいう。以下同じ。）以上であるものをいう。

(2)「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

(3)「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業が無い状態をいう。

(4)「対象期間」とは、工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間（契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。）を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

ア 年末年始 6 日間及び夏季休暇 3 日間

イ 工場製作のみが行われている期間

ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

(5)「発注者指定型」とは、週休 2 日適用工事として発注者が指定するものをいう。

(6)「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休 2 日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

2 週休 2 日は、次の各号に定めるところにより実施するものとする。

(1) 完全週休 2 日（土日）

1 (1) アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が 7 日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

(2) 月単位の週休 2 日

1 (1) イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では 4 週 8 休に満たない月又は日数が 28 日に満たない月においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実

施できるものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けられないものとする。なお、週休2日実施を希望しない受注者は、6～7に規定する義務を負わない。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - （1）品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - （2）その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を土木工事にあつては標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置し、建築工事にあつては施設管理者の承諾を得て公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費の補正は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - （1）発注者指定型
月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。
 - （2）受注者希望型
週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。
- 11 土木工事に係る経費の補正係数については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。
 - （1）完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03
 - （2）月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
-------	------

イ 共通仮設費 1.01

ウ 現場管理費 1.02

12 11(1)ア及び11(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工とする。

13 建築工事に係る経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費 1.02

イ 現場管理費 1.01

(2) 月単位の週休2日

労務費 1.02

14 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

15 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日	完全 週休２日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及 び支管取付工	1.01	1.01

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日	完全 週休２日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1) 土木工事

ご協力をお願いします	
週休 2 日適用工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市上下水道局 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

(2) 建築工事

週休 2 日 適用工事

(A 3 サイズ以上)

(3) 共通

週休 2 日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休 2 日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市上下水道局〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A 3 サイズ以上)

(仮 称) 東 中 条 ポ ン プ 所 新 築 工 事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
1	位置図・工事箇所図	図示
2	配置図・敷地断面図・面積求積図	1:150
3	工事区分表	-
A-1	建築工事 特記仕様書No.1	-
A-2	建築工事 特記仕様書No.2	-
A-3	建築工事 特記仕様書No.3	-
A-4	建築工事 特記仕様書No.4	-
A-5	求積図・仕上表	1:100
A-6	平・立・断面図	1:100
A-7	平面詳細図	1:30
A-8	断面詳細図	1:30
A-9	部分詳細図(1)	図示
A-10	部分詳細図(2)	図示
A-11	建具枠回り詳細及び記号(鋼製)	-
A-12	建具枠回り詳細及び記号(鋼製・鋼製軽量)	-
A-13	建具配置図・建具リスト	1:100
A-14	貫通孔・埋込管及び基礎仕様書	-
A-15	貫通孔・埋込管及び基礎図(1)	1:30
A-16	貫通孔・埋込管及び基礎図(2)	1:30

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
S-1	建築工事 特記仕様書 構造関係	-
S-2	鉄筋工事仕様書No.1	-
S-3	鉄筋工事仕様書No.2	-
S-4	土質柱状図	1:100
S-5	伏図	1:50
S-6	軸組図	1:50
S-7	断面リスト、部分詳細図	1:30
S-8	架構配筋詳細図	1:30
C-1	現況平面図	1:100
C-2	現況横断・縦断図	1:100
C-3	土工平面図	1:100
C-4	土工断面図	1:100
C-5	造成平面図	1:100
C-6	造成断面図	1:100
C-7	小型重力式擁壁展開図・標準図	1:100 1:25
AM-1	機械設備工事 特記仕様書No.1	-
AM-2	機械設備工事 特記仕様書No.2	-
AM-3	換気設備、機器表、平・断面図	1:30
AE-1	電気設備工事 特記仕様書	-
AE-2	電灯・コンセント設備 平面図	1:50

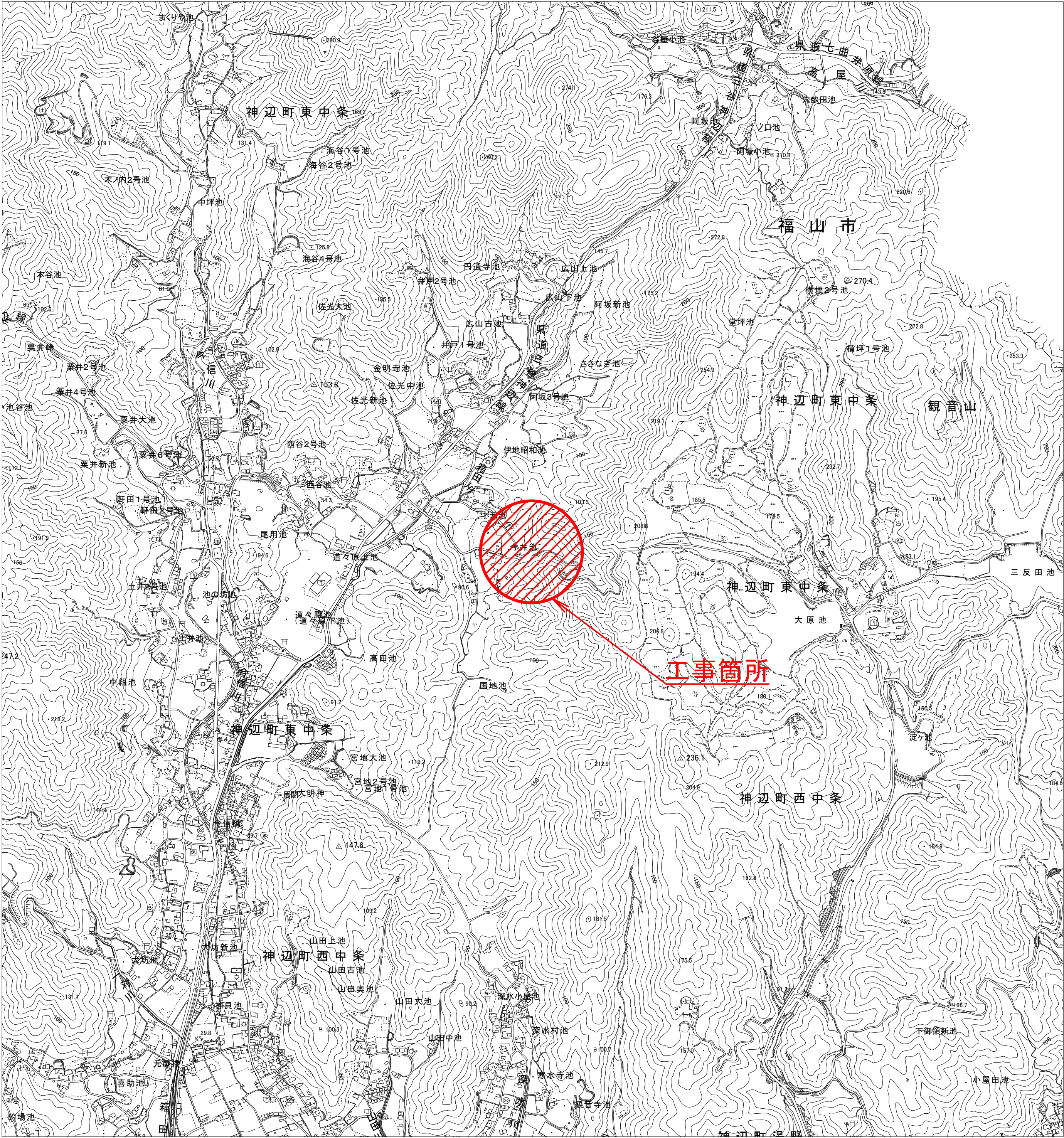
※:図面縮尺はA1サイズ出力でのものを記載

工事概要
・構造 RC造 平屋建
規模 延べ面積 31.42m2
・その他 擁壁工 一式
・換気設備工事 一式
・電灯設備工事 一式

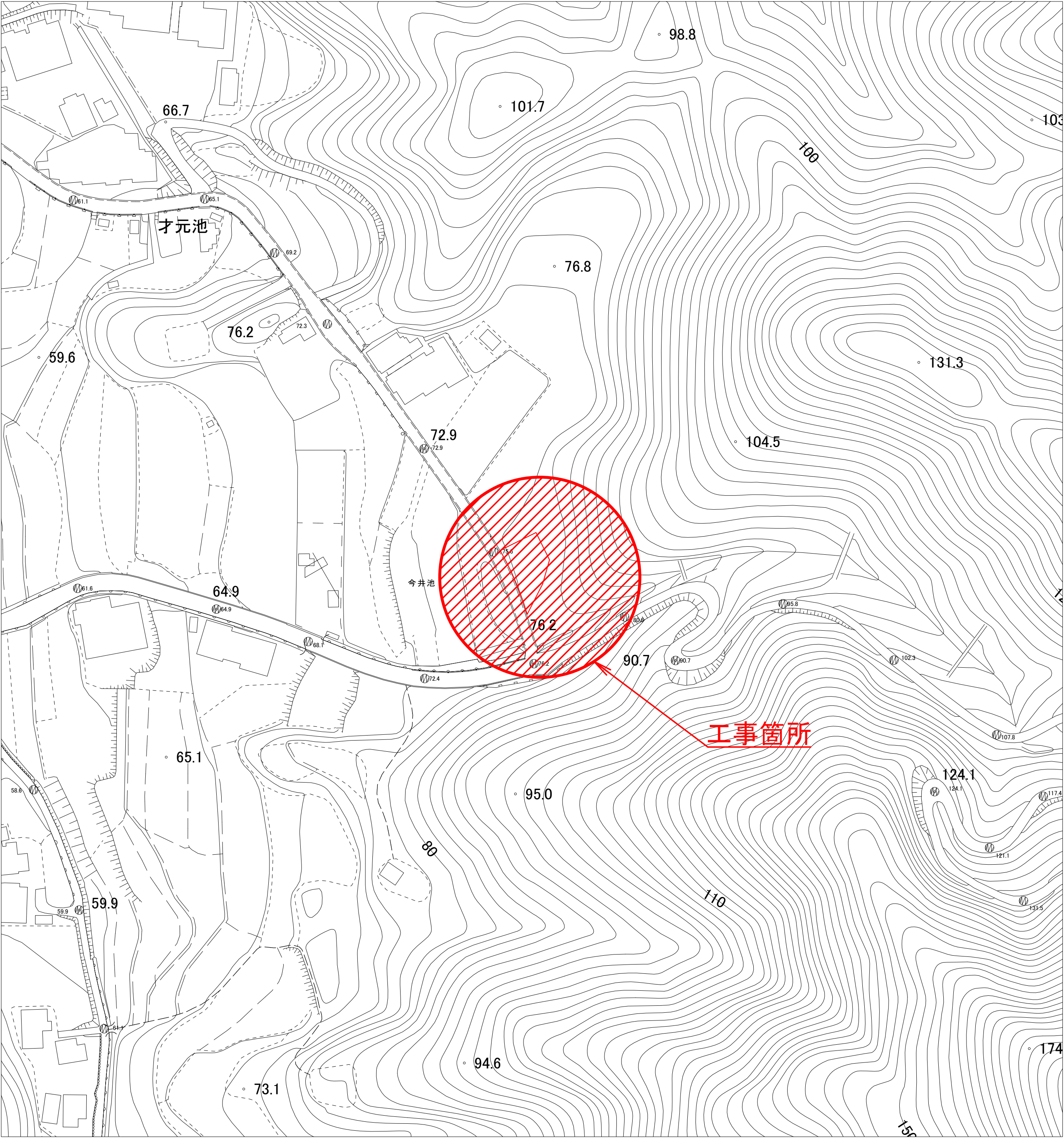
工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	位置図・工事箇所図		
図面番号	1	縮 尺	図示
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

位置図 S=1 : 10,000

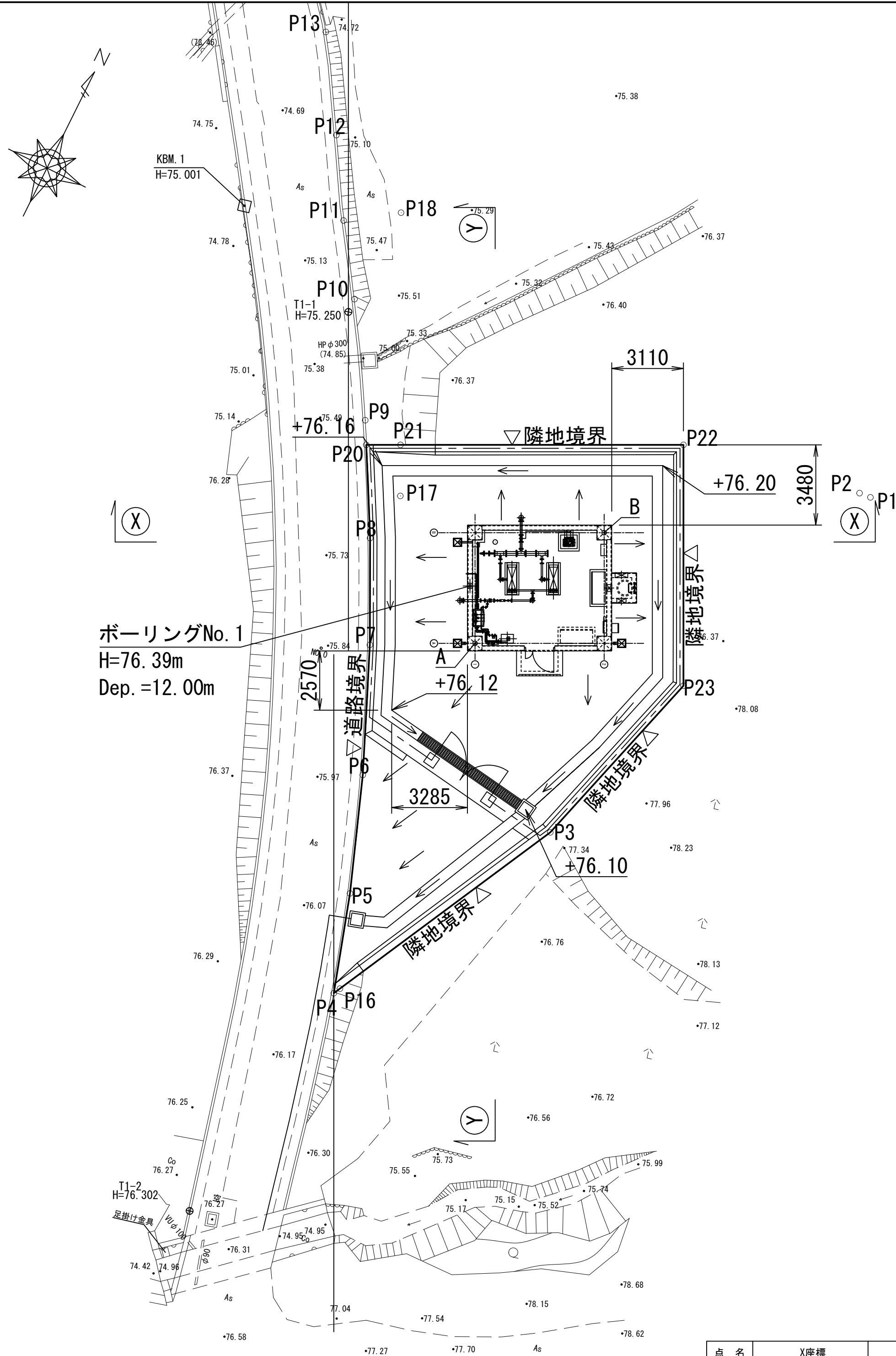


工事箇所図 S=1 : 1,000



工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	配置図・敷地断面図・面積求積図		
図面番号	2	縮 尺	1:150
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



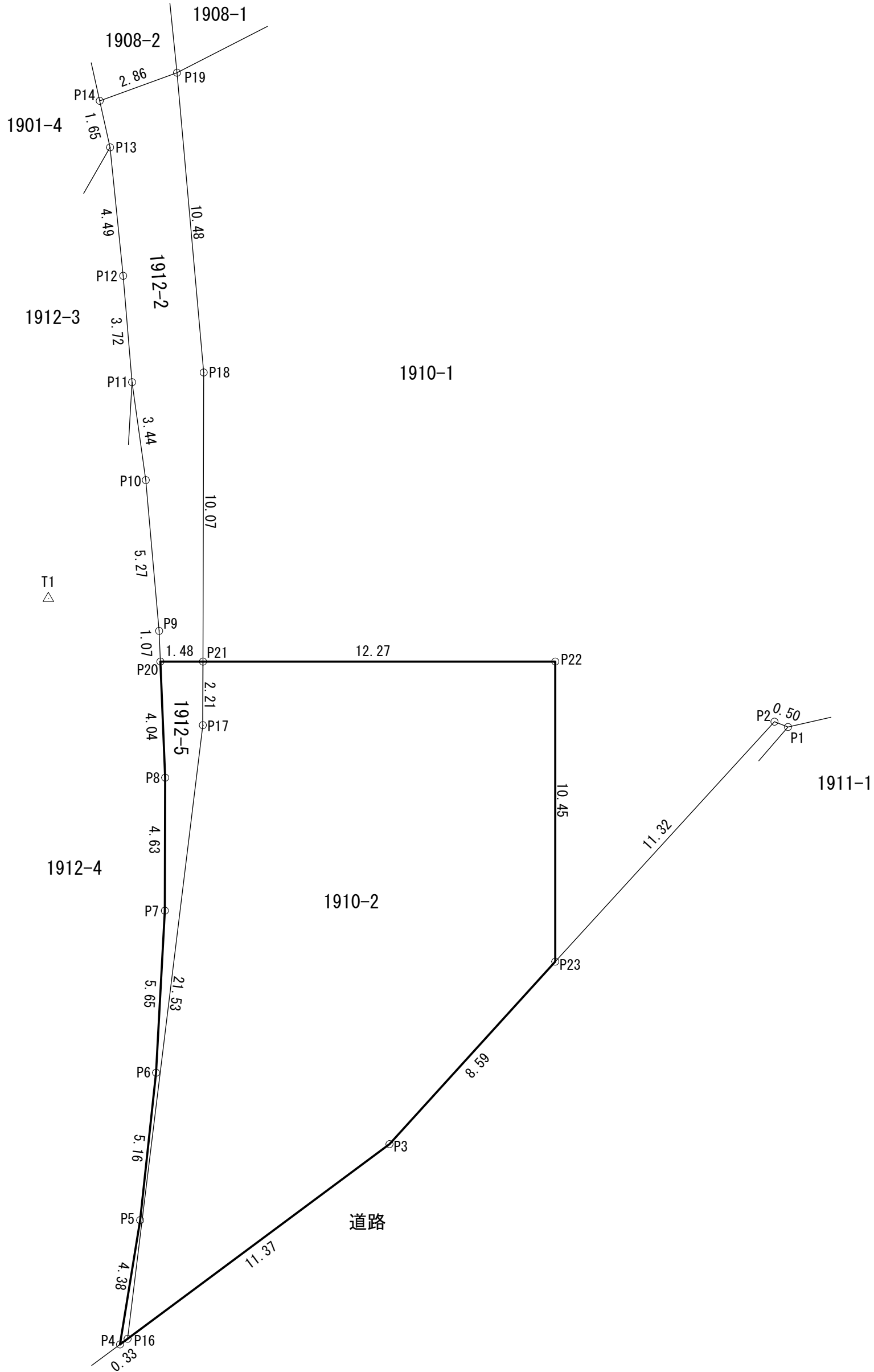
ボーリングNo. 1
H=76.39m
Dep.=12.00m

配置図 S=1:150

点 名	X座標	Y座標
T1-1	-156117.450	111462.008
T1-2	-156155.458	111473.154
A	-156127.894	111473.314
B	-156121.107	111476.201

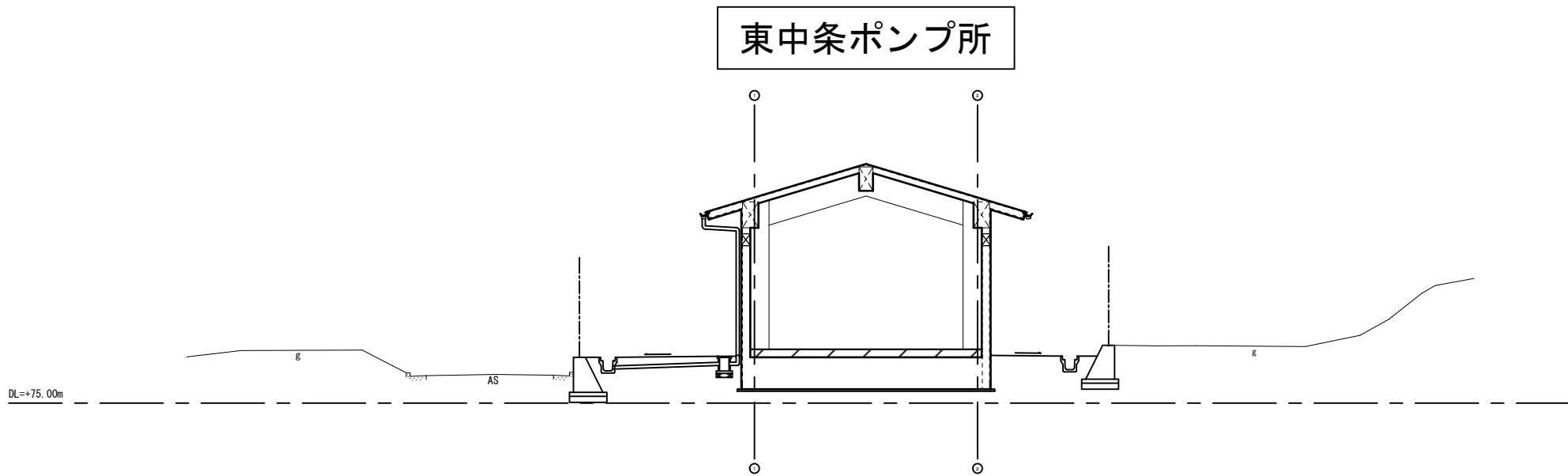
東中条ポンプ所

断面図 S=1:150



敷地求積図 S=1:150

東中条ポンプ所



断面図 S=1:150

敷地求積表

地 番	1912-5				地 番	1910-2			
測点名	X 座 標	Y 座 標	X _{n+1} -X _{n-1}	Y (X _{n+1} -X _{n-1})	測点名	X 座 標	Y 座 標	X _{n+1} -X _{n-1}	Y (X _{n+1} -X _{n-1})
P4	-156144.216	111474.564	3.897	434416.375908	P21	-156121.615	111466.592	7.439	829199.977888
P5	-156140.025	111473.271	9.041	1007829.843111	P22	-156116.164	111477.592	-3.915	-436434.772680
P6	-156135.175	111471.487	10.044	1119619.615428	P23	-156125.530	111482.233	-17.629	-1965320.285557
P7	-156129.981	111469.255	9.352	1042460.472760	P3	-156133.793	111479.880	-18.392	-2050337.952960
P8	-156125.823	111467.207	7.707	859077.764349	P16	-156143.922	111474.714	10.190	1135927.335660
P20	-156122.274	111465.262	4.208	469045.822496	P17	-156123.603	111467.571	22.307	2486507.106297
P21	-156121.615	111466.592	-1.329	-148139.100768	倍 面 積				-458.591352
P17	-156123.603	111467.571	-22.307	-2486507.106297	面 積				229.2956760
P16	-156143.922	111474.714	-20.613	-2297828.279682	合 計				241.5920235
倍 面 積				-24.592695	敷 地 面 積				241.59 m
面 積				12.2963475					

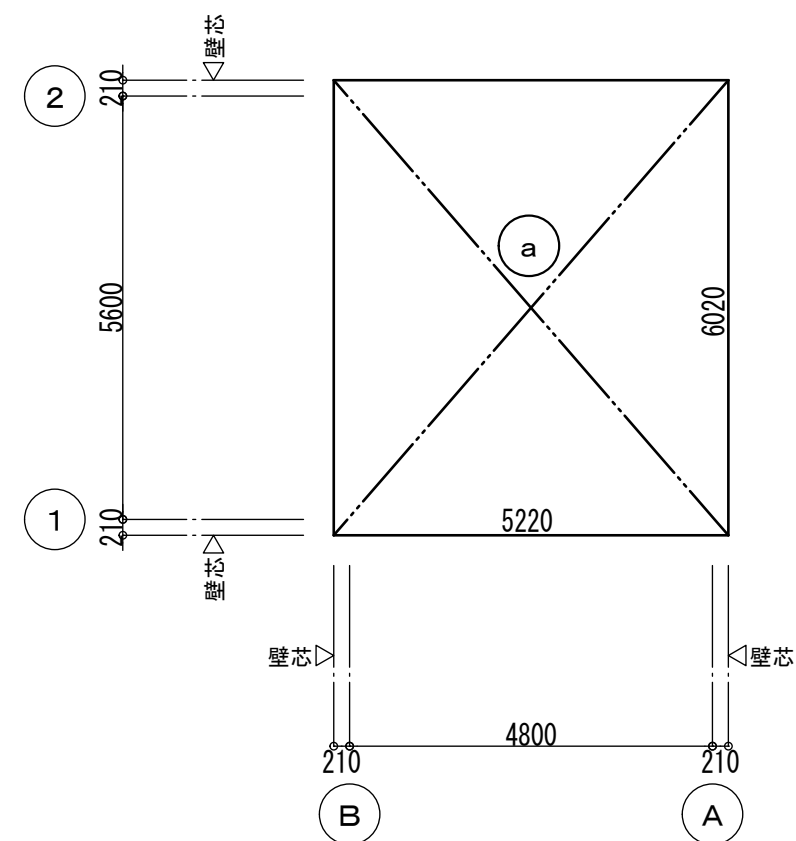
設計年月2026年1月

C A AM AE は、一括発注につき、図面記載上の区分を示す。

[illegible]

[illegible]

工事名称
(仮称) 東中条ポンプ所新築工事
図面名称
建築工事 特記仕様書 No. 4

[illegible]

面 積 表		
建 築 面 積	Ⓐ	31.42 m ²
延 べ 床 面 積	Ⓐ	31.42 m ²
1 階 床 面 積	Ⓐ	31.42 m ²

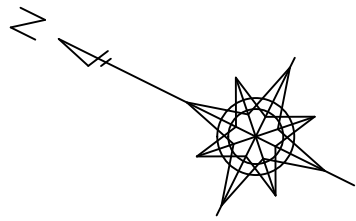
工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	求積図・仕上表		
図面番号	A-5	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

ポンプ棟 仕 上 表																		
共 通 事 項		略 号				外部付属物及び詳細番号					内部付属物及び詳細番号							
1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。		C	コンクリート	複層塗材	(E)	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	・ 屋上点検口	・ 5-2-1-1	・ くつ洗い流し	・ 8-2-2-1	・ 8-2-2-2	・ 流し合	・ 6-1-1-1	・ 図 示	・ カーテンボックス	・ 鋼 製	・ 3-3-1-1・2	
2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例)1-02-03は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)を示す。		CB	コンクリートブロック	複層塗材	(CE)	ポリマーセメント系複層仕上塗材	・ 屋上管類取り出し口	・ 5-2-2-1	・ グレーチング	・ 図 示		・ フード	・ 6-1-1-2	・ 図 示	ブラインドボックス	・ 図 示		
		W	木造	複層塗材	(RE)	反応硬化形成成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	・ クーリングタワー基礎	・ 5-2-2-2	・ 5-2-2-3			・ コンロ台	・ 6-1-1-1	・ 図 示		・ アルミ製	・ 3-3-1-3	
		LGS	軽量鉄骨	複層塗材	(Si)	けい酸質系複層仕上塗材	テレビアンテナ基礎				・ 電気用ハンドホール蓋	・ 図 示	・ 流し上部水切り	・ 6-1-1-3	・ 6-1-1-4		・ 図 示	
3. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室回りは除く。		GB-R	せっこうボード	CL	クリアラッカー塗り	・ 屋上換気塔	・ 5-2-1-2	・ 図 示	・ 文字板	・ 図 示		・ つり戸棚	・ 6-1-1-5	・ 図 示	・ 屋内掲示板	・ 既製品		
4. 付属物のうち、室名札、床点検口、掲示板、案内板、ピクトグラム、階段表示板等は、平面図による。		GB-N C(N)	不燃積層せっこうボード(化粧無し：下地張り用)	AE	アクリル樹脂エナメル塗り	・ 煙 突	・ 図 示	・ 7-2-1-1	・ 戸名板	・ 図 示		・ 水切り棚	・ 6-1-1-5	・ 図 示	・ 手すり	・ アルミ(図示)		
		GB-N C(NT)	不燃積層せっこうボード(化粧有り：トラバーチン模様)	DP	耐候性塗料塗り	◎足掛け金物	・ 8-3-1-1	◎図示	・ 郵便受	・ 図 示		・ 脱衣箱	・ 6-3-2-1			・ ステンレス(図示)		
		GB-S	シーシングせっこうボード	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	・ タラップ	・ 8-3-1-2		◎目地	◎図 示		・ 天井点検口	・ 3-4-2-2		・ 階段手すり	・ アルミ		
5. 付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井伏図による。		GB-F	強化せっこうボード	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り		・ 8-3-1-3	(安全ガード付)				・ 床点検口	・ 既製品			・ 一般便所	・ 既製品	・ 6-2-2
		ケイカル板	けい酸カルシウム板(タイプ2)	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	◎と い	・ 5-3-1・32・33	◎図示				・ 車椅子使用者用簡易型便所	・ 6-2-3-1・2・3・4		・ 吸音壁	・ 2-0-2-1・3		
6. P F板、木板等打込み箇所は、別図による。		DR	ロックウール化粧吸音板 トラバーチン模様	OS	オイルステイン塗り	・ ルーフドレン	・ 5-3-2-1								・ 3-0-1-1・2			
		DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板 凹凸模様	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り		・ 5-3-3-1					・ オストメイト用便所	・ 6-2-4-1・2・3・4		・ 断熱材打込み	・ 7-0-1-1		
7. 内壁の見え掛りとなるP F板打込み部分は、G B厚12、5直張り(継目処理工法)とし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。		DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板 軒天井用：トラバーチン模様	NAD	アクリル樹脂非水分散形塗料塗り	・ トップライト	・ 図 示					・ 車椅子使用者用便所	・ 6-2-5-1		・ 押 入	・ 6-4-6-1		
		DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板 軒天井用：凹凸模様	LE	ラッカーエナメル塗り	・ 既製品									・ ホイストレール	・ 図 示		
8. 壁のボード張りは水平方向には原則として継手は設けない。		P F板	押出法ポリスチレンフォーム保温材	WP	木材保護塗料塗り	・ E X P・J金物	・ 図 示					・ 便所手すり	・ 6-2-8-1・2・3・4・5		・ クレンジャーダー	・ 図 示		
		木毛板	木質系セメント板	GW-B	グラスウール吸音ボード2号32Kガラスブロック顔縁貼	・ アルミ(図示)	・ 図 示					・ トラフ	・ 1-2-1-		・ 搬入口	・ 図 示		
		T B	テラスブロック		ステンレスファスナー止め(壁・天井8か所毎(910×1,820相当))	・ ステンレス(図示)						・ 8-2-1-			・ マンホール蓋	・ 図 示		
9. 天井仕上ボード張りのうち、GB-N C(NT)及びD R(下地G B共)は突付け張りとし、天井回り縁は、アルミ製、天井付き目地とする。		外装薄塗材(E)	外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材			・ 旗 竿	・ 図 示					・ 足掛け金物	・ 8-3-1-1	・ 図 示	・ 室名札	・ 8-4-3-1		
		内装薄塗材(Si)	内装けい酸質系薄付け仕上塗材			・ くつふきマット	・ 8-2-1-1・2・3					・ ピクトグラム	・ 8-4-4-1		・ 各階案内板	・ 8-4-2-1		
		内装薄塗材(E)	内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材									・ タラップ	・ 8-3-1-3	(安全ガード付)	・ 庁舎案内板			
10. 直接地業工事に接する内部床のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚0.15の敷込みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂塗床、床用塗料の場合とする。		(C(B))	コンクリート打直し(B)									・ フック	・ U型 図示		・ 各階案内板			
		(C(C))	コンクリート打直し(C)									・ グレーチング受枠	・ 図 示		・ 手足箱	・ 図 示		
		M	モルタル									・ 浴室まわり	・ 6-3-1-					
11. 打直し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。		軽量吹付	軽量骨材仕上塗材															

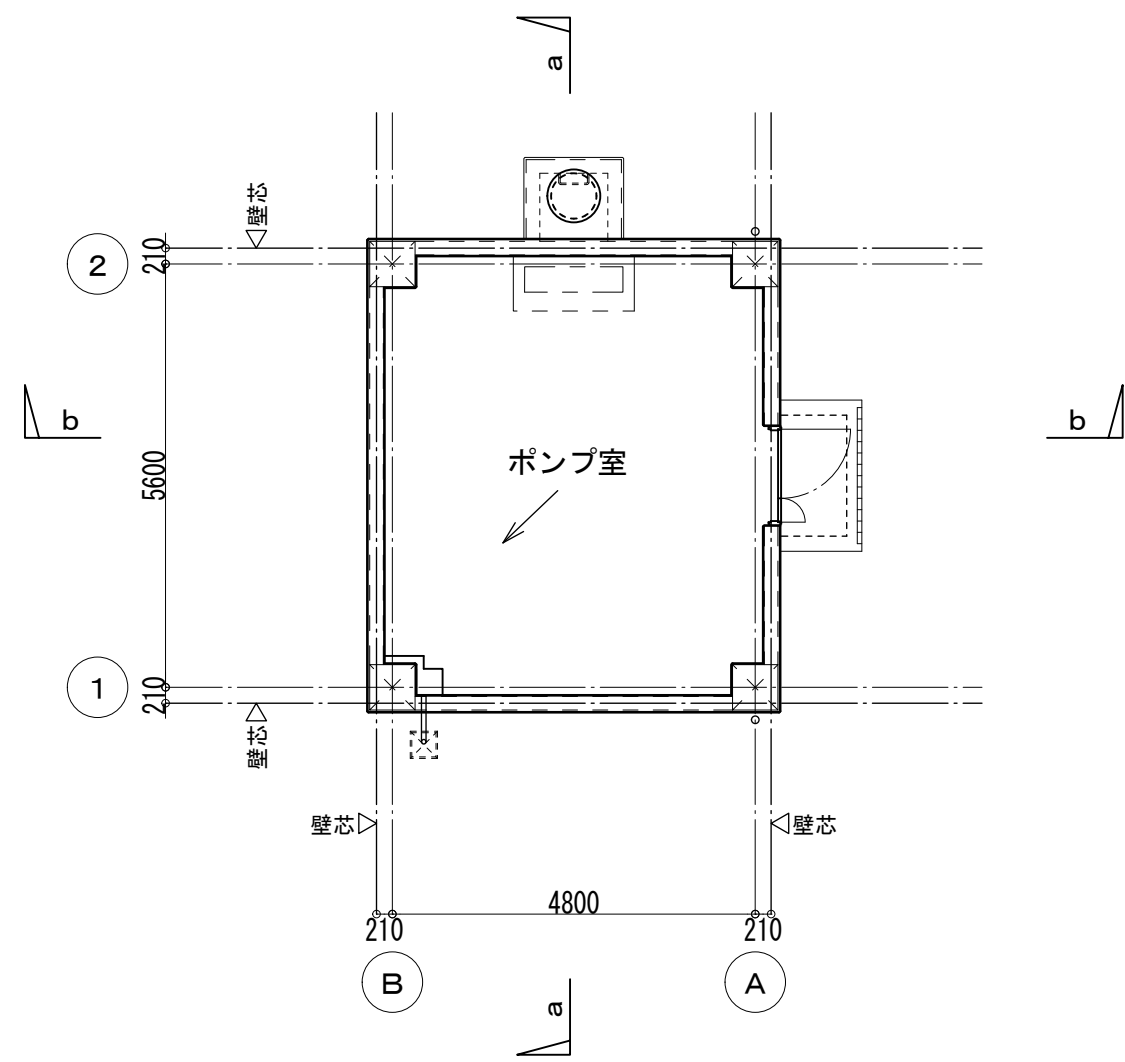
外 部 仕 上 表											
床	腰・幅木	外 壁	屋 根		パラペット	バルコニー		ひさし			備 考
			下地・防水層	押え・仕上		床	手 す り	上 端	は な	軒 天	
・ 磁器質タイル ・ コンクリート直均し仕上 ○ モルタル塗り	・ 磁器質タイル ○ コンクリート打放し（Ｂ）	・ 磁器質タイル ○ コンクリート打放し（Ｂ）の上 複層塗材（ＲＥ）	下 地 ○ コンクリート直均し仕上 防水層 ・ アスファルト防水（Ａ－ ） 絶縁材 ・ ポリエチレンフィルム厚0. 15 ・ フラットヤーンクロス（Ａ1－ ） 70 g/m ²	押え ・ 無筋コンクリート厚80 補強用溶接金網6 φ－100⑧ 仕上 ・ 押えコンクリート直均し仕上 仕上 ○ 塗膜防水（Ｘ－2）	笠 木 ・ アルミ既製品 ・ 避雷導体兼用 E－01－1 立上がり防水押え ・ 5－01 ・ 5－04 ・ 5－02 ・ 5－05 ・ 5－03 ・ 5－11	仕 上 ・ 磁器質タイル ・ 防水モルタル塗り	・ 磁器質タイル ・ コンクリート打放し（Ｂ）の上 複層塗材（ＲＥ） ・ 軒天用ロックウール（外部用） 化粧吸音板	防水層 ・ アスファルト防水（ ） ・ 合成高分子ルーフィング シート防水 ○ 塗膜防水（Ｘ－2） 押 え ・ 無筋コンクリート厚 仕 上 ・ 防水モルタル塗り ・ コンクリート直均し仕上	・ 磁器質タイル ○ コンクリート打放し（Ｂ）の上 塗膜防水（Ｘ－2） ・ 金属板（ ）	・ 金属成形成板 ・ ケイカル板ＡＥ ○ コンクリート打放し（Ｃ）	軒樋：着色塩化ビニル製W150（既製品） 縦樋： カラーＶＰ φ75

[illegible][illegible]

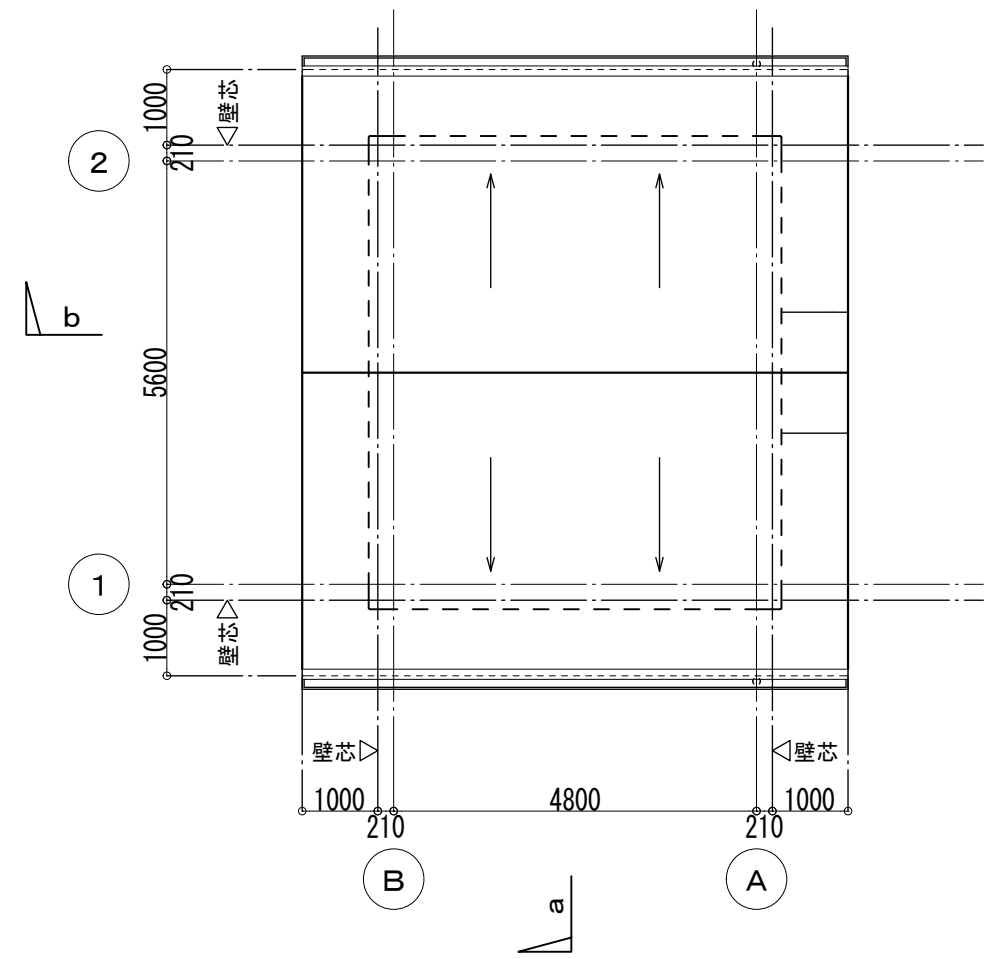


工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	平・立・断面図		
図面番号	A-6	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

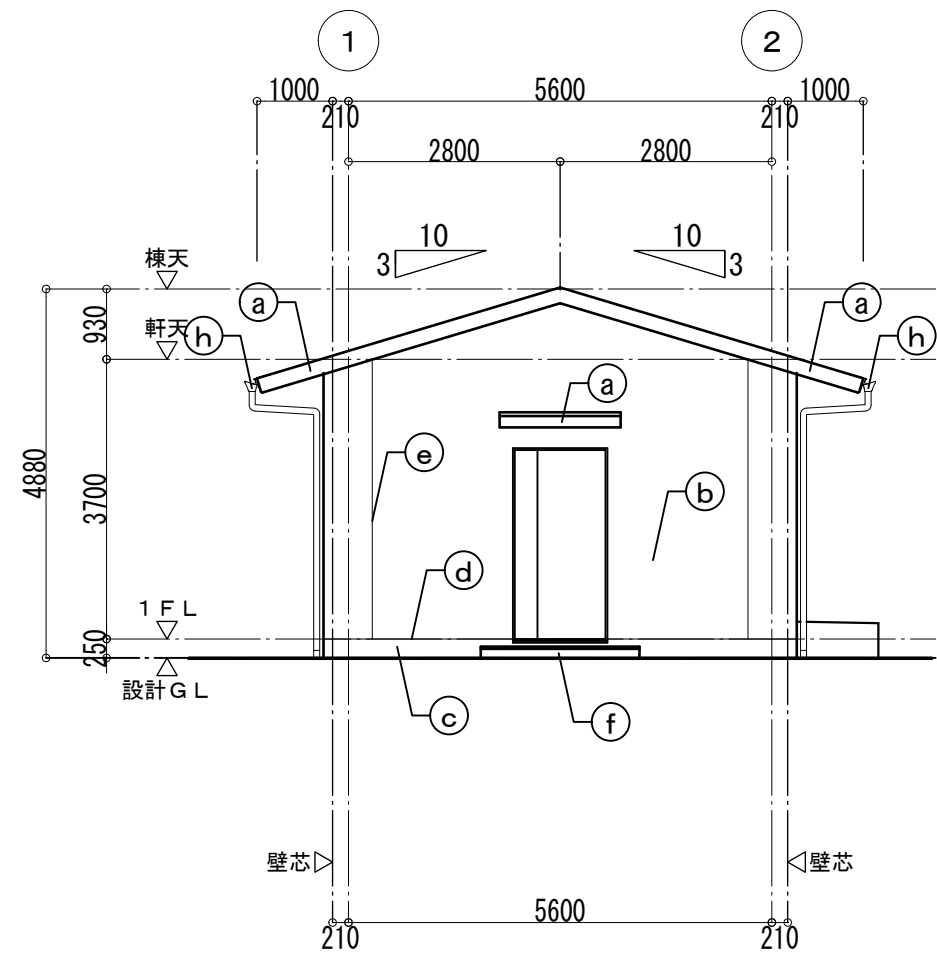
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



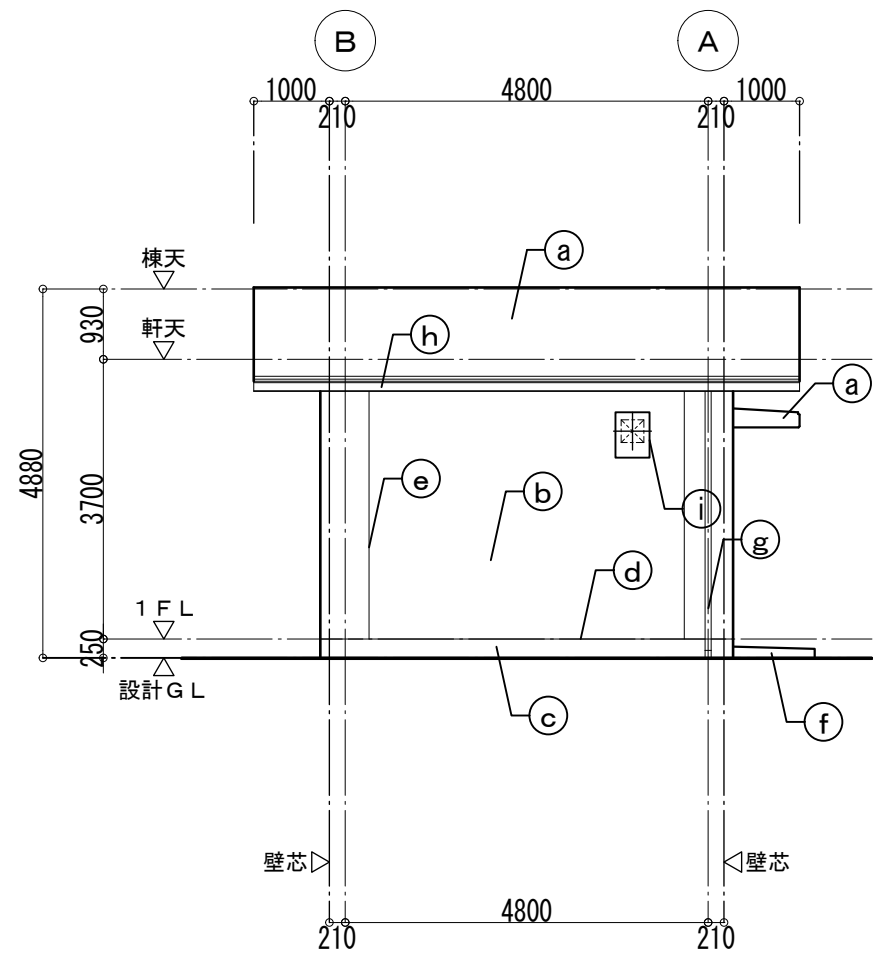
1階平面図 S=1/100



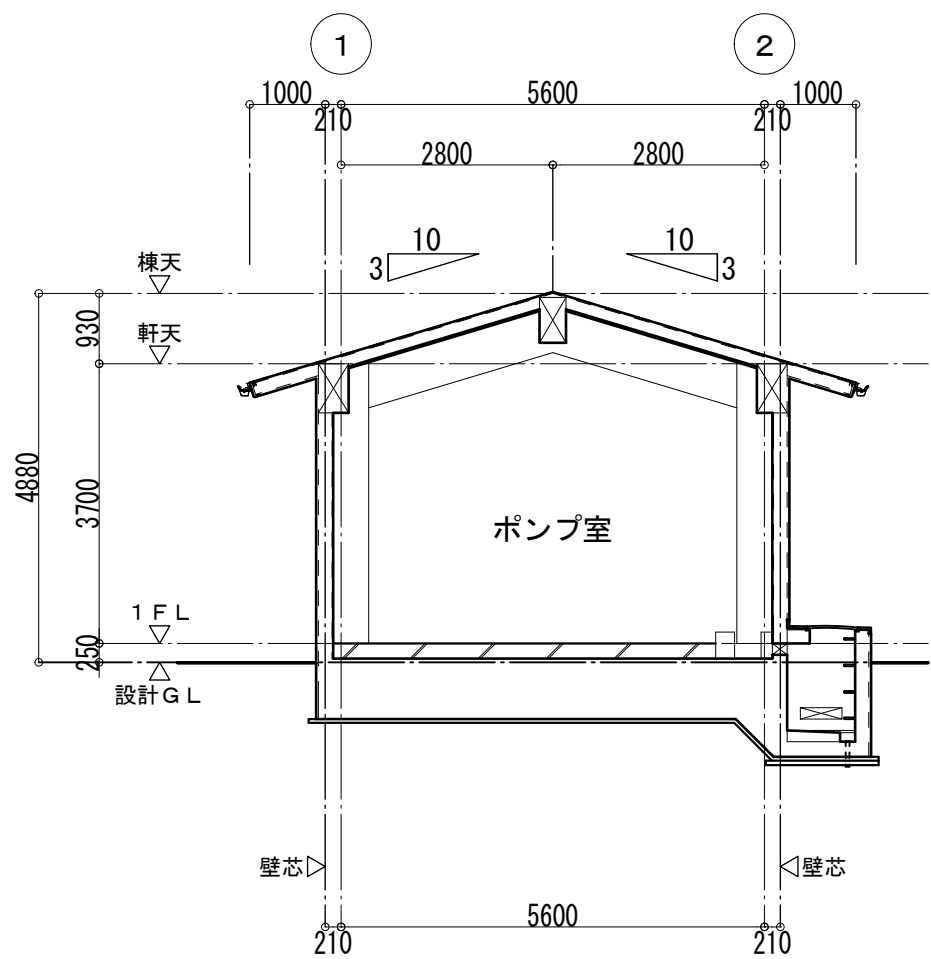
屋根伏図 S=1/100



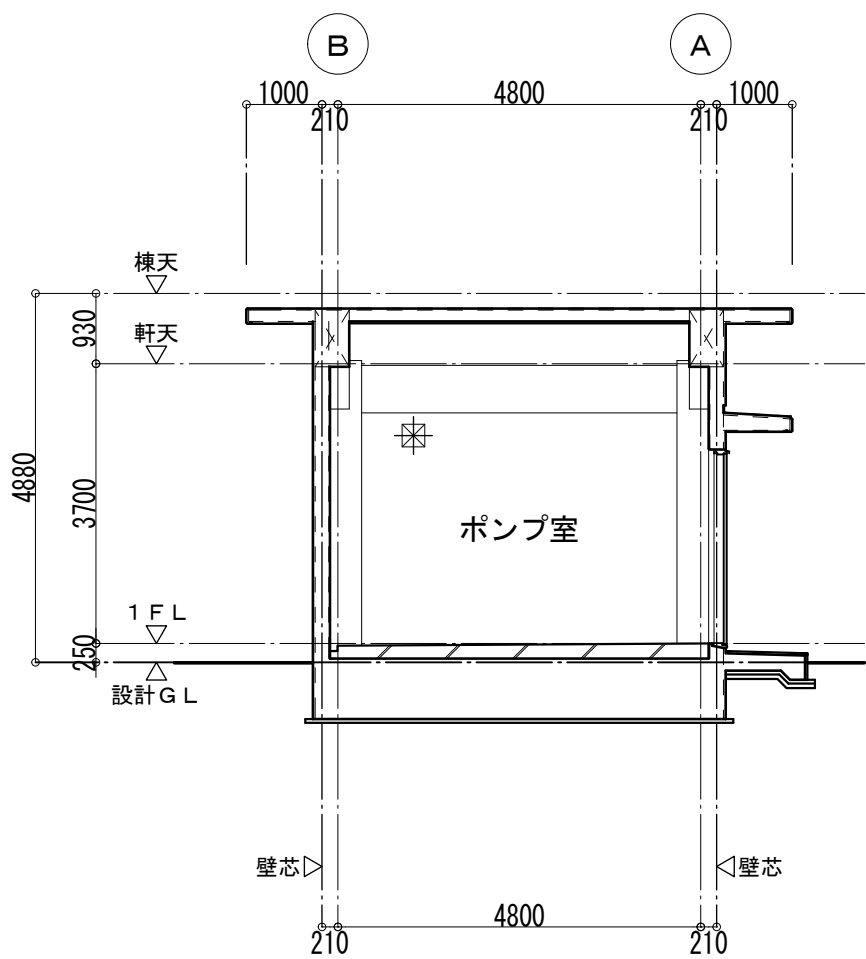
南立面図 S=1/100



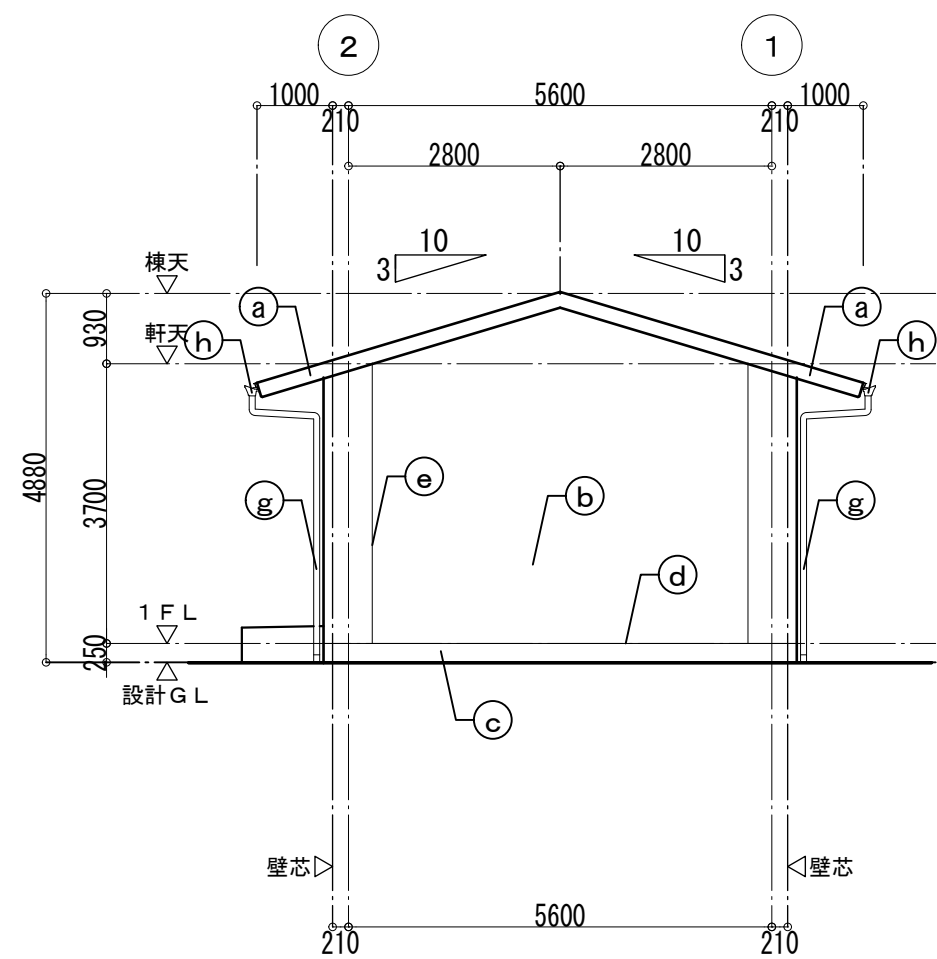
西立面図 S=1/100



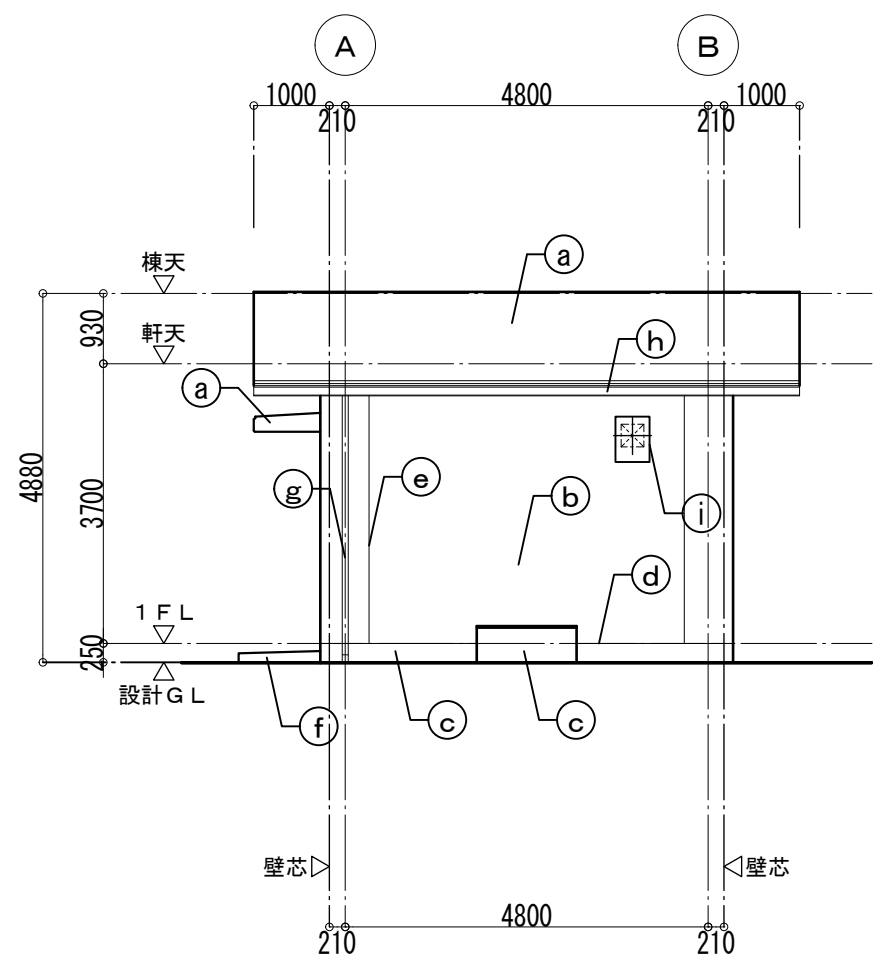
a-a断面図 S=1/100



b-b断面図 S=1/100



北立面図 S=1/100

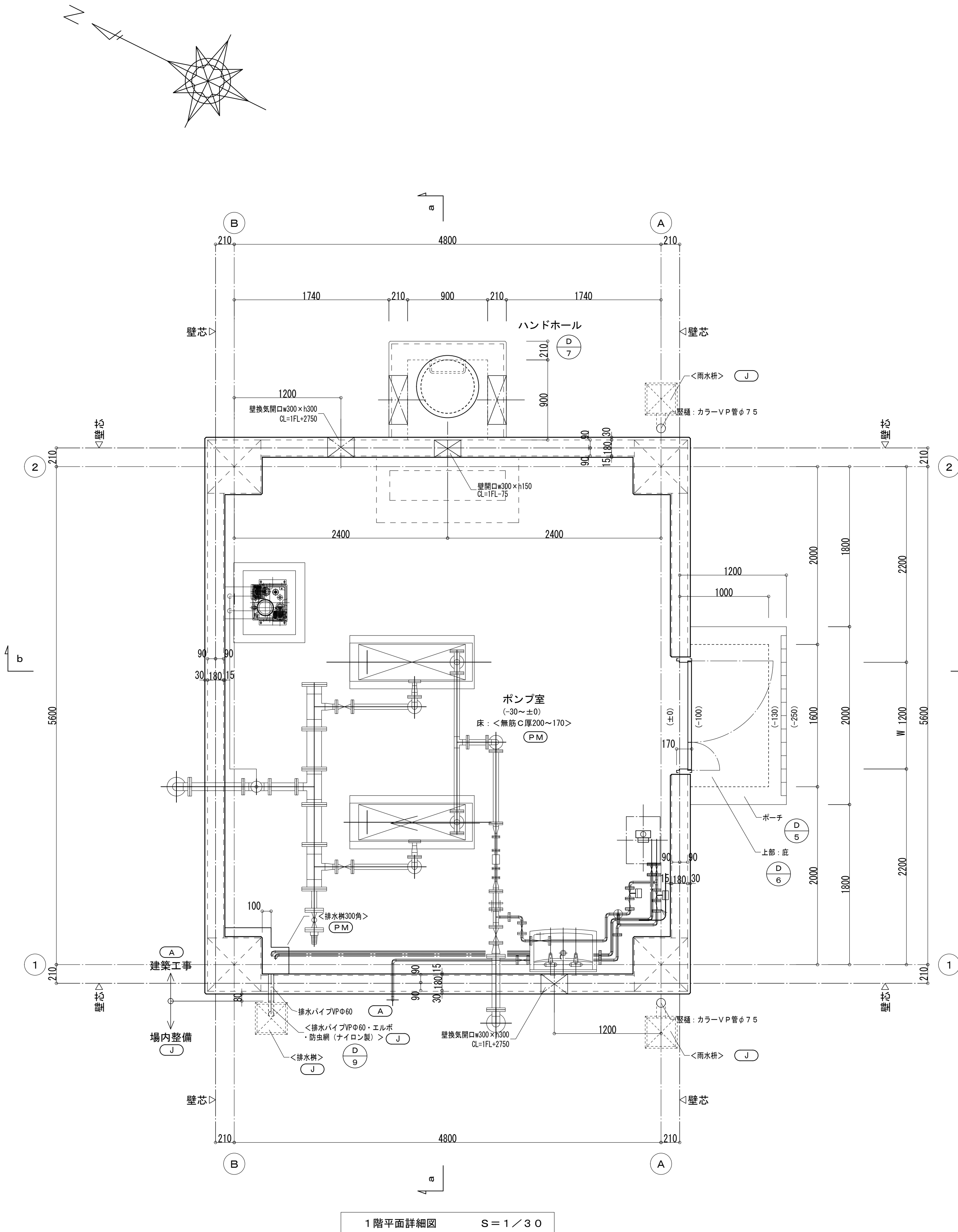


東立面図 S=1/100

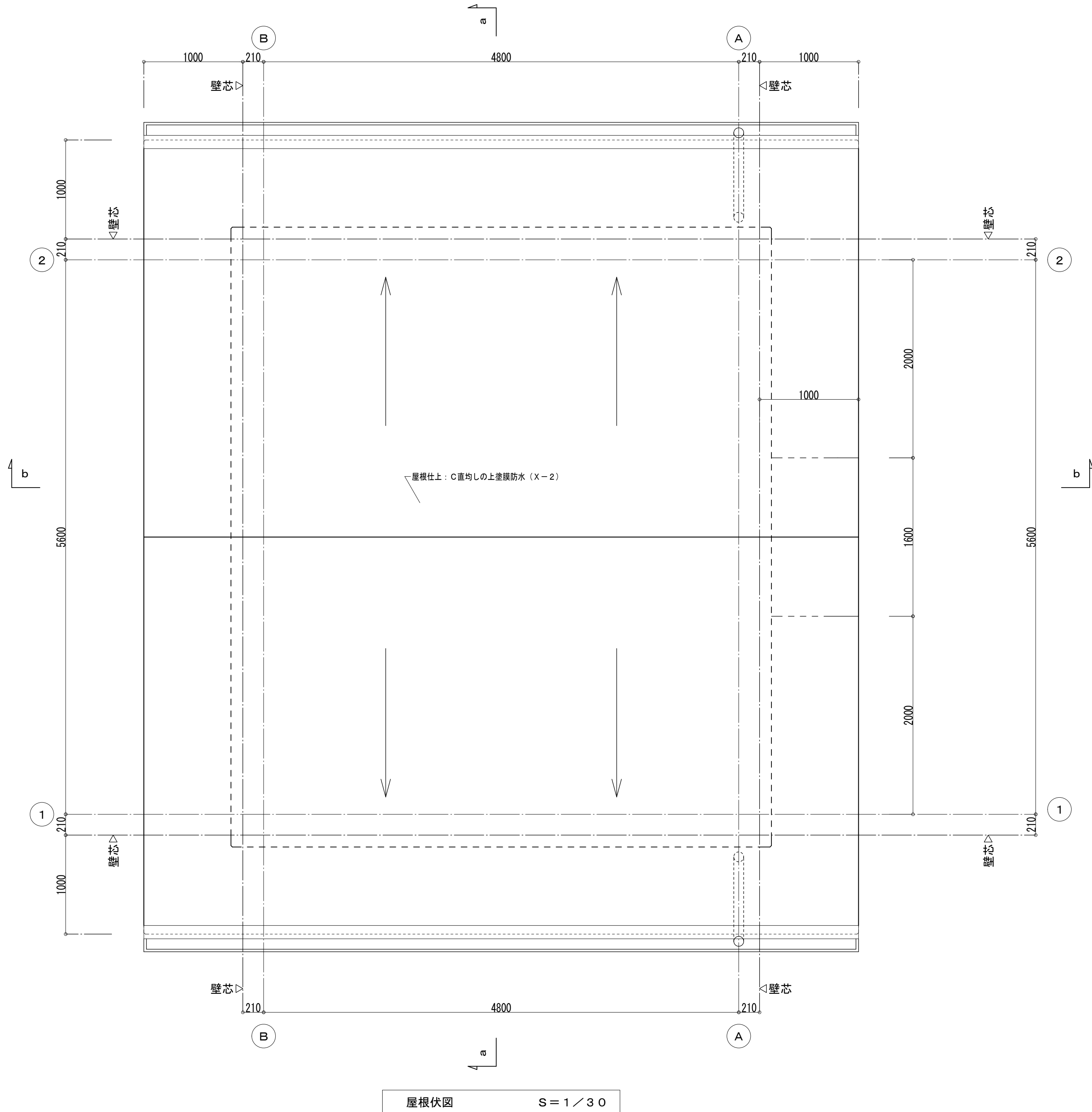
記号	凡例
(a)	屋根仕上：塗膜防水 (X-2)
(b)	コンクリート打放し (B) の上複層塗材 (RE)
(c)	コンクリート打放し (B)
(d)	打継目地 $\frac{D}{3}$
(e)	ひび割れ誘発目地 $\frac{D}{3}$
(f)	モルタル塗t30
(g)	縦樋：カラーVP管φ75
(h)	軒樋：着色塩化ビニル製W150 (既製品)
(i)	ウェザーカバー (AM)

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	平面詳細図		
図面番号	A-7	縮 尺	1:30
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



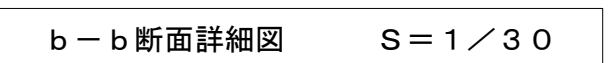
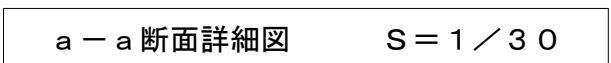
1階平面詳細図 S = 1 / 3 0



屋根伏図 S = 1 / 3 0


- 特記事項
- 内外仕上は、別紙内外仕上表による。工事区分は図示及び工事区分一覧表による。
 - 内番号は詳細図番号を示す。
 - < >内番号は建築工事標準詳細図（令和4年度版）の番号を示す。
 - ()内はF Lからのレベルを示す。

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



特記事項

1. 内外仕上は、別紙内外仕上表による。工事区分は図示及び工事区分一覧表による。

2.  内番号は詳細図番号を示す。

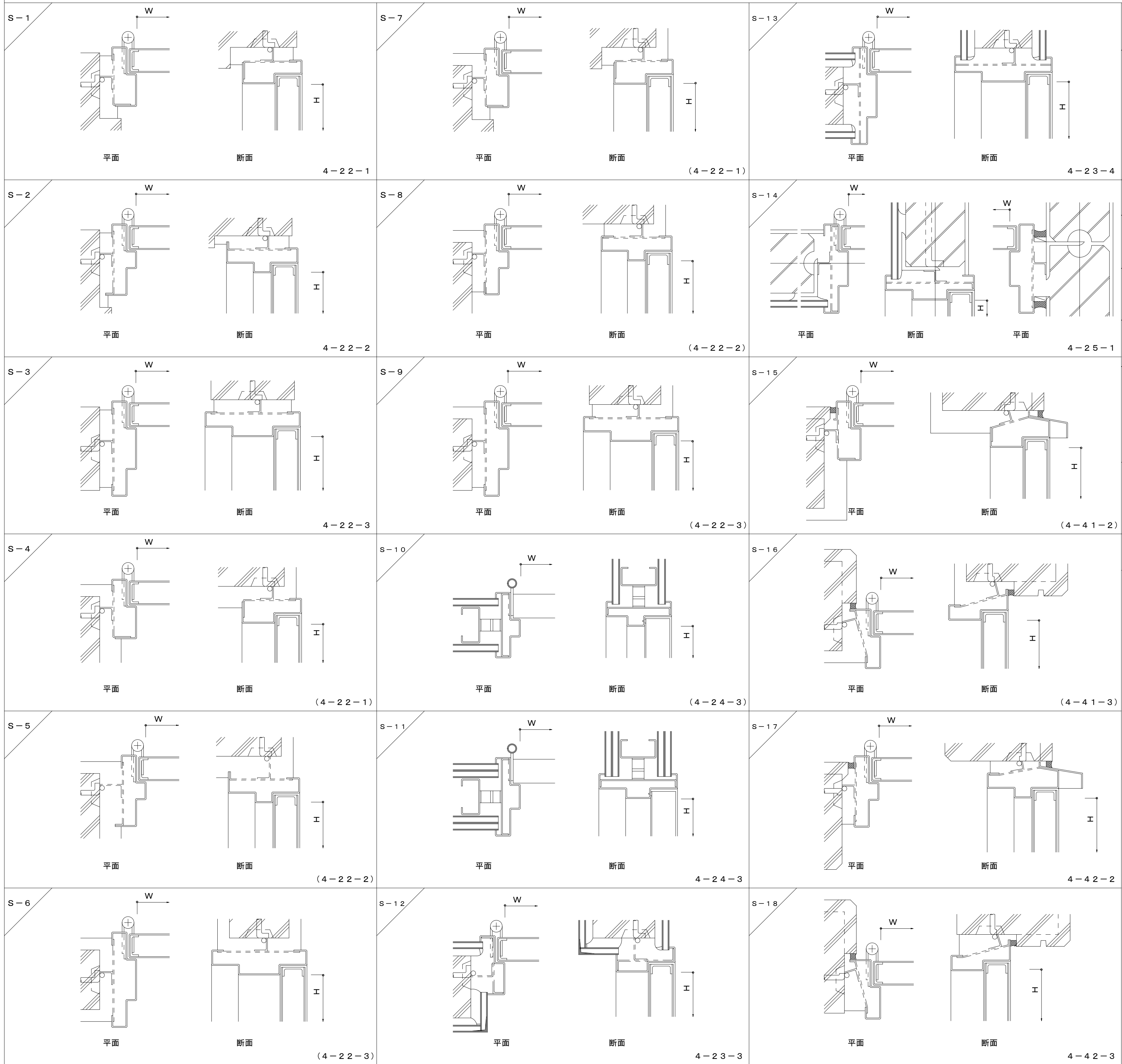
3. < >内番号は建築工事標準詳細図（令和4年度版）の番号を示す。

建具枠回り詳細及び記号

(鋼製建具)

鋼製建具(一般)

()は標準図番号に準ずる



共 通	1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。 但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。 2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。（内部サムターン付） 3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。 4. A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（防火戸は除く）をつける。 壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。） 5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。 6. アルミニウム製窓の締め金物、排煙口操作レバーの位置は床から1、5 0 0以内とする。 7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。	8. 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。 9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは4 0 mmとする。 1 0. 防火戸の位置は建具配置図による。 1 1. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。 1 2. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。 1 3. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。 1 4. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。 1 5. 大型建具の補強材はアングル（L－5 0 ×5 0 ×6）の通し物とする。	建 具 略 号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
				アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D		A S	a W	
				鋼 製	S D	S W	S G	S O D		S S		
				鋼製軽量	L D					L S		
				ステンレス製	S S D	S S W	S S G			S S S		
事 項			ガラ ス 略 号	木 製	W D	W W	W G		P	H		
				F 型板ガラス				金	D C	ドアクローザー		
				P フロート板ガラス				物	A H	オートヒンジ		
				N 網入型板ガラス				略	F H	フロアヒンジ		
				N P 網入みがき板ガラス				号	P H	ビボットヒンジ		

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	建具枠回り詳細及び記号(鋼製)		
図面番号	A-11	縮尺	-
福山市上下水道局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

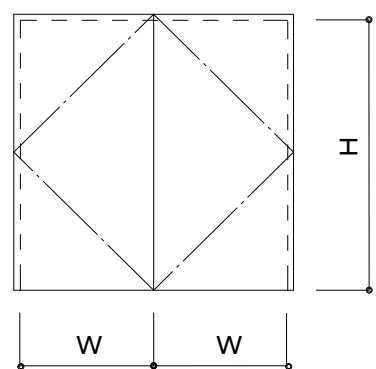
金物の種類	金物の仕様	金物の種類	金物の仕様
大型丁番	SUS製又は黄銅製 KKシブタニ(DH-340S) 中西産業KK(5K-5600) GK堀商店(2841) 程度とする	両面締りハンドル (ローラー付きグレモンハンドル)	ハンドル ステンレス製 KKシブタニ(H72SX+JSDL55) 中西産業KK(SUS-X191-00) GK堀商店(2644W) 程度とする
内蔵型上げ落し (カセットケース式 内蔵型グレモン締り)	ハンドル ステンレス製 KKシブタニ(55Gシリーズ) 中西産業KK(GMS-1300シリーズ) 程度とする	片面締りハンドル (ローラー付きグレモンハンドル、 ロック付き)	ハンドル ステンレス製 KKシブタニ(H170S) 中西産業KK(SUS-FX-1-SR) GK堀商店(2644F) 程度とする
大型上げ落し (大型面付け上部締り)	KKシブタニ(DL-2000) 中西産業KK(AL-180) GK堀商店(2621) 程度とする	面付3点両面締りハンドル	ハンドル 黄銅製 KKシブタニ(DL-4000T-3D) GK堀商店(2651-TG-3W) 中西産業KK(SF-3) 程度とする
大型扉用戸当り あおり止め	床付け GK堀商店(2113) 中西産業KK(DC-X-19) KKシブタニ(DC-91) 程度とする 壁付け GK堀商店(2103) 中西産業KK(DC-X-20) 程度とする	面付2点片面締りハンドル (両開き扉用)	ハンドル 黄銅製 KKシブタニ(DL-4000T-2S) GK堀商店(2651-TG-2F) 中西産業KK(SF-2) 程度とする

大型、気密ドアの仕様

姿 図	大型鋼製建具(外部用)		大型鋼製建具(内部用)	
	H > 2,400 W > 950	H > 2,400 W > 950	H > 2,400 W > 950	H > 2,400 W > 950
一般丁番 (150)	形状別扉見込寸法、丁番表による。		形状別扉見込寸法、丁番表による。	
大型丁番				

※ 扉面積2.5㎡以上の場合は大型戸当り、あおり止めを設ける。

ドア見込み及び丁番表



- 1) [] 内数値は扉の見込寸法を示す。
2) ※は「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」による。

H \ W	950以下		1,250未満		1,500未満		1,750未満	
	大 型	気 密	大 型	気 密	大 型	気 密	大 型	気 密
2,000未満	※	[40] 一般(150) 3枚	[40] 一般(150) 3枚	[40] 一般(150) 3枚	[50] 大型 3枚	[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚
2,400以下	※	[50] 一般(150) 3枚	[40] 一般(150) 3枚	[50] 大型 3枚	[50] 大型 3枚	[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚
3,000未満	[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 3枚
3,500未満			[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚

建具枠回り詳細及び記号

(鋼 製 ・ 鋼 製 軽 量 建 具)

(ー ー) は標準図番号に準ずる

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	建具枠回り詳細及び記号(鋼製・鋼製軽量)		
図面番号	A-12	縮 尺	-
福 山 市 上 下 水 道 局			




設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

鋼 製 建 具 (簡易気密)		鋼 製 建 具 (気密)		鋼 製 軽 量 建 具	
SAT ー1		AT ー1		L ー1	
	(4-43-2)		気密(外部両開き)		4-22-5
	(4-43-3)		大型気密(外部両開き)		(4-22-5)
SAT ー2		AT ー3		L ー3	
	(4-44-2)		気密(内部両開き)		(4-22-5)
	(4-44-3)		大型気密(内部両開き)		(4-24-4)
SAT ー3		AT ー5		L ー5	
	(4-45-2)		気密(外部片開き)		4-24-4
	(4-23-5)		気密(内部片開き)		

くつずり

a		f		k	
b		g		l	
c		h		m	
d		i			
e		j			

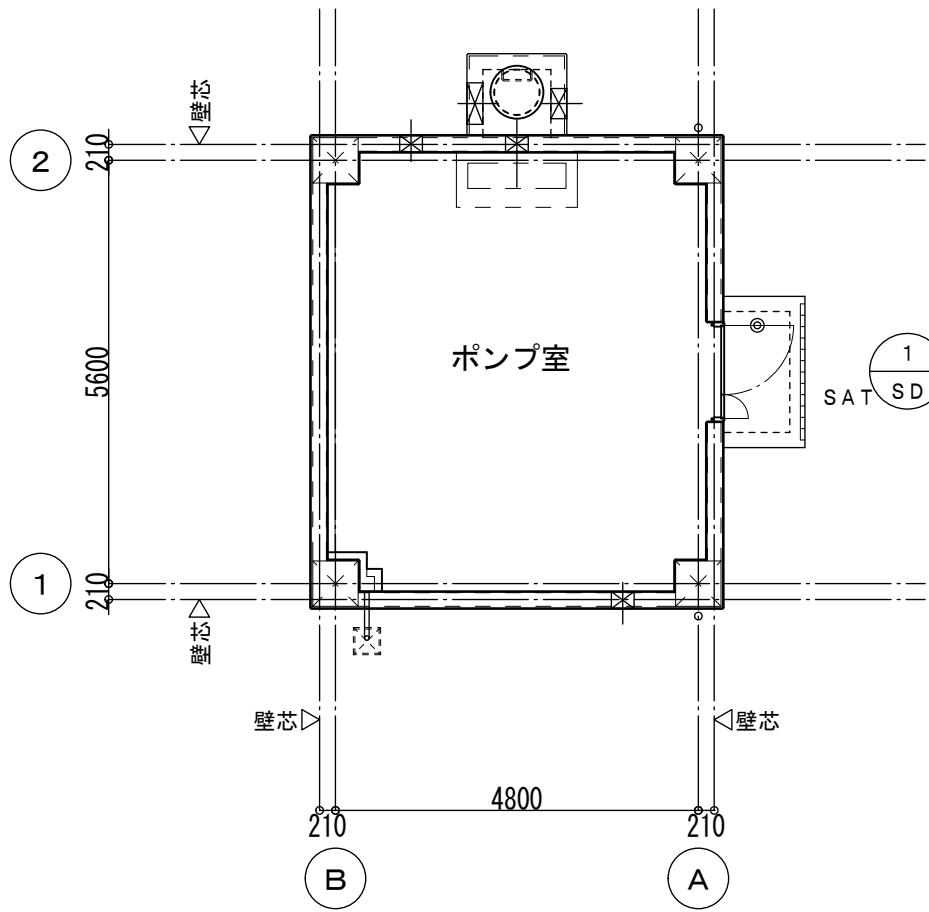
ガラリ形状

イー1		ロー1		ハー1	
					
イー1	SG	開口率	30%	ロー1	SG
				開口率	30%
				ハー1	SG
				開口率	30%

共通事項	1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠(内部サムターン)とし内部は本締り付きモロックとする。 但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。 2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠(特記なき限り同一キー)とする。(内部サムターン付) 3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。 4. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め(防火戸は除く)をつける。 壁仕上げボード類の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。) 5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。 6. アルミウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1、500以内とする。 7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。	8. 特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。 9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。 10. 防火戸の位置は建具配置図による。 11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。 12. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。 13. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。 14. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。 15. 大型建具の補強材はアングル(Lー50×50×6)の通し物とする。	建 種 別 戸 窓 ガラリ 具 アルミニウム製 AD AW AG AOD 鋼 製 SD SW SG SOD 鋼製軽量 LD ステンレス製 SSD SSS SSG 号 木 製 WD WW WG ガラ F 型板ガラス ラス P フロート板ガラス 略 N 網入型板ガラス 号 N P 網入みがき板ガラス	金 D C ドアクローザー 物 A H オートヒンジ 略 F H フロアヒンジ 号 P H ビボットヒンジ

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	建具配置図・建具リスト		
図面番号	A-13	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



1階建具配置図 S=1/100

	ドアチェック（ストップなし）
	ドアチェック（ストップ付）
特防	特定防火設備
法2	法第2条第九号の二ロの規定する防火設備
A T	気密戸
S A T	簡易気密戸

建具リスト

符号	・ 名称 ・ 個数		鋼製大型簡易気密親子開き扉（外部）	1ヶ所						
場所			1階 ポンプ室							
仕上（枠共）			D P							
建具	見込（ランマ）		5 0							
	硝子（ランマ）									
	ガラリ									
建具枠	見込取合 窓摺		1 7 0							
枠記号	窓摺（水切）記号		S A T－6	h						
建具金物			ステンレス大型丁番（6） 面付三点締りハンドル 片面締りハンドル（2） D C（ストップ付） シリンダー本締り錠 大型戸当たり あおり止め 略号 S A T							
形状・寸法										

共
通
事
項

1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。

2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。
（内部はサムターン付）

3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。

4. A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（防火戸を除く）をつける。
壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）

5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。

6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1, 5 0 0以内とする。

7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。

8. 特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。（枠廻り詳細による。）

9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは4 0 mmとする。

10. 防火戸の位置は建具配置図による。

11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。

12. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。

13. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。

14. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

15. A T－2、A T－4の補強材はアングル（L－5 0 × 5 0 × 6）の通し物とする。

建
具
略
号

種 別

戸

窓

ガラリ

オーバーヘッドドア

紙障子

ふすま

シャッター

網戸

アル ミ ニ ウ ム 製

A D

AW

A G

A O D

A S

a W

鋼 製

S D

SW

S G

S O D

S S

鋼 製 軽 量

L D

L S

ス テ ン レ ス 製

S S D

S S W

S S G

S S S

木 製

W D

W W

W G

P

H

ガラ
ス
略
号

F 型板ガラス

P フロート板ガラス

N 網入型板ガラス

N P 網入みがき板ガラス

金 物

略

号

D C

A H

F H

P H

ドアクローザー

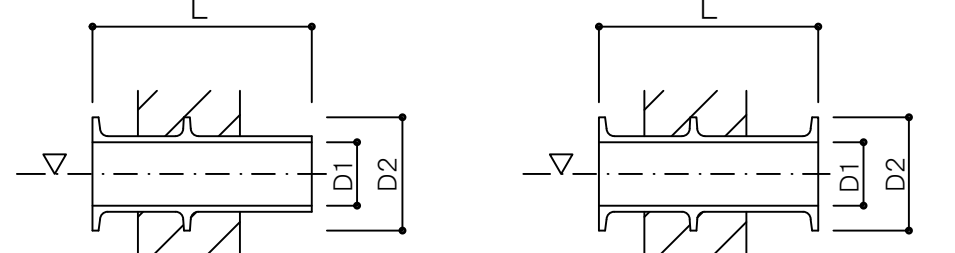
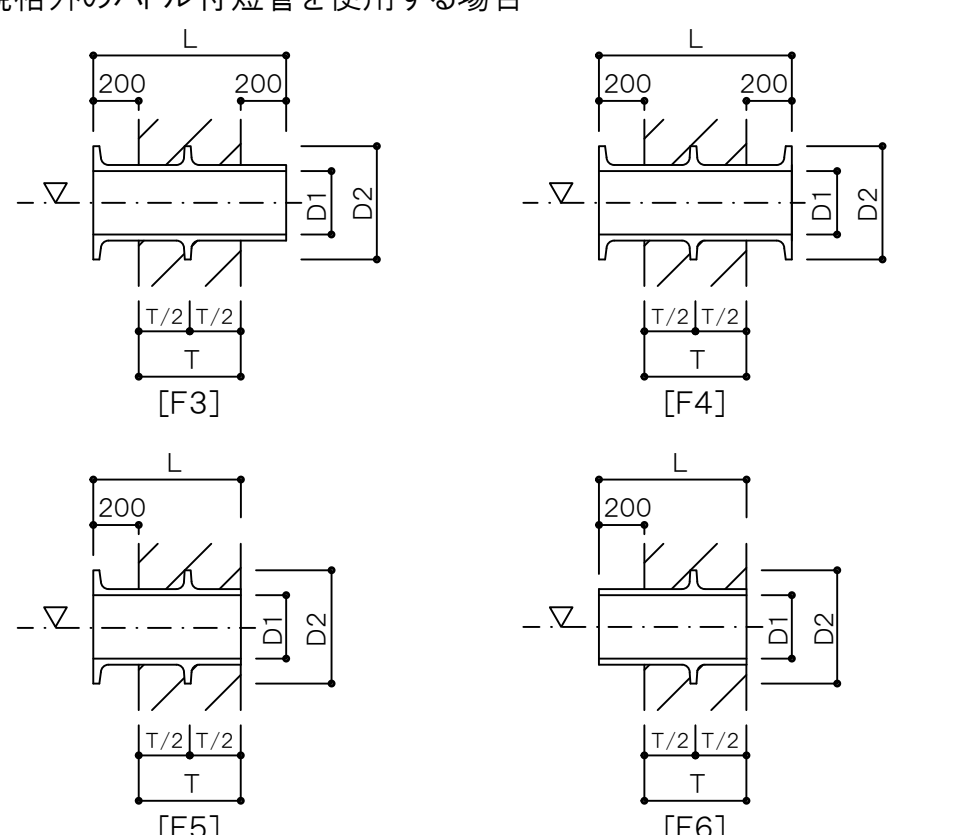
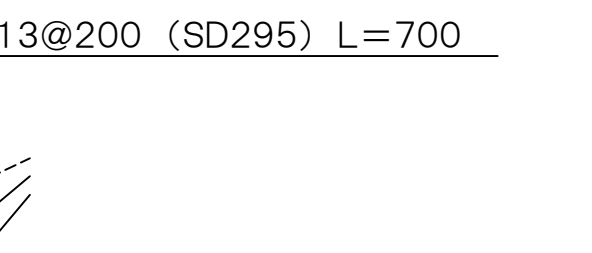
オートヒンジ

フロアヒンジ

ピボットヒンジ

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	貫通孔・埋設管及び基礎仕様書		
図面番号	A-14	縮 尺	-
福 山 市 上 下 水 道 局			

貫通孔、埋込管 及び 機器基礎仕様書

節	項 目	特 記 事 項	節	項 目	特 記 事 項																	
1. 一般事項	1. 適用基準	国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和 4年版」(以下、「標準仕様書」という)	3. 埋込管	2. 埋込管の形式	a) 鑄鉄管のバドル付規格管を使用する場合  b) 規格外のバドル付短管を使用する場合 	4. 機器基礎	<div>[B4] </div>															
	2. 施工図等	配管・配線系統を打ち合せ、位置・寸法及び方向を検討し、施工図を速やかに監督員に提出し、承諾を受ける。		5. その他	1. リスト記入方法					a) 符号は 1. 一般事項 4. 符号による。 b) 形状寸法 1) 貫通孔については、形状寸法を記入する。 (例) $400\phi \quad 300 \times 500$ 2) 埋込管については、形状寸法を記入する。 (例) $400\phi \times 800$ 3) 基礎については、形状寸法及び仕上り面よりの立ち上り高さを記入する。又、B4無筋コンクリートを抜く場合は、形状寸法及び無筋コンクリート厚さを記入する。 (例) $500 \times 400 \times 100$ c) 材料・形式は一印の前に材料を、後に形式を記入する。 (例) S1— P1—F1 —B1 d) 床・壁の区分 1) 壁部分は壁に○印を、床部分の場合は床に○印を記入する。 e) 位置の表示は、下記による。 1) 壁部分の位置・・・平面は、最寄り通り芯よりの寸法を記入し高さは、基準面(※ TP ・ YP ・ AP)より高さ表示とする。 (例) ② → ① 800 ○ → ○ +8500 2) 床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。 (例) ① → ② 2400 ③ → ② 800 3) 位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。	5. その他	f) 用途には配管系統(污水管、脱臭ダクト等)等を記入する。 g) 備考には、施工部位、工事区分、その他特記すべき事項を記入する。 h) その他 1) 埋込管にフランジ蓋を設ける場合は、備考欄に特記する。 2) 埋込管にフランジ規格の呼び圧力は次の場合を示す。 鑄鉄管：JIS 7.5K ステンレス管・鋼管：JIS 10K 上記以外は特記する。 3) 貫通孔に仮壁を設ける場合は備考欄に特記する。 4) 将来使用する開口については、仮壁、仮蓋等を施すものとし、備考欄に特記する。										
	3. 発生材の処理	工事特記仕様書による。		3. フランジ穴の取付け位置	<table><tr><th>口 径</th><th>θ</th><th>ボルトの呼び径</th><th>ボルト数</th></tr><tr><td>$\phi 75 \sim 100$</td><td>45°</td><td rowspan="2">$\phi 75 \sim 200$ M16</td><td>4</td></tr><tr><td>$\phi 150$</td><td>30°</td><td>6</td></tr></table>					口 径	θ	ボルトの呼び径	ボルト数	$\phi 75 \sim 100$	45°	$\phi 75 \sim 200$ M16	4	$\phi 150$	30°	6		
	口 径	θ		ボルトの呼び径	ボルト数																	
	$\phi 75 \sim 100$	45°		$\phi 75 \sim 200$ M16	4																	
$\phi 150$	30°	6																				
4. 符 号	各設備に用いる符号は下記とする。 (例) AM・S—T → 通し番号 → 貫通孔の形状の符号 S・・・貫通孔 P・・・埋込管 B・・・基礎 → 各設備の符号 AM・・・建築機械設備 AE・・・建築電気設備 PM・・・プラント機械設備 PE・・・プラント電気設備																					
5. 開口補強	a) 開口補強方法については、標準仕様書別図各部配筋による。 1) 壁開口補強は、4. 2)による。 ・A形 ※B形 但し、耐震壁は図示による。 2) 床版開口部補強は、5. 3)による。 3) 梁貫通孔の補強は特記による。特記がなければ、7. 1)より、配筋種別は特記による。																					
6. 工 法	a) 貫通孔、埋込管は、寸法・位置に充分注意して堅固に取り付ける b) 埋込管を水槽・外壁に取付ける場合は、漏水のないように、充分考慮し施工する。																					
7. 特 記 事 項	a) ○印のついたものを適用する。○印のない場合は※印のあるものを適用する。また、○印・※印のある場合は適用する。																					

福山市上下水道局

設計年月2026年1月

A3 50%縮小縮尺

貫通孔

1. 材料、材質

a) 貫通孔に用いる材料は下記による。

記号	S1	S2	S3	S4	S5	S6
材料	鋼管	硬質塩ビ管	溶融亜鉛めっき鋼板	つば付鋼板	紙チューブ	木枠

2. 次期工事の貫通孔処理

a) 次期発注の外壁・床版貫通孔及び仮補強筋は、下記による。

壁部

床版部

B	壁部	床版部
1500未満	D13-200@シングル	構造体配筋に同じ

コンクリート強度：構造体強度に同じ
▽：シーリング(10×10)

b) 土圧・水圧等を受ける場合は、B-04-1を標準とし、その仕様は特記による。

3.

埋込管

1. 材料、材質

a)埋込管に用いる材料は、下記のものとする。

埋込管の材料

記号	P1	P2	P3	P4	P5
材料	ステンレス管	銅 管	鋳 鉄 管	塩ビ 管	亜鉛鉄管

b)埋込管の材質については、下記による。

1)ステンレス管 …… JIS G 3459 0. 98MPa
(SUS304) 鋼管差し込み溶接フランジ規格
 ※ C-1 sch 20S
 ・ C-2 sch 40

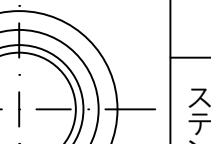
2)銅 管 …… JIS G ※ 3452 (SGP) ※3442 (SGPW)

3)鋳鉄管 …… JIS K 6741 ※ VP G 5526

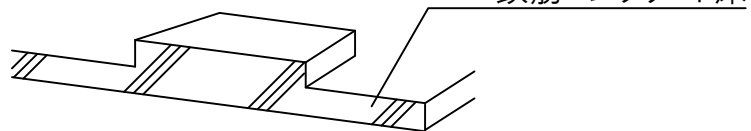
4)塩ビ管 …… JIS K 6741 ※ VP VU

5)亜鉛鉄管 …… JIS G 3302 ※ 4mm以上 6mm以上

c)埋込管の塗装は、「機械設備工事一般仕様書」の定めに準拠する。

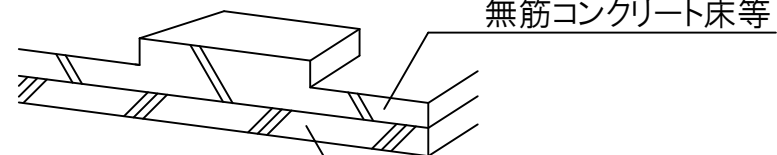
	鋼管	φ600~700	11. 25°	φ450~600	M24	16
		φ800~900	9°			20
		φ1000~1100	7. 5°	φ700~1100	M30	24
	ステンレス管	10~65A	45°	10~20A	M12	4
		80~150A	22. 5°	25~100A	M16	8
		200~250A	15°	125~200A	M20	12
		300~400A	11. 25°	250~350A	M22	16
		450~550A	9°	400~500A	M24	20
		600~750A	7. 5°	550~900A	M30	24
		800~1000A	6. 42°			28
		1200A	5. 625°	1000~1200A	M36	32

[B1]



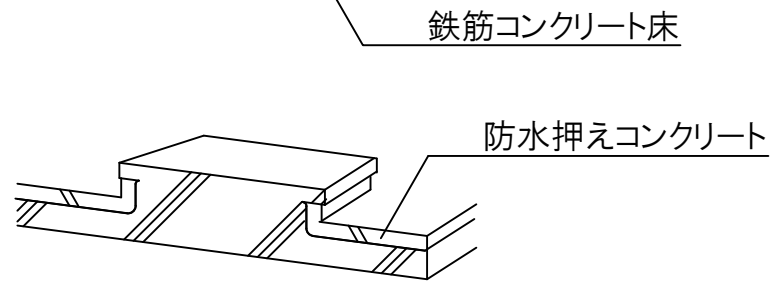
鉄筋コンクリート床

[B2]



無筋コンクリート床等

[B3]



鉄筋コンクリート床

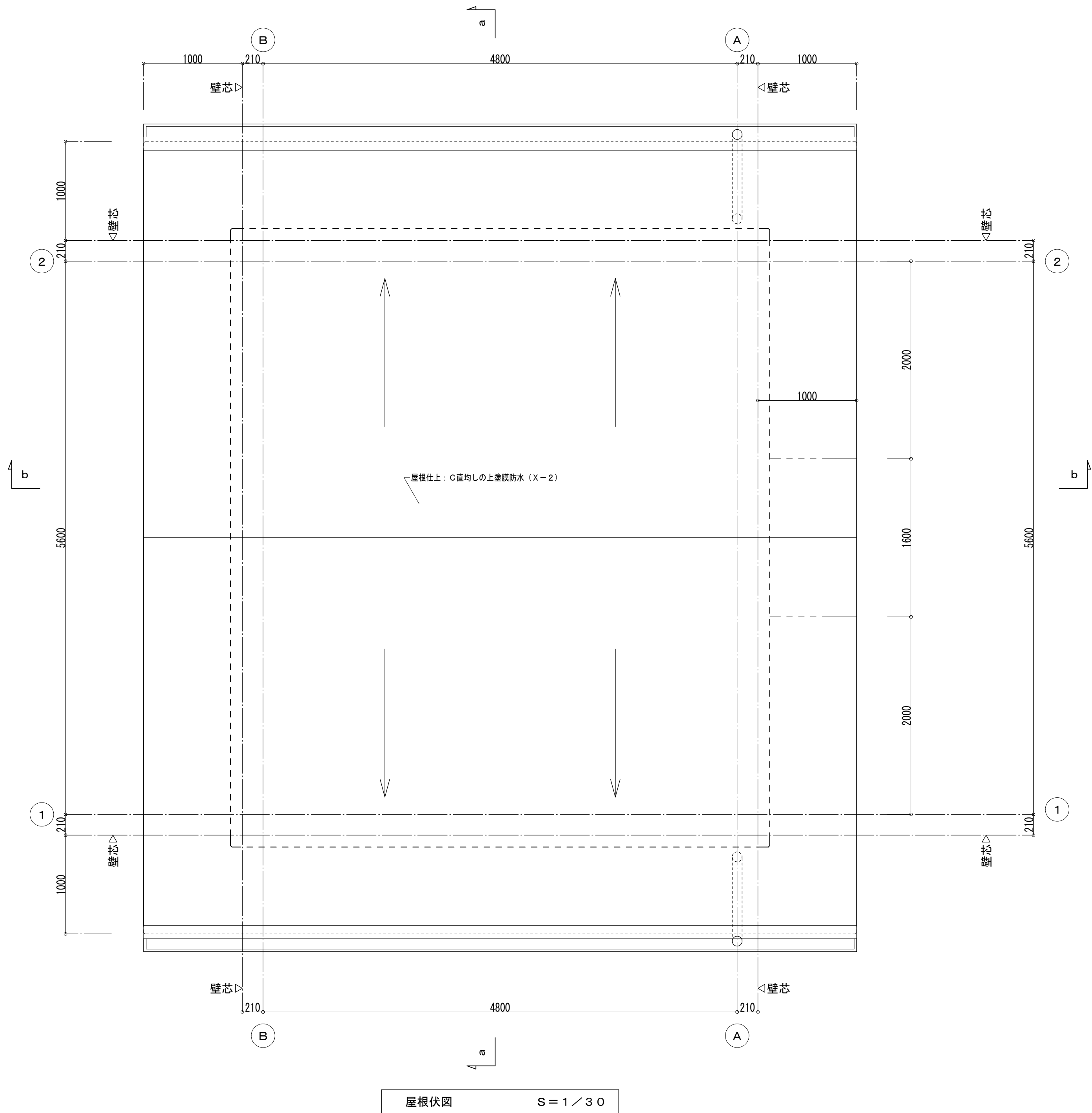
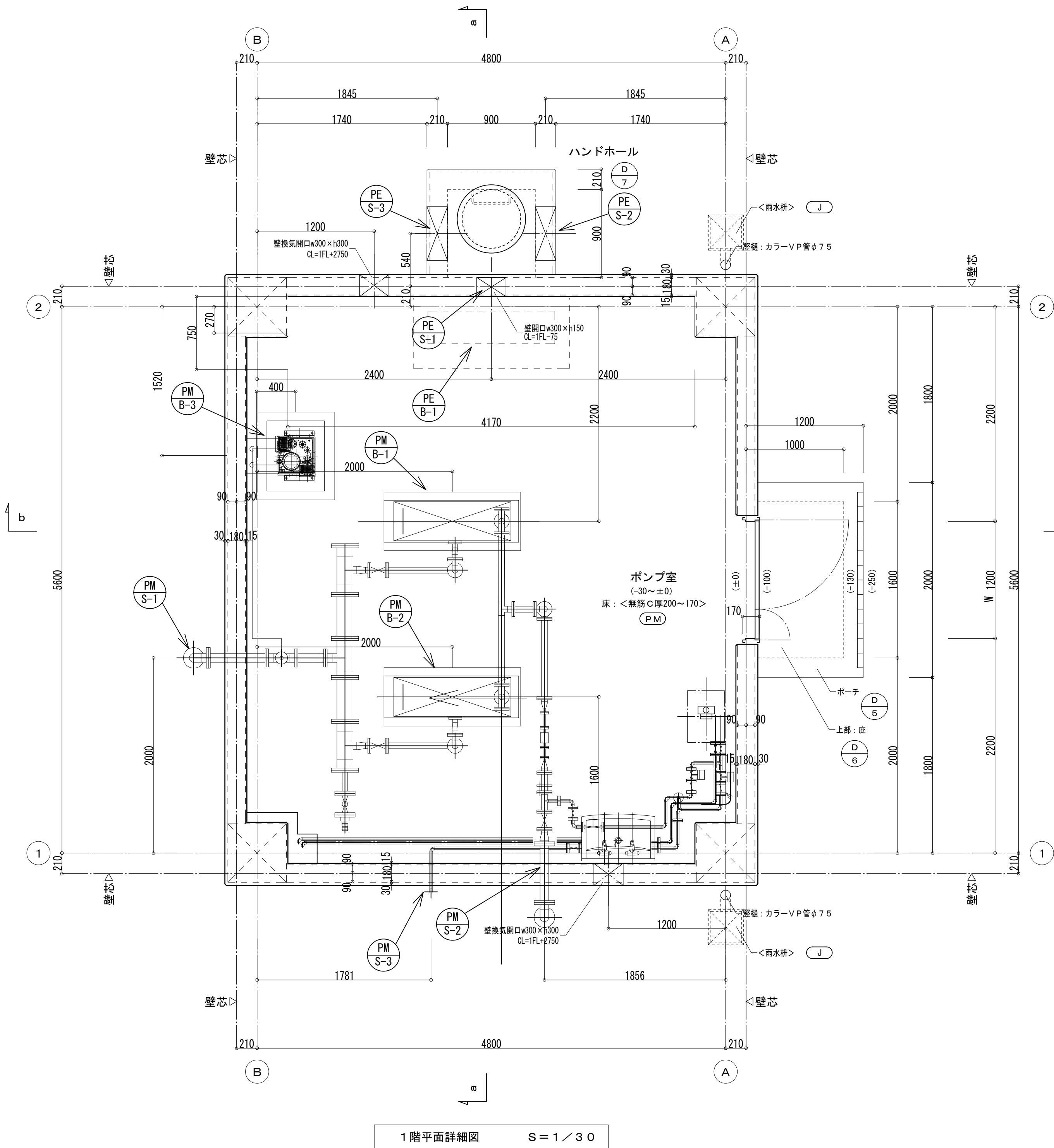
防水押えコンクリート

[illegible]

※ 機器基礎(PM・B、PE・B)は、PM・PE工事にて後施工アンカーによる。

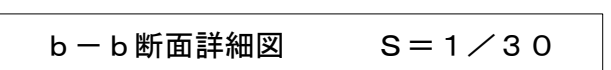
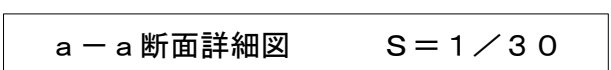
工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	貫通孔・埋込管及び基礎図(1)		
図面番号	A-15	縮 尺	1:30
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺




- 特記事項
- 内外仕上は、別紙内外仕上表による。工事区分は図示及び工事区分一覧表による。
 - 内番号は詳細図番号を示す。
 - < >内番号は建築工事標準詳細図(令和4年度版)の番号を示す。
 - ()内はF Lからのレベルを示す。

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



特記事項

1. 内外仕上は、別紙内外仕上表による。工事区分は図示及び工事区分一覧表による。

2.  内番号は詳細図番号を示す。

3. < >内番号は建築工事標準詳細図（令和4年度版）の番号を示す。

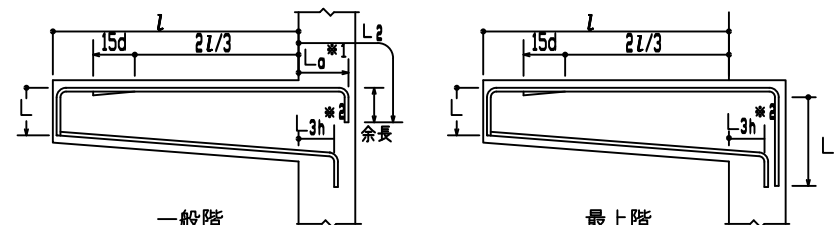
章	項	特 記 事 項	章	項	特 記 事 項	章	項	特 記 事 項	章	項	特 記 事 項																																																																			
④ 地 業 工 事	① 基礎	※ 直接基礎（○ 地盤改良（○ 表層改良 ・ 柱状改良 ）） 設計地耐力 80kN/m ² ○ 一軸圧縮強度試験 ○ 六価クロム溶出試験 ・ 杭基礎 試験杭 位置、本数及び寸法 ・ 最初の1本 ・ 図示による（4.2.2） 杭の載荷試験 ※ 行わない ・ 図示による（4.2.3） 地盤の載荷試験 ※ 行わない ・ 図示による（4.2.4）	5 場所打ちコンクリート杭地業	施工管理技術者 ※適用する（4.5.2） 寸法等（4.5.1～7） <table><tr><th></th><th>符号</th><th>軸径（mm）</th><th>杭底径（mm）</th><th>杭長（mm）</th><th>セツト数</th><th>長期設計支持力（kN/本）</th><th>備考</th></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		符号	軸径（mm）	杭底径（mm）	杭長（mm）	セツト数	長期設計支持力（kN/本）	備考	試験杭							本杭							⑦ コンクリートの材料	セメント <table><tr><th>セメントの種類</th><th>使 用 部 位</th></tr><tr><td>※普通ポルトランドセメント</td><td></td></tr><tr><td>・高炉セメントA種</td><td></td></tr><tr><td>・シリカセメントA種</td><td></td></tr><tr><td>・フライアッシュセメントA種</td><td></td></tr><tr><td>・高炉セメントB種</td><td></td></tr><tr><td>・フライアッシュセメントB種</td><td></td></tr></table>	セメントの種類	使 用 部 位	※普通ポルトランドセメント		・高炉セメントA種		・シリカセメントA種		・フライアッシュセメントA種		・高炉セメントB種		・フライアッシュセメントB種		6 ターンバックル（7.2.6）	胴の種類 ※ 割替式 ・ ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ・																																		
		符号	軸径（mm）	杭底径（mm）	杭長（mm）	セツト数	長期設計支持力（kN/本）	備考																																																																						
	試験杭																																																																													
	本杭																																																																													
セメントの種類	使 用 部 位																																																																													
※普通ポルトランドセメント																																																																														
・高炉セメントA種																																																																														
・シリカセメントA種																																																																														
・フライアッシュセメントA種																																																																														
・高炉セメントB種																																																																														
・フライアッシュセメントB種																																																																														
2 試験及び報告書	試験杭 位置、本数及び寸法 ・ 最初の1本 ・ 図示による（4.2.2） 杭の載荷試験 ※ 行わない ・ 図示による（4.2.3） 地盤の載荷試験 ※ 行わない ・ 図示による（4.2.4）	5 場所打ちコンクリート杭地業	施工管理技術者 ※適用する（4.5.2） 寸法等（4.5.1～7） <table><tr><th></th><th>符号</th><th>軸径（mm）</th><th>杭底径（mm）</th><th>杭長（mm）</th><th>セツト数</th><th>長期設計支持力（kN/本）</th><th>備考</th></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		符号	軸径（mm）	杭底径（mm）	杭長（mm）	セツト数	長期設計支持力（kN/本）	備考	試験杭								本杭								⑧ コンクリート製造 ⑨ 強度	セメント ※ A E 剤、A E 減水剤又は高性能A E 減水剤（J I S A 6204） ※ フライアッシュ（J I S A 6201）I 種、II 種若しくはIV 種 ※ 高炉スラグ微粉末（J I S A 6206） ※ シリカフェーム（J I S A 6207）又は膨張材（J I S A 6202） ※ レディミクストコンクリート工場の選定は、監督員の承諾を受ける。（6.4.1） 構造体強度補正值 S（N/mm ² ） 適用箇所 ※建物本体 （6.3.2）（表6.3.2） <table><tr><th></th><th>4～10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td>セメント</td><td>全て</td><td>上旬</td><td>中旬</td><td>下旬</td><td>上旬</td><td>中旬</td></tr><tr><td>普通ポルトランドセメント</td><td>3.0</td><td></td><td></td><td>6.0</td><td></td><td>3.0</td></tr><tr><td>早強ポルトランドセメント</td><td></td><td>3.0</td><td></td><td>6.0</td><td></td><td>3.0</td></tr><tr><td>セメント</td><td>その他</td><td>3.0</td><td></td><td>6.0</td><td></td><td>3.0</td></tr></table>		4～10月	11月	12月	1月	2月	3月	セメント	全て	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	普通ポルトランドセメント	3.0			6.0		3.0	早強ポルトランドセメント		3.0		6.0		3.0	セメント	その他	3.0		6.0		3.0	7 デッキプレート（7.2.7） <table><tr><th></th><th>材質・形状・寸法</th></tr><tr><td>・構造床</td><td></td></tr><tr><td>・合成スラブ</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>		材質・形状・寸法	・構造床		・合成スラブ		・						
	符号	軸径（mm）	杭底径（mm）	杭長（mm）	セツト数	長期設計支持力（kN/本）	備考																																																																							
試験杭																																																																														
本杭																																																																														
	4～10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																								
セメント	全て	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬																																																																								
普通ポルトランドセメント	3.0			6.0		3.0																																																																								
早強ポルトランドセメント		3.0		6.0		3.0																																																																								
セメント	その他	3.0		6.0		3.0																																																																								
	材質・形状・寸法																																																																													
・構造床																																																																														
・合成スラブ																																																																														
・																																																																														
3 既製コンクリート杭地業	施工管理技術者 ※適用する（4.3.2） 種類（4.3.1～8） ・遠心高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外敷鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 ・ 寸法、継手、性能等 <table><tr><th></th><th>符号</th><th>杭径（mm）</th><th>杭長（m）及び種類</th><th>厚さ（mm）</th><th>継手数</th><th>本数</th><th>α/H強度（N/mm²）</th><th>長期設計支持力（kN/本）</th><th>備考</th></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		符号	杭径（mm）	杭長（m）及び種類	厚さ（mm）	継手数	本数	α/H強度（N/mm ² ）	長期設計支持力（kN/本）	備考	試験杭			上杭 中杭 下杭							本杭			上杭 中杭 下杭							⑩ 暑中コンクリート ⑪ 寒中コンクリート ⑫ コンクリートの強度試験 ⑬ 外部に面するコンクリート打放し仕上 ⑭ 型枠のせき板 ⑮ マスコンクリート ⑯ 水密コンクリート	※ 日平均気温の平年値が25度を超える期間にコンクリートを打ち込む場合（6.12.1～6.12.4） 構造体強度補正值 S（N/mm ² ） 6.0 N/mm ² 適用期間（ ）（6.11.1～6.11.6） ※（表6.9.2）による（6.9.1～6.9.5） ※ 打増厚さ（ 30 ）（6.8.2） ※ 合板（12mm） ・ 合板（15mm） ・ 床型枠用鋼製デッキプレート（実績等の資料を提出） ・ メッシュ型枠（ ） ・ 断熱材兼用型枠（25mm以下かつ熱抵抗値1nh℃/Kcal以上） ・ MCR工法用シート（気泡発泡ポリエチレンシート） セメントの種類（ ） 混和材料（ ） 適用箇所（ ） <table><tr><th>水セメント比（／wt）</th><th>スランプ（cm）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>※50</td><td>※15</td><td></td></tr></table>	水セメント比（／wt）	スランプ（cm）	適 用 箇 所	※50	※15		8 柱底均しモルタル（7.2.9） 工 法 ※A種 ・ B種（表7.10.2） 9 溶接部の試験（7.6.12）（表7.6.2～7.6.3） 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・ 行わない 工場溶接の場合 A O Q L ※4.0％ ・ 2.5％ <table><tr><th>節</th><th>※全て</th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td>検査基準</td><td>※第6水準</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	節	※全て					検査基準	※第6水準																														
	符号	杭径（mm）	杭長（m）及び種類	厚さ（mm）	継手数	本数	α/H強度（N/mm ² ）	長期設計支持力（kN/本）	備考																																																																					
試験杭			上杭 中杭 下杭																																																																											
本杭			上杭 中杭 下杭																																																																											
水セメント比（／wt）	スランプ（cm）	適 用 箇 所																																																																												
※50	※15																																																																													
節	※全て																																																																													
検査基準	※第6水準																																																																													
4 鋼杭地業	施工管理技術者 ※適用する（4.4.2） 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 ・ 寸法、継手、性能等 <table><tr><th></th><th>符号</th><th>杭径（mm）</th><th>杭長（m）及び種類</th><th>厚さ（mm）</th><th>継手数</th><th>本数</th><th>α/H強度（N/mm²）</th><th>長期設計支持力（kN/本）</th><th>備考</th></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td>上杭 中杭 下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		符号	杭径（mm）	杭長（m）及び種類	厚さ（mm）	継手数	本数	α/H強度（N/mm ² ）	長期設計支持力（kN/本）	備考	試験杭			上杭 中杭 下杭							本杭			上杭 中杭 下杭							⑥ 鉄 筋 工 事	10 錆止め塗装 11 耐火被覆 12 溶融亜鉛めっき工法 13 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	鉄面 ・ J I S K5674 工場 回塗り 現場 回塗り（7.8.1～7.8.4） ・ J I S K5551、5552 工場 回塗り 現場 回塗り（18.7.2） 垂鉛めっき面 ※18章 塗装工事による 耐火被覆材の接着面 ・ 行わない（7.8.2） 種別及び性能（7.9.1～7.9.9） <table><tr><th>種別</th><th>材料・工法</th><th>性能（耐火時間）</th><th>適用箇所（部位・部分）</th></tr><tr><td>・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付けロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・半乾式吹付けロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・湿式ロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐火材巻付け</td><td>・高耐熱ロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td>－</td><td></td><td></td></tr></table> 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする	種別	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール				・半乾式吹付けロックウール				・湿式ロックウール			・				・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・				・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール			・				・耐火塗料				・ラス張りモルタル塗り	－		
	符号	杭径（mm）	杭長（m）及び種類	厚さ（mm）	継手数	本数	α/H強度（N/mm ² ）	長期設計支持力（kN/本）	備考																																																																					
試験杭			上杭 中杭 下杭																																																																											
本杭			上杭 中杭 下杭																																																																											
種別	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）																																																																											
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																																													
	・半乾式吹付けロックウール																																																																													
	・湿式ロックウール																																																																													
・																																																																														
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																													
・																																																																														
・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール																																																																													
・																																																																														
・耐火塗料																																																																														
・ラス張りモルタル塗り	－																																																																													

				福山市上下水道局施設部施設整備課				工事名称 （仮称）東中条ポンプ所新築工事				図面No S-1	
				設計 2026年 1月				図面名称 建築工事 特記仕様書 構造関係					

鉄筋工事仕様書 No. 2

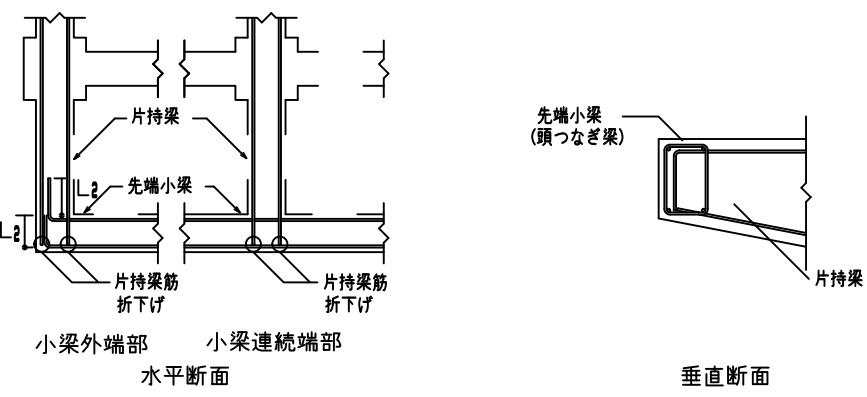
2. 片持梁主筋の定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合



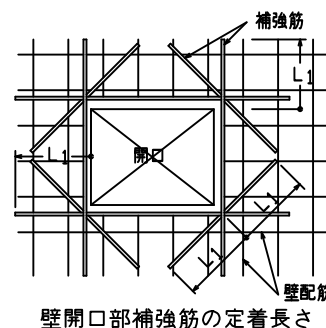
- (注)
1. 印は、余長位置を示す。
 2. 先端の折曲げ長さLは、梁せいのかぶり厚さを除いた長さとする。
 3. 図示のない事項は、大梁の項による。
- ※1. Ldの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
※2. Laを確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

2) 先端に小梁がある場合



- (注)
1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
 2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

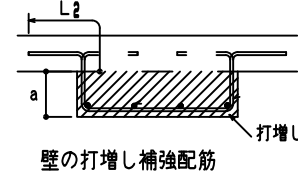
2) 壁開口部補強筋の定着長さは、下図による。



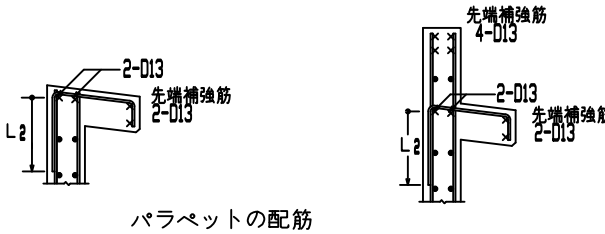
3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げるにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50 mm以上の場合の補強を示す



6. バラベットの配筋



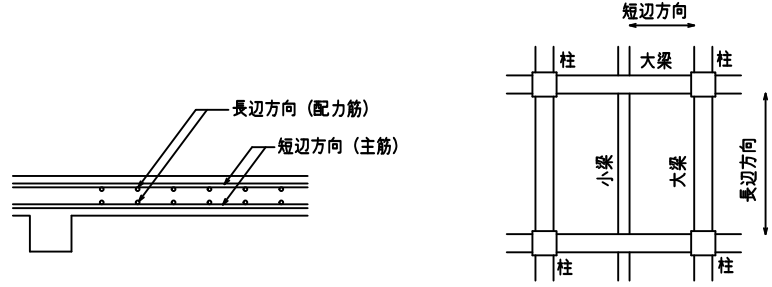
スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

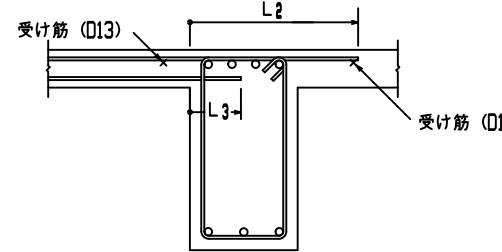
スラブの基準配筋					
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全長	長辺方向 (配力筋) 全長	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全長	長辺方向 (配力筋) 全長
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10, D13-150@	S10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10, D13-150@	S12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

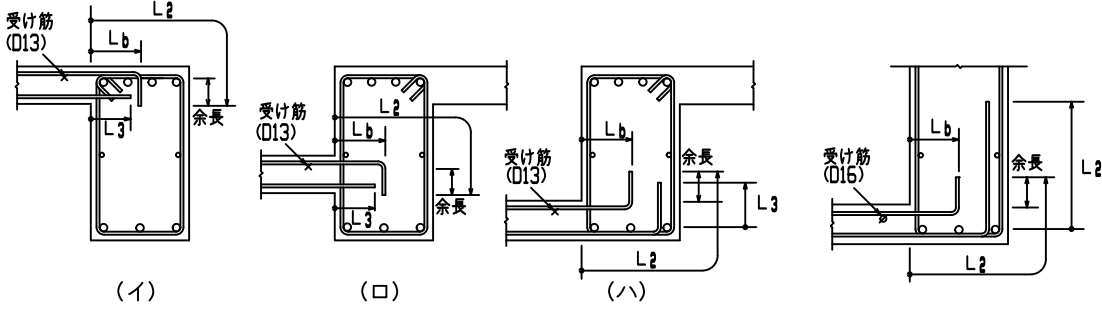


1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは、 L_1 とする。

2. スラブ筋の定着及び受け筋



スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

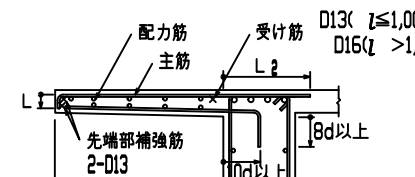


スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

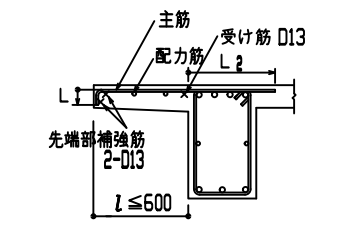
3. 片持ちスラブの基準配筋

1) 片持ちスラブの基準配筋

片持ちスラブの基準配筋			
配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
C S1	上 D13-100@ 下 D13-200@	C S5	上 D10-200@ 下 D10-400@
C S2	上 D13-150@ 下 D13-300@	C S6	上 D10, D13-200@ 下 —
C S3	上 D10, D13-150@ 下 D10, D13-300@	C S7	上 D10-200@ 下 —
C S4	上 D10, D13-200@ 下 D10-200@		



片持ちスラブの配筋 (C S1からC S5)



片持ちスラブの配筋 (C S5及びC S7)

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

壁の基準配筋		
種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15 A	D10-150@シングル	150
W15 B	D10-100@シングル	150
W18 A	D10-200@ダブル	180
W18 B	D10-150@ダブル	180
W20 A	D10-200@ダブル	200
W20 B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

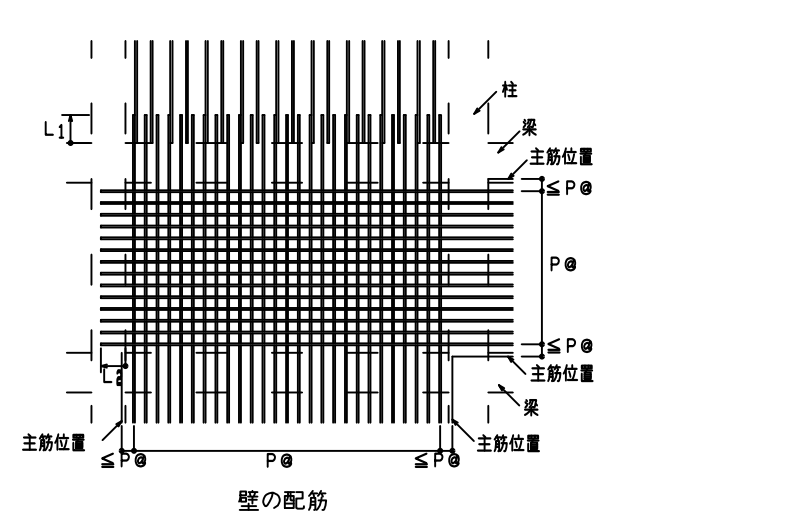
2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
K W1	縦筋 D13-200@ 横筋 D10-200@	180	K A1 K A3
K W2	縦筋 D13-150@ 横筋 D10-200@	200	K A2 K A4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

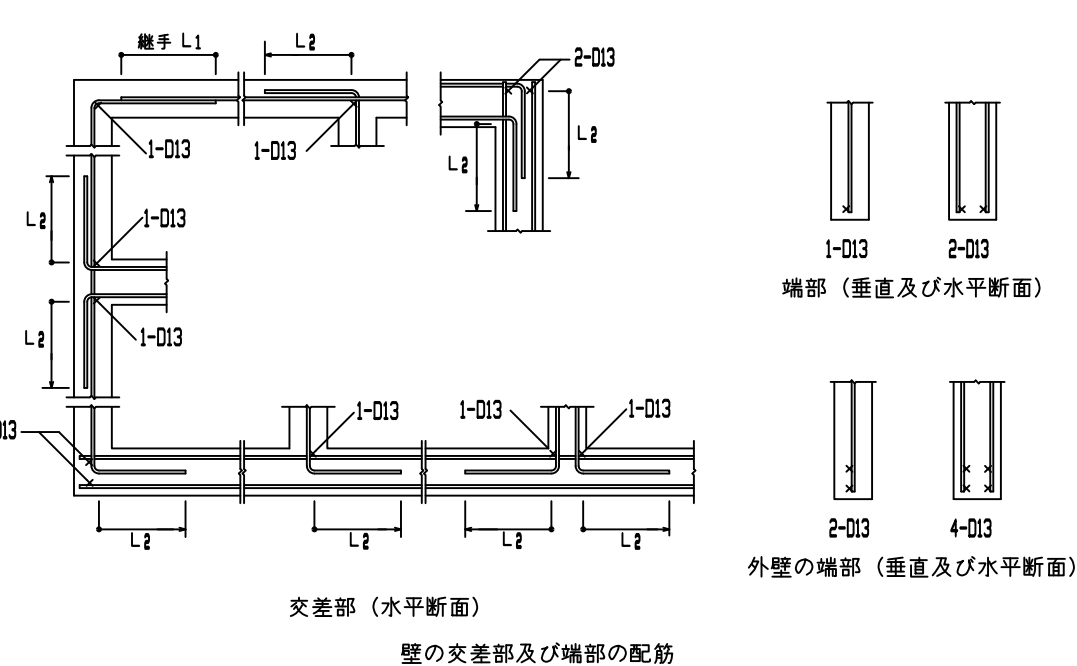
2. 壁の継手及び定着



(注)

1. 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
2. 壁配筋の重ね継手は、 L_1 、定着長さは L_2 とする。
3. 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
4. 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはいけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。



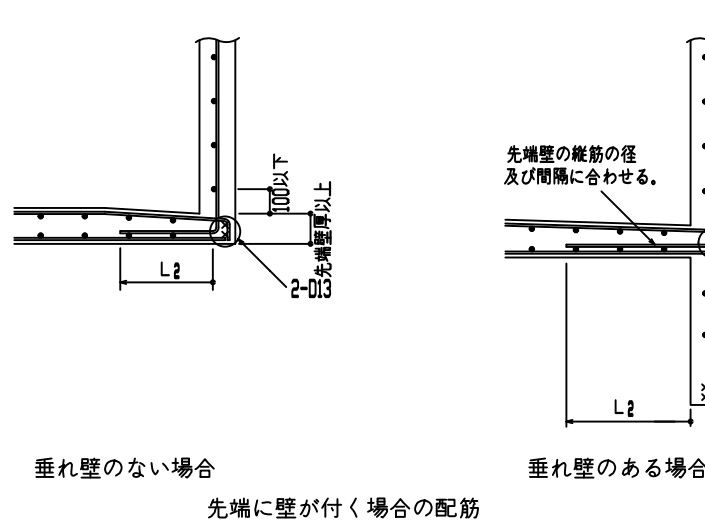
壁の交差部及び端部の配筋

4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)			
壁の種別	補強筋	壁開口部補強筋 (B形)	
W12, W15	縦横 1-D13	縦横	1-D13
W18, W20	2-D13	斜め	1-D13

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。

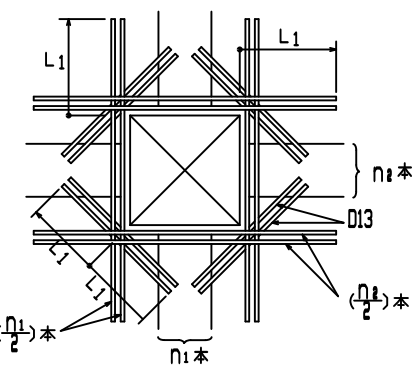


垂れ壁のない場合

垂れ壁のある場合

5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口の最大径が700 mm以下の場合に限る。)

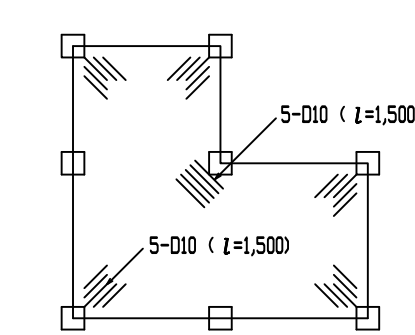
- 1) スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 ($L_1 \geq 2L_2$) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- 2) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



スラブ開口部の補強配筋

6. 出隅部及び入隅部の補強

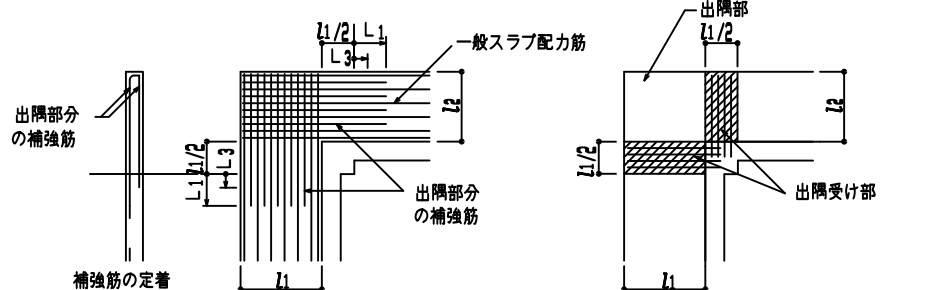
1) 屋根スラブの出隅部及び入隅部



補強筋を上端筋の下側に配置する。

出隅及び入隅部の補強配筋

2) 片持ちスラブの出隅部



(注) 1. $L_1 \geq L_2$ とする。

(注) 1. $L_1 \geq L_2$ とする。

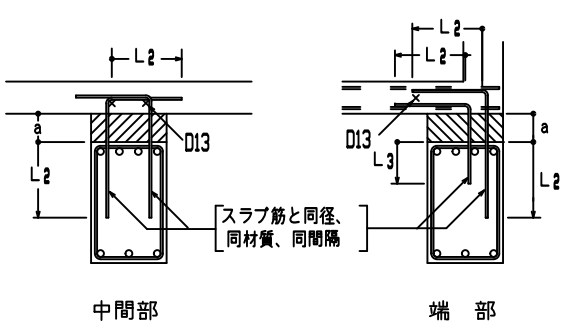
2. 出隅受け部配筋は柱又は梁に密着する。

出隅部分の補強配筋

片持ちスラブ出隅部の補強配筋

7. スラブの打継ぎ補強等

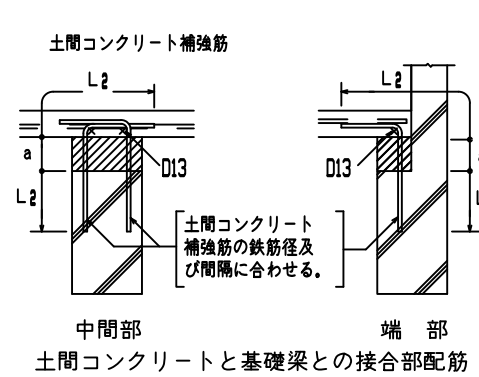
1) 土間スラブの打継ぎ補強



打継ぎ補強配筋

(注) 基礎梁と土間スラブを一体打ちとしない、打継ぎを設ける場合の補強を示す。

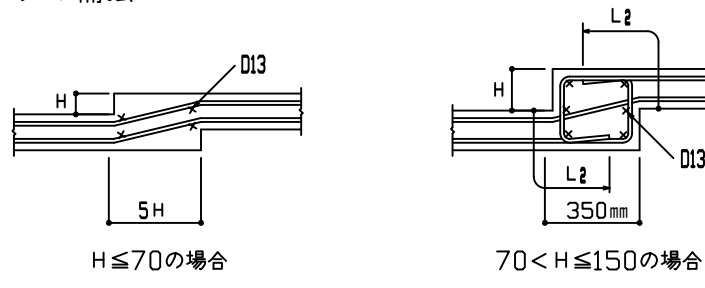
2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



(注) 1. 土間コンクリートとは、主に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。

2. aが300 mm以下の場合に限る。

8. 段差のあるスラブの補強



段差のあるスラブの補強配筋

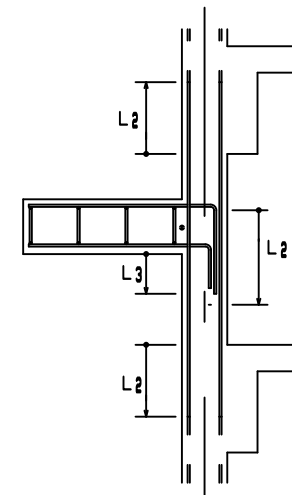
150 mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

片持ちスラブ形階段の基準配筋		
配筋種別	K A 1	K A 2
配筋図		
配筋種別	K A 3	K A 4
配筋図		

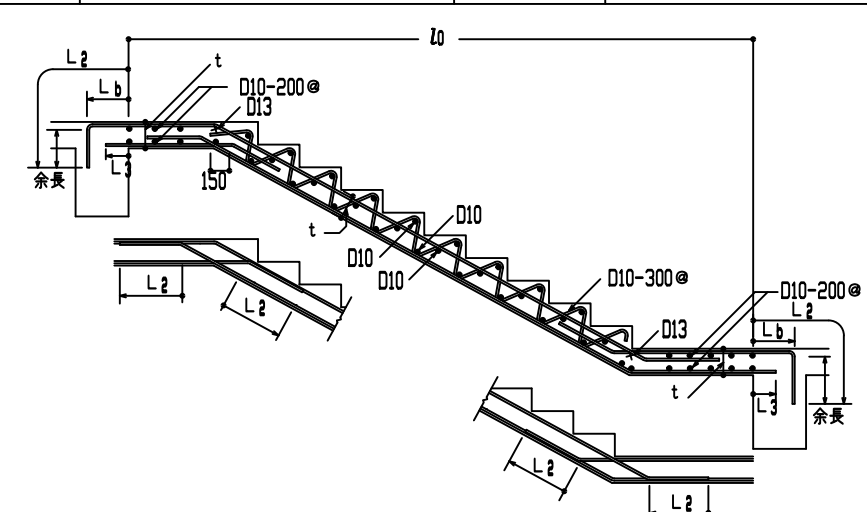


片持ちスラブ形階段配筋の定着

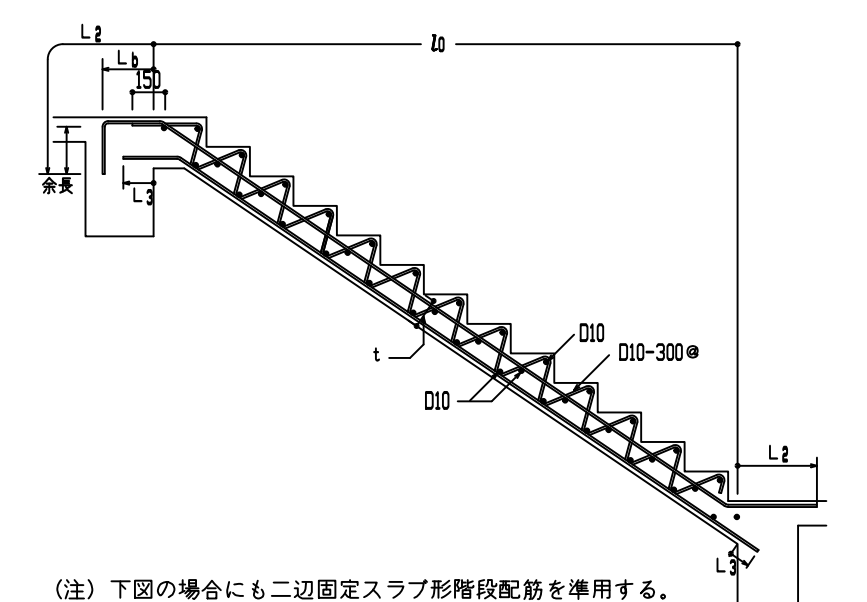
2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋

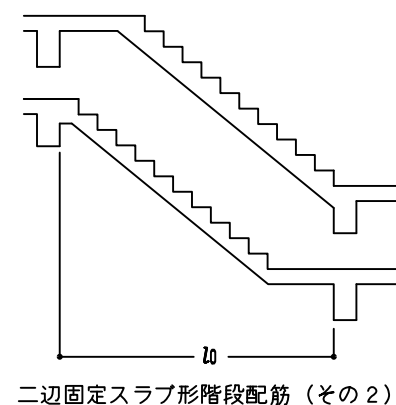
配筋種別	上端筋、下端筋とも (全端)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全端)
K B 1	D13-200@	K B 5	D16-150@
K B 2	D13-150@	K B 6	D16-125@
K B 3	D13-100@	K B 7	D16-100@
K B 4	D13, D16-150@		



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

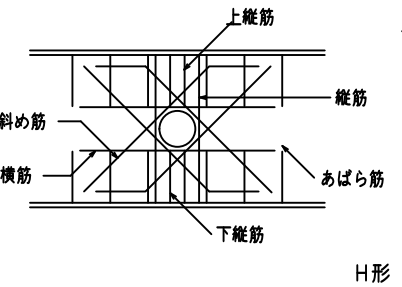


二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- 3) 孔の上下方向の位置は、梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。
- 4) 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150 mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- 9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10 mm以上とする。
- 10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13 φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 11) 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



H形

工 事 名 (仮称)東中条ポンプ所新築工事

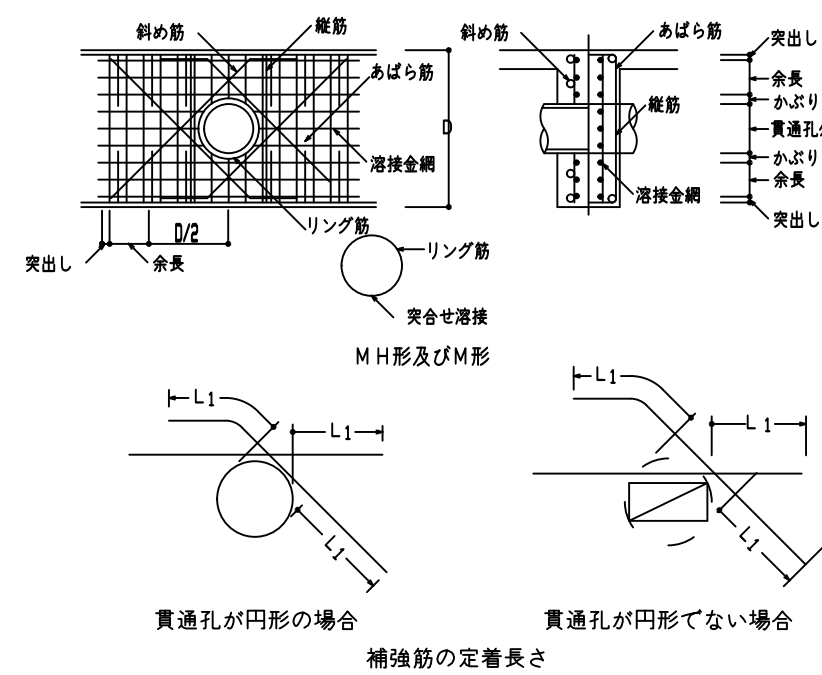
工事場所 福山市神辺町地内

図 面 鉄筋工事仕様書 No.2

図面番号 S-3 縮 尺 -

福 山 市 上 下 水 道 局

設計年月2026年1月



貫通孔が円形の場合

貫通孔が円形でない場合

2. 梁貫通孔の補強形式

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下筋	配筋図
H 1	なし	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 6	4-2-D19	2-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	2-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

(注) — — は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M 1	2-2-D13	なし	
M 2	4-2-D13	なし	
M 3	4-2-D13	2-5 φ-100@	
M 4	6-2-D13	2-5 φ-100@	

(注) — — は、一般部分のあばら筋を示す。

MH形配筋

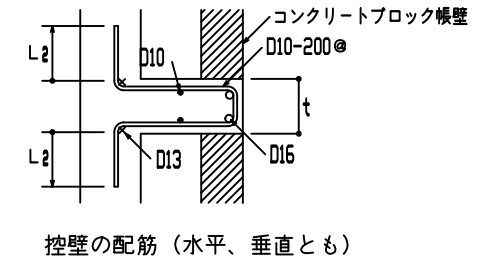
配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH 1	なし	なし	なし	
MH 2	2-2-D13	なし	なし	
MH 3	2-2-D13	2-2-D13	2-5 φ-100@	
MH 4	4-2-D13	2-2-D13	2-5 φ-100@	
MH 5	4-2-D16	2-2-D13	2-5 φ-100@	
MH 6	4-2-D16	4-2-D13	2-5 φ-100@	
MH 7	4-2-D19	4-2-D13	2-5 φ-100@	

(注) — — は、一般部分のあばら筋を示す。

1. 大匠認定による製製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

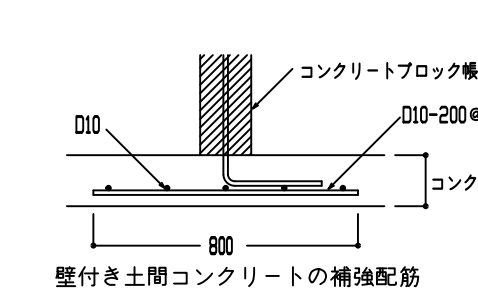
3. コンクリートブロック帳壁との取合い

1) 控壁の配筋



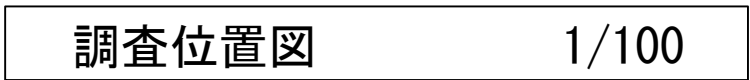
控壁の配筋 (水平、垂直とも)



2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁付き土間コンクリートの補強配筋

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

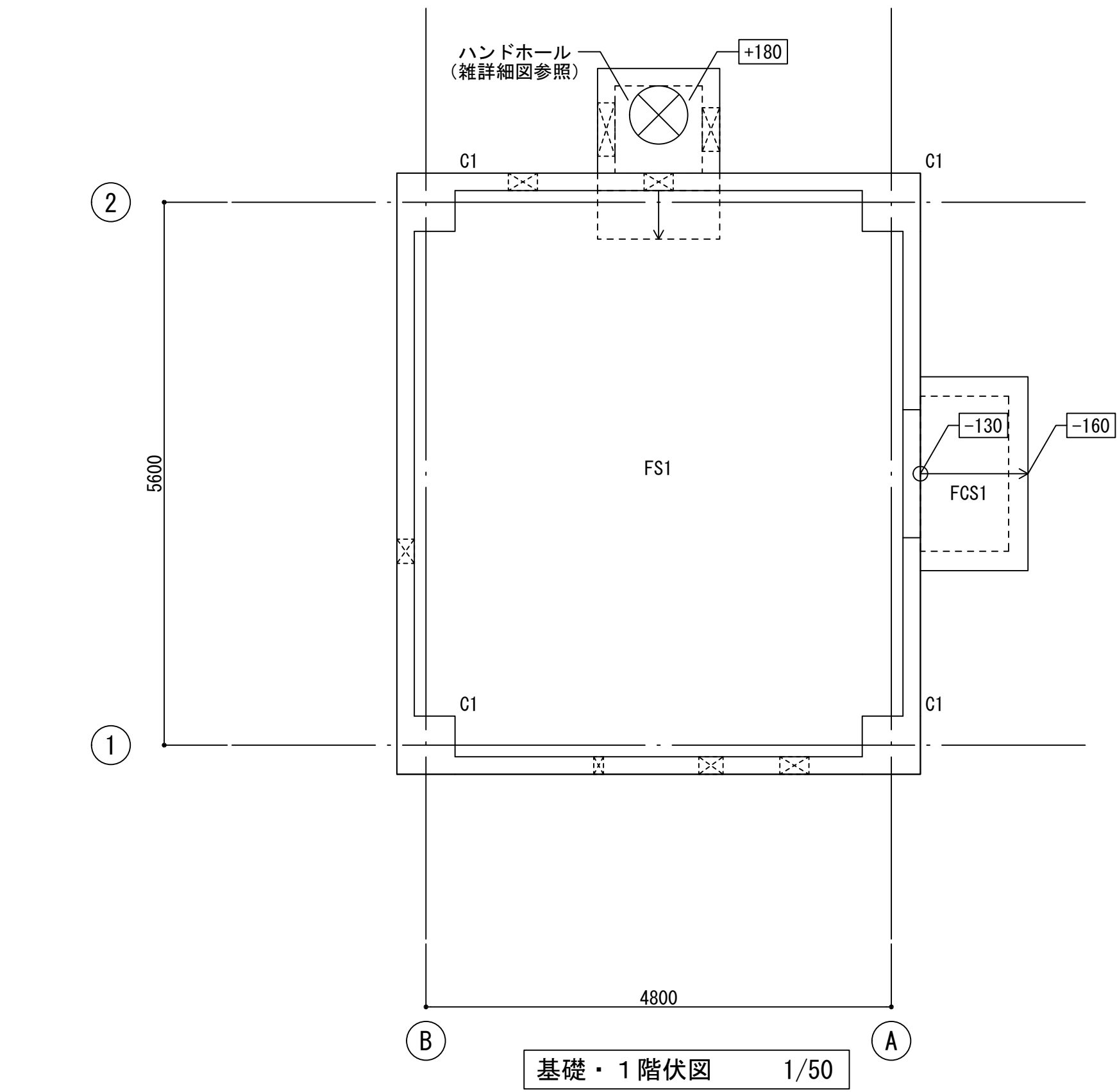


調査名 (仮称) 東中条加圧施設新設詳細設計業務委託 事業名または工事名 調査目的及び対象 上水道施設 基礎調査									
ボーリング名	No.1	調査位置 福山市神辺町 内地内						北 緯 34°35'11.6"	
発 注 機 関	福山市上下水道局		調査期間 2024年 9月 30日 ~ 2024年 10月 2日 東 経 133°22'54.5"						
調査業者名	株式会社日建技術コンサルタント		主 持 者 杉本 朋哉 <small>地質調査士登録番号</small>		現 地 人 奥野 花菜 <small>地質調査士登録番号</small>		監 定 者 岡村 宏信 <small>地質調査士登録番号</small>		少 年 名 者 加藤 倫明 <small>地質調査士登録番号</small>
総 孔 標 高	地 76.39 m	方 位			地盤記 録		試 験 機		ポンプ
総 削 孔 長	12.00 m	角 度			給 水 口		東邦D-1 ヤマトNFD10-ME		東邦BG-3

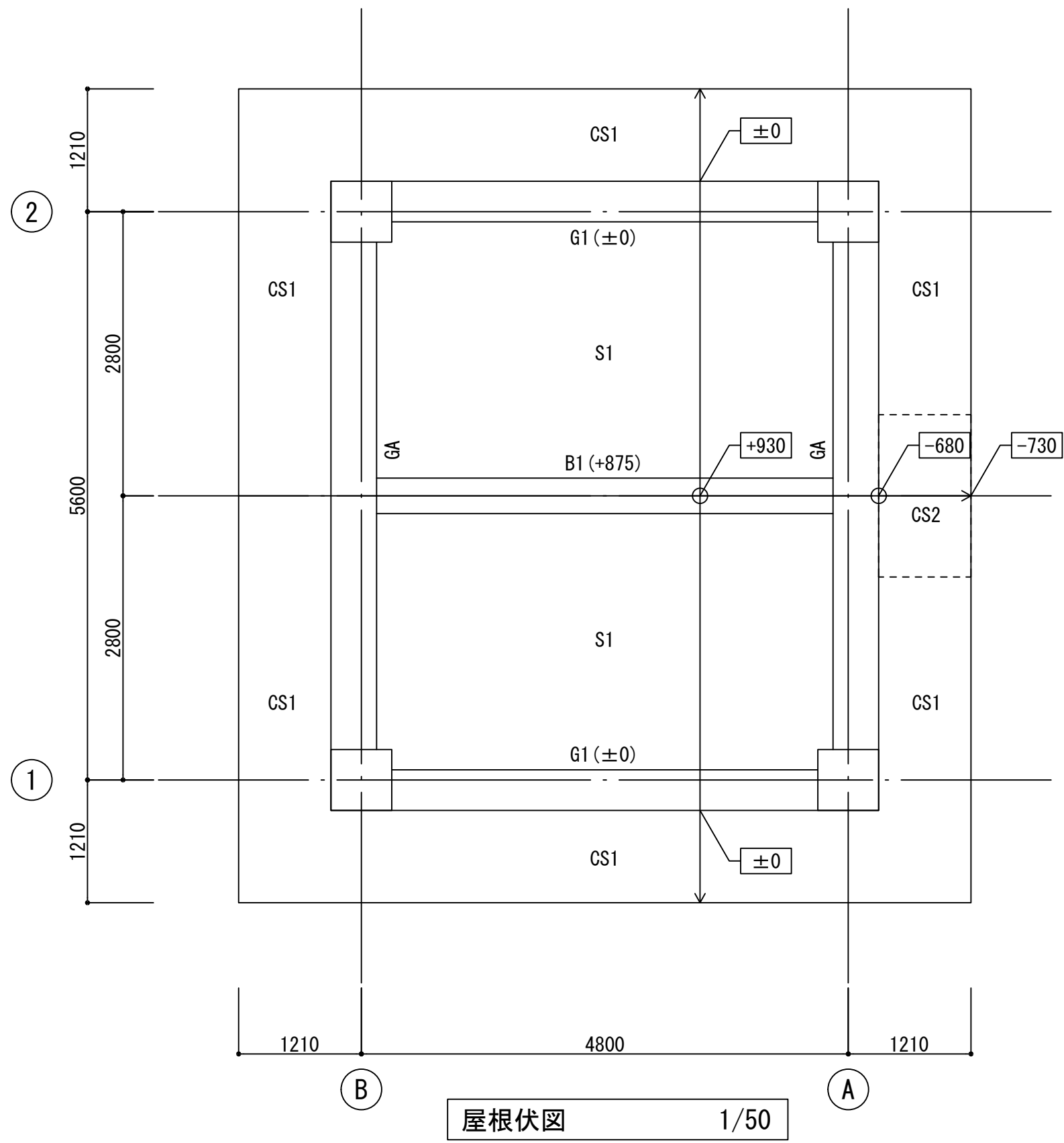
				標準貫入試験		原位試験		試験採取方法		室								
測尺	標高	層厚	深	現場土質名	土質名	色	記	事	孔内水位・測定月日		標準貫入試験		原位試験		試験採取方法		室	
									深	度	深	度	深	度	深	度		深
1	76.08	1.30	1.50	腐土・緩・シルト混り砂	黄褐色		筋違は不均一。 φ100mm程度の縦筋・基角筋・風化線を混入する。 シルトと粘土を含有する。 締りは中位。		10/2 22	1.15	3	5	7	15	100			
2	73.08	1.00	2.50	緩・粘土混り砂	褐色		筋違は不均一。 φ100mm程度の縦筋・基角筋を混入する。 粘土を含有する。含水は多い。 締りは中位。		10/2 22	2.15	2	4	4	10	100			
3	71.08	2.20	4.75	緩硬り粘土質砂	黄褐色		緩～中粒砂主体だが、筋違はやや不均一。 φ100mm程度の縦筋・基角筋を混入する。 粘土を含有する。 含水は中位～多い。 締りは中位。		10/2 22	3.15	2	4	5	11	100			
4							中～粗粒砂を主体とする。 φ100mm程度の縦筋・基角筋を混入する。 含水は多い。 締りは中位。		10/2 22	4.15	2	5	4	11	100			
5							中～粗粒砂を主体とする。 φ100mm程度の縦筋・基角筋を混入する。 含水は多い。 締りは中位。		10/2 22	5.15	3	5	6	14	100			
6	69.70	3.20	6.40	緩硬り黄土中砂	黄褐色		φ300mm程度の角筋～基角筋を主体とする。 縦筋の基質は粘土混り砂で充満されている。 含水は多い。締りは中位。		10/2 22	6.15	4	6	8	16	200			
7	68.49	1.20	1.30	粘土質り砂	黄褐色		φ500mm程度の角筋を主体とする。 コア長100mm程度の石英石を混入する。		10/2 22	7.15	4	6	8	16	200			
8	67.76	0.90	8.60	石英質り砂	褐色		花崗岩の風化層である。 風化によるヤサ化が顕著にしている。 コアは隙間質り砂状で厚数とされる。 隙間質りの粘合力は弱く、破損に脆くことができる。 長石類は風化により変質している。 鉄鉱石粒長の強度を有している。		10/2 22	8.15	5	9	10	20	300			
9									10/2 22	9.15	5	9	10	20	300			
10	64.77	3.42	17.02	花崗岩・軟岩	白褐色				10/2 22	10.15	5	9	10	20	300			

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	伏図		
図面番号	S-5	縮 尺	1:50
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



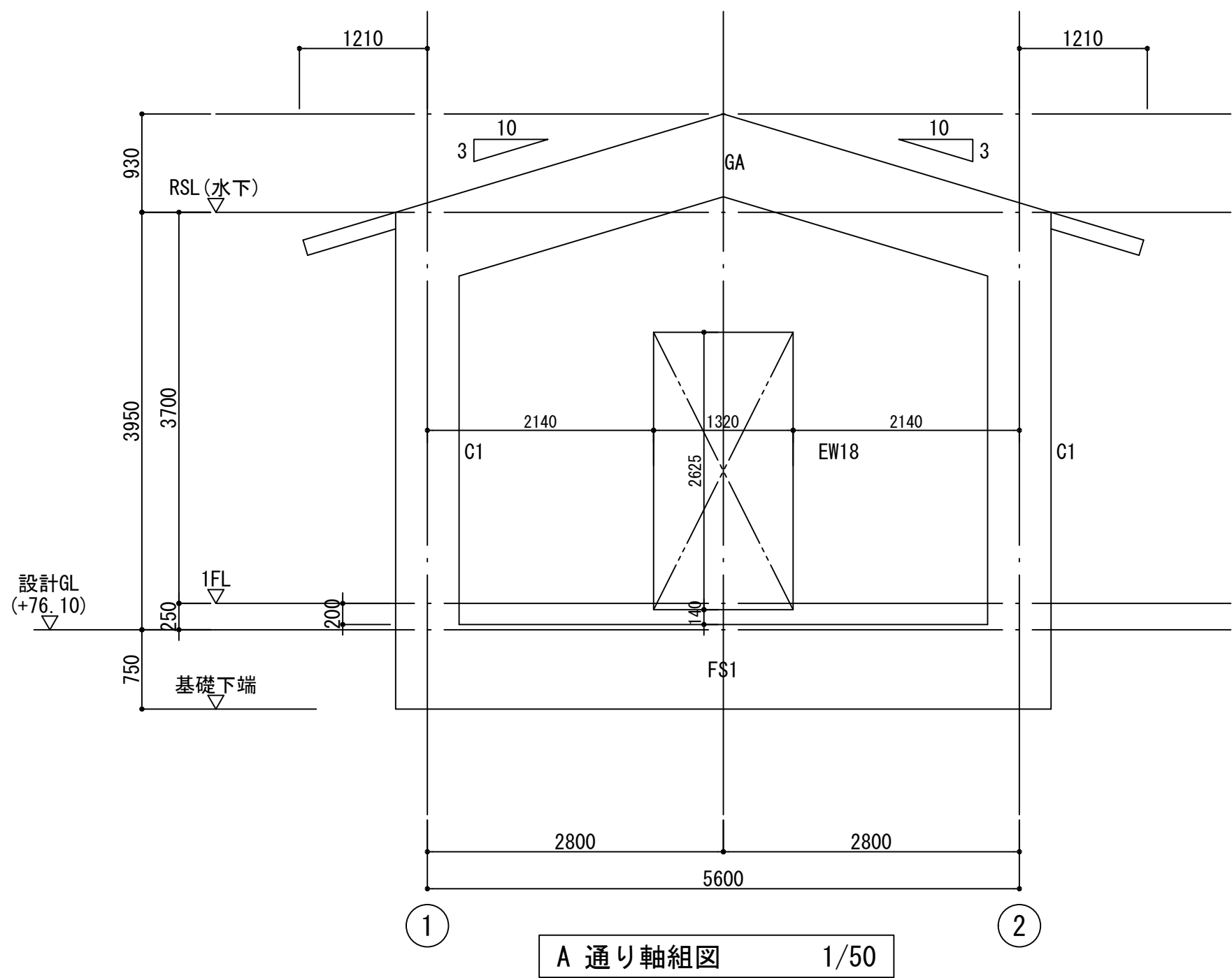
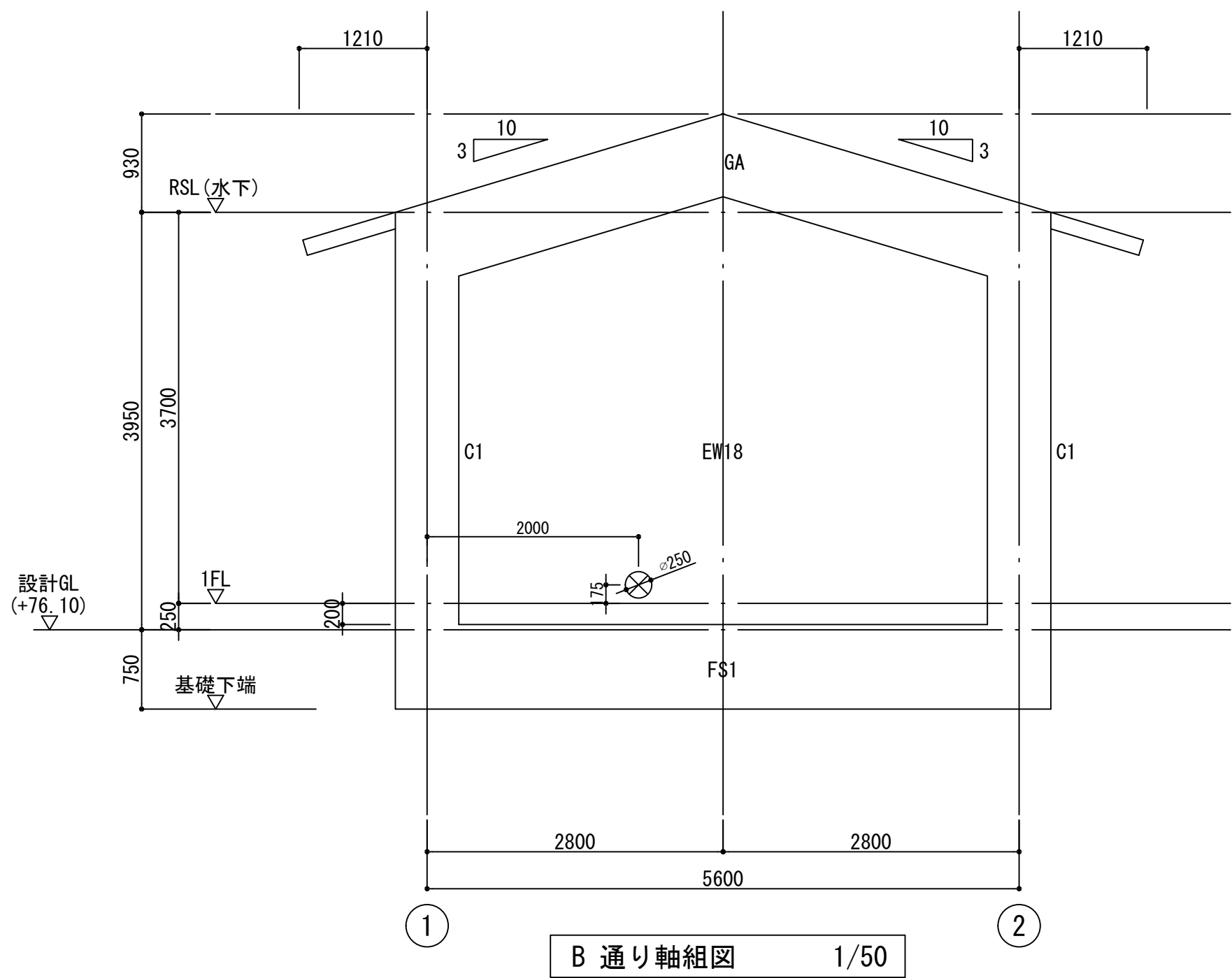
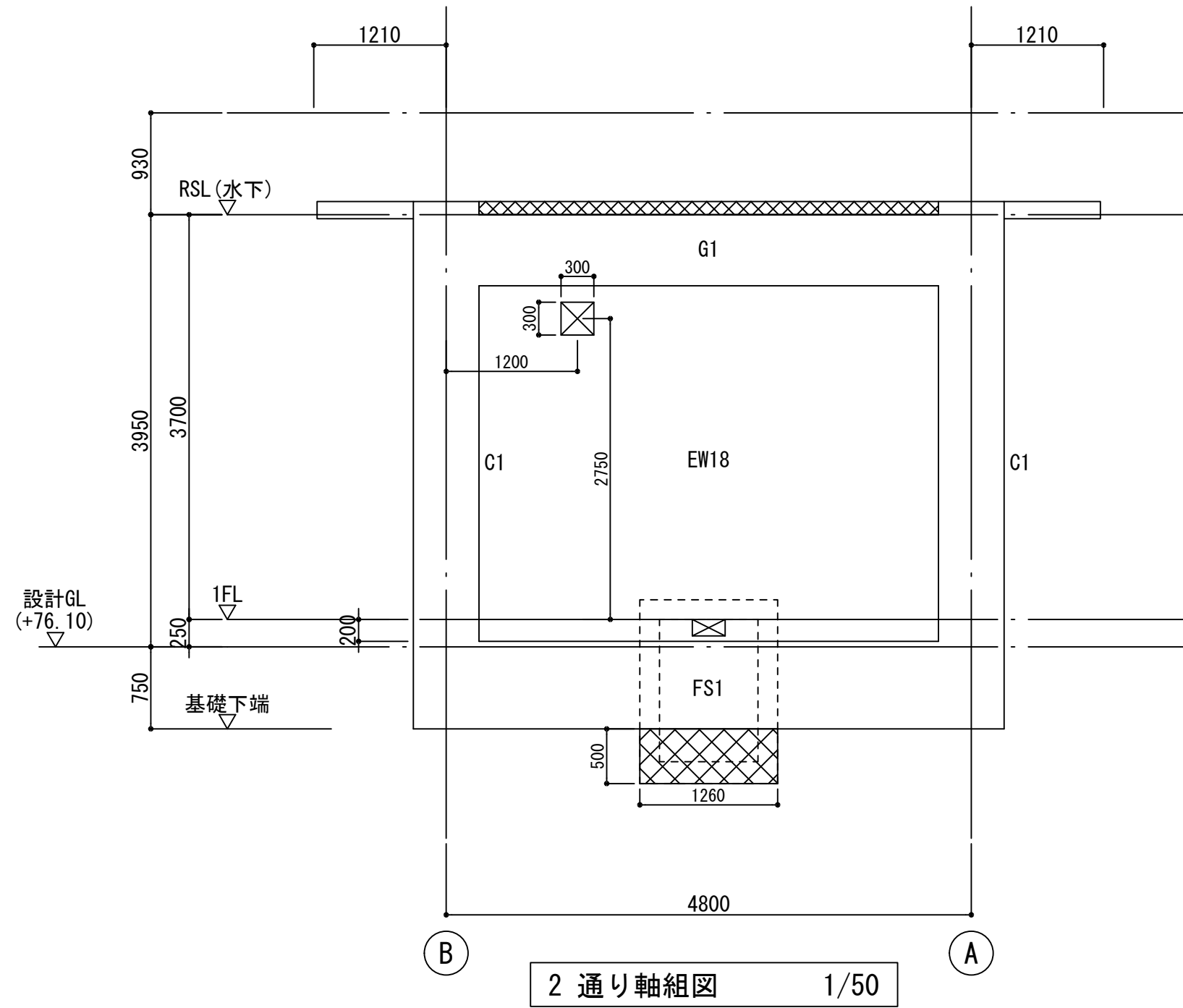
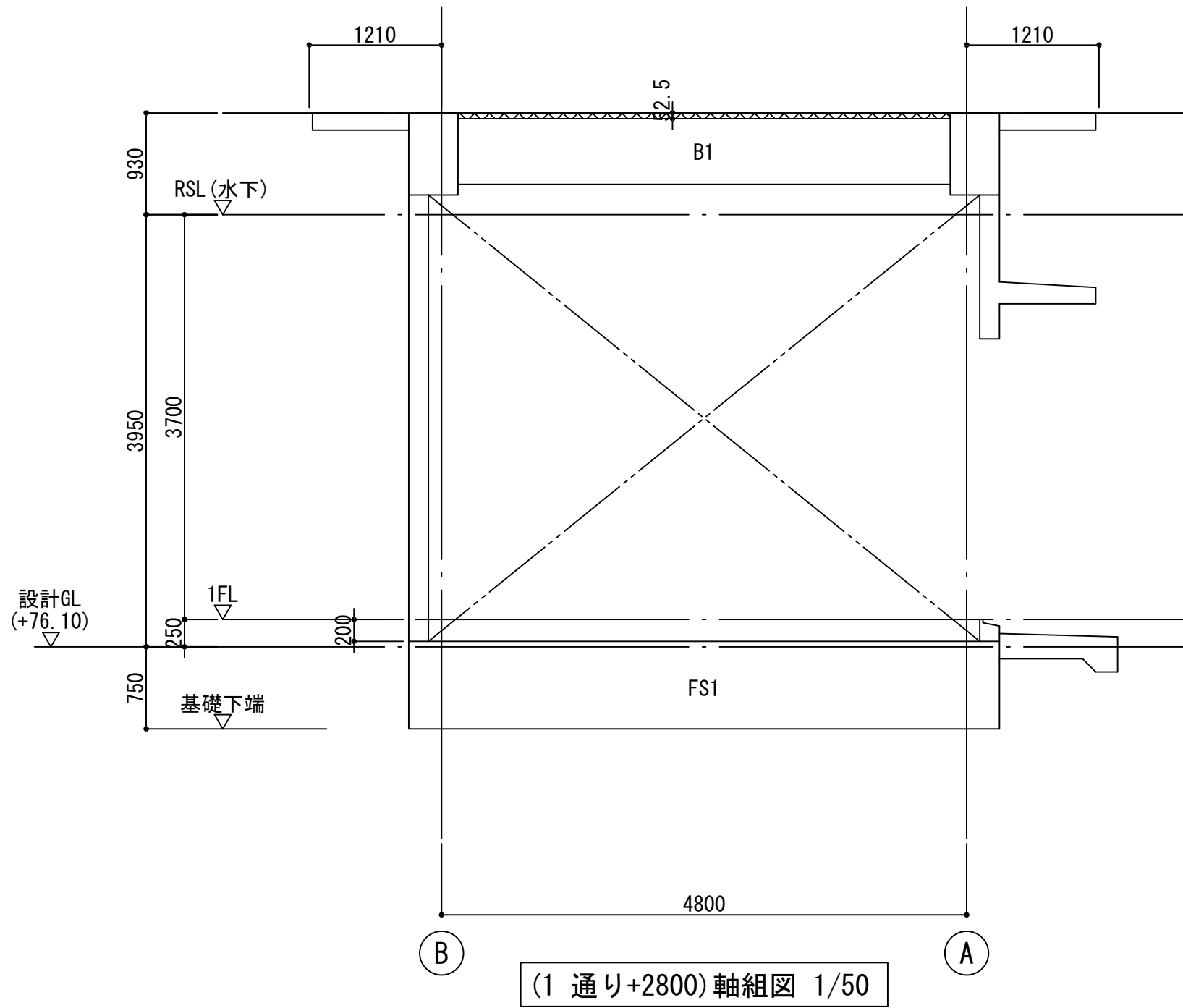
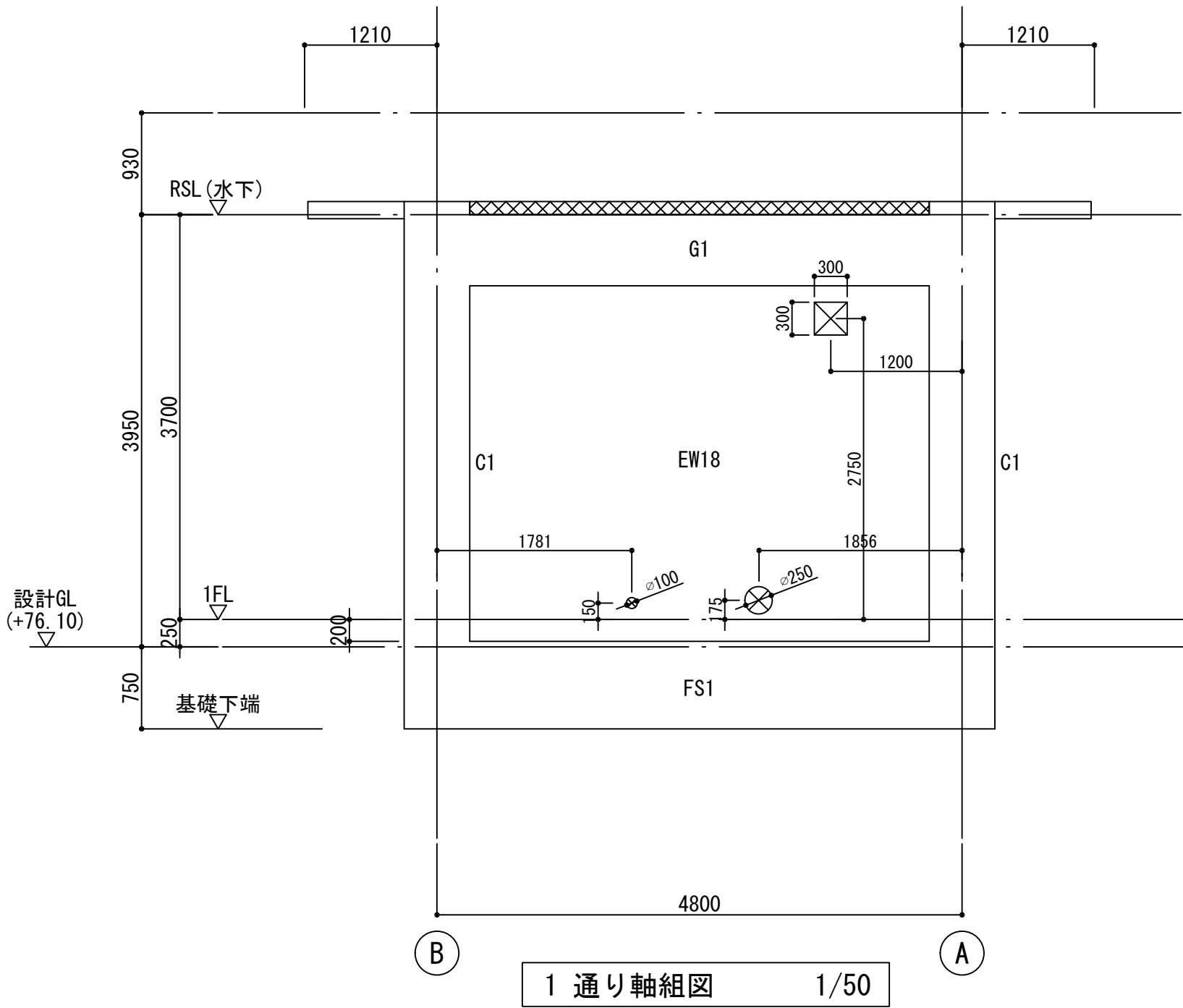
- 特記なき限り、下記による。
- 設計GL=+76.10、1FL=設計GL+250とする。
 - 基礎下端は設計 GL-750とし、() 内数値は設計GLからの底版下端レベルを示す。
 - 床天端レベルは 1FL-200とし、□ 内数値は 1FLからの床天端レベルを示す。
 - 壁は、EW18とする。
 - 設計地耐力は 80kN/m² (長期) とし、礫・粘土混り砂層 (盛土層下) に至るまで浅層地盤改良を施す。



- 特記なき限り、下記による。
- RSL (水下)=1FL+3700
 - 梁天端は RSL±0~+930とし、() 内数値はRSLからの梁天端レベルを示す。
 - 床天端レベルは RSL-263~+930とし、□ 内数値は RSLからの床天端レベルを示す。
 - 床スラブ配筋は、形状並びに支持条件に関わらず Y方向を主筋とする。

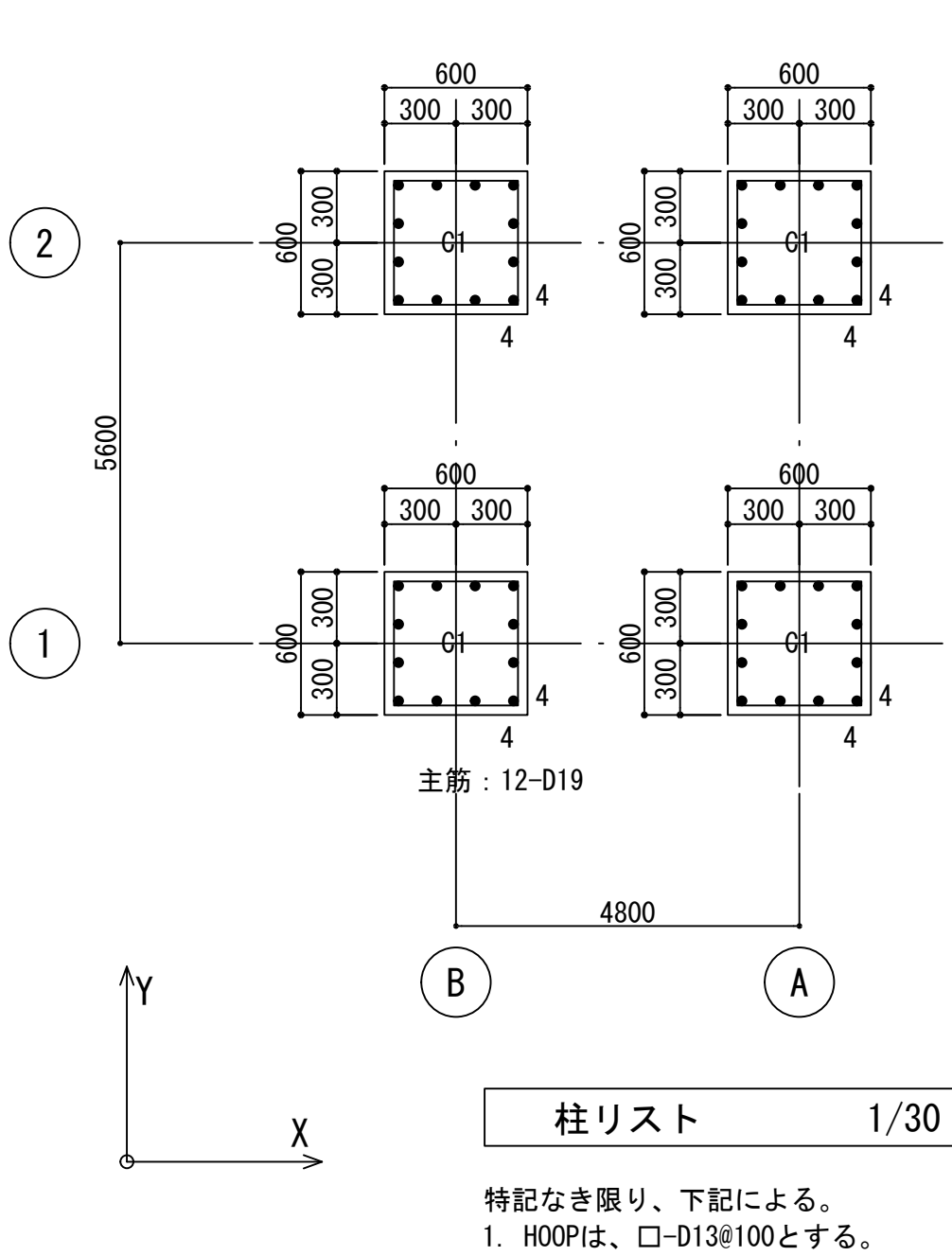
工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	軸組図		
図面番号	S-6	縮 尺	1:50
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	断面リスト、部分詳細図		
図面番号	S-7	縮 尺	1:30
福 山 市 上 下 水 道 局			

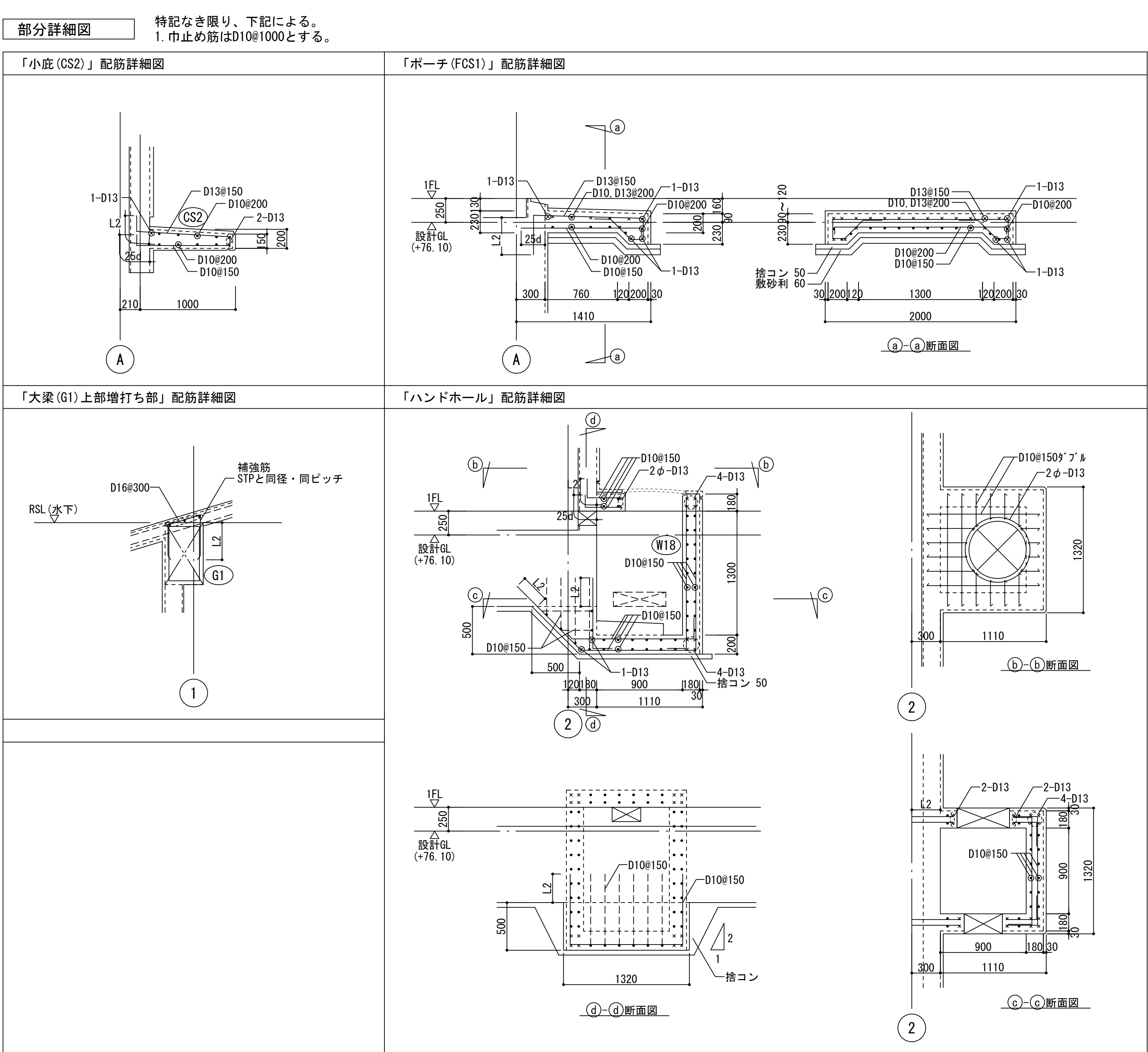
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



壁リスト		
符 号	EW18	W18
壁 厚	180	180
断 面		
縦 筋	D10@150ダブル	D10@150ダブル
横 筋	D10@150ダブル	D10@150ダブル
開口 (端部)	縦 2-D13 横 2-D13	縦 2-D13 横 2-D13
補強筋	斜め (2-D10)*	-----
備 考	*斜め筋は補助筋	ハド'ホール側壁

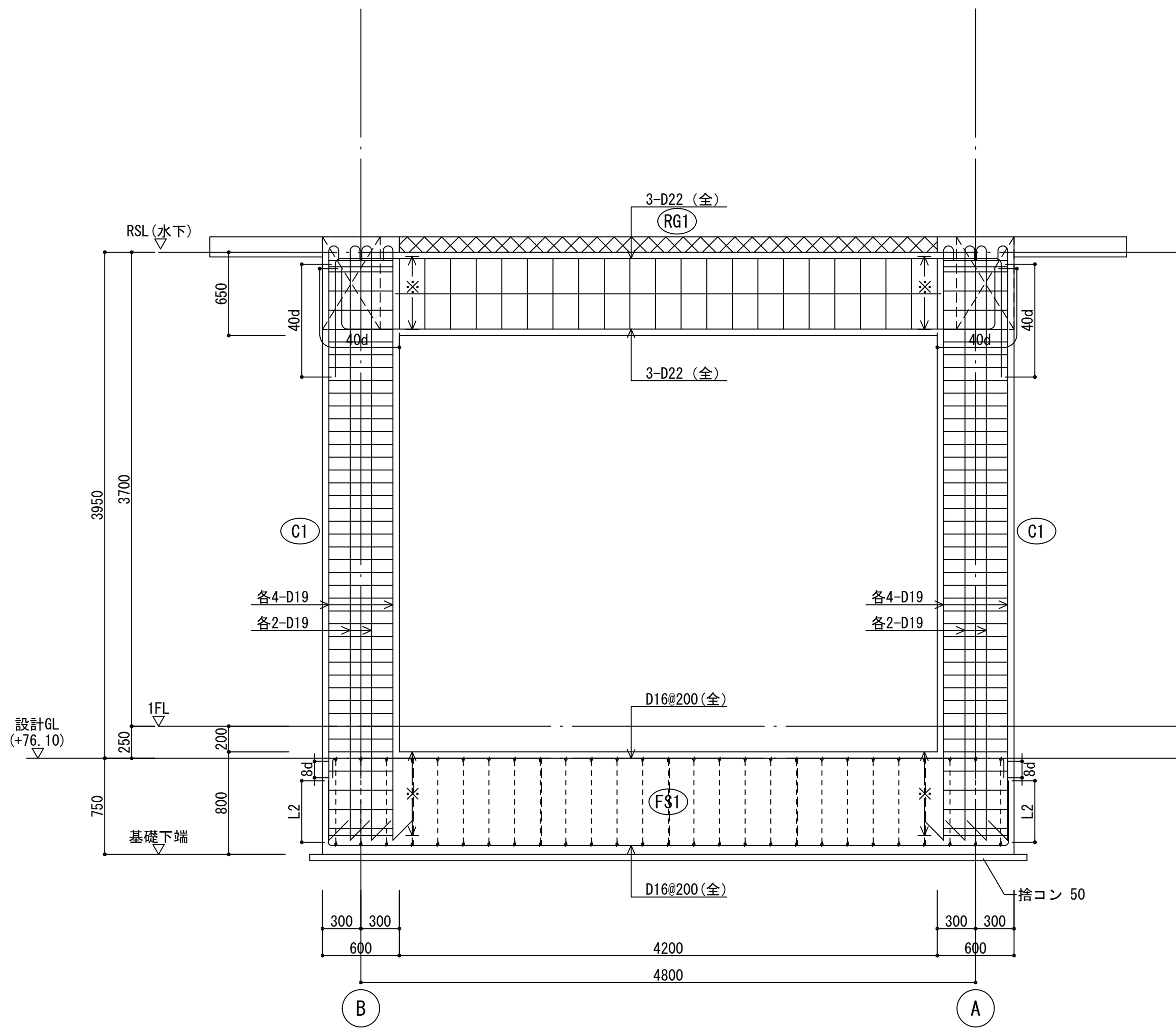
大梁・小梁リスト				
階	符 号	G1	GA	B1
R	位 置	全断面	全断面	全断面
	B x D	400 x 650	450 x 750	350 x 600
	上端筋	3-D22	4-D22	3-D19
	断 面			
	下端筋	3-D22	4-D22	3-D19
	S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D10@200
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10
	備 考			

床版リスト						
符 号	版 厚	位 置	主筋(短辺)方向		配力筋(長辺)方向	
			端 部	中 央	端 部	中 央
S1	150	上端筋	D10, D13@200	←←←←	D10, D13@200	←←←←
		下端筋	D10@200	←←←←	D10@200	←←←←
CS1	150	上端筋	D10, D13@200	←←←←	D10, D13@200	←←←←
		下端筋	D10@200	←←←←	D10@200	←←←←
CS2	200~150	上端筋	D13@150	←←←←	D10@200	←←←←
		下端筋	D10@150	←←←←	D10@200	←←←←
FS1	800	上端筋	D16@200	←←←←	D16@200	←←←←
		下端筋	D16@200	←←←←	D16@200	←←←←
FCS1	230~200	上端筋	D13@150	←←←←	D10, D13@200	←←←←
		下端筋	D10@150	←←←←	D10@200	←←←←

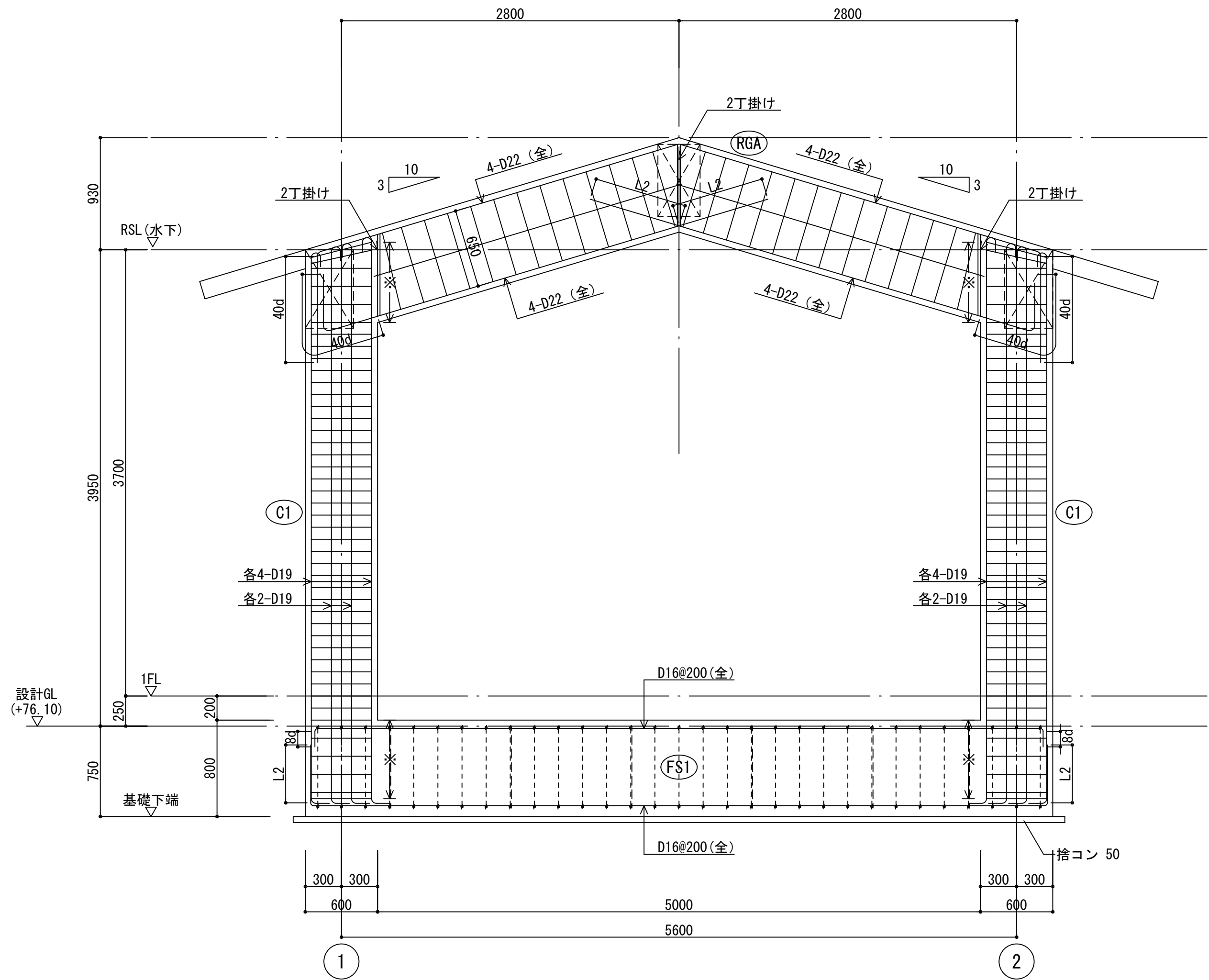


工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	架構配筋詳細図		
図面番号	S-8	縮 尺	1:30
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



1 通り架構配筋詳細図 1/30



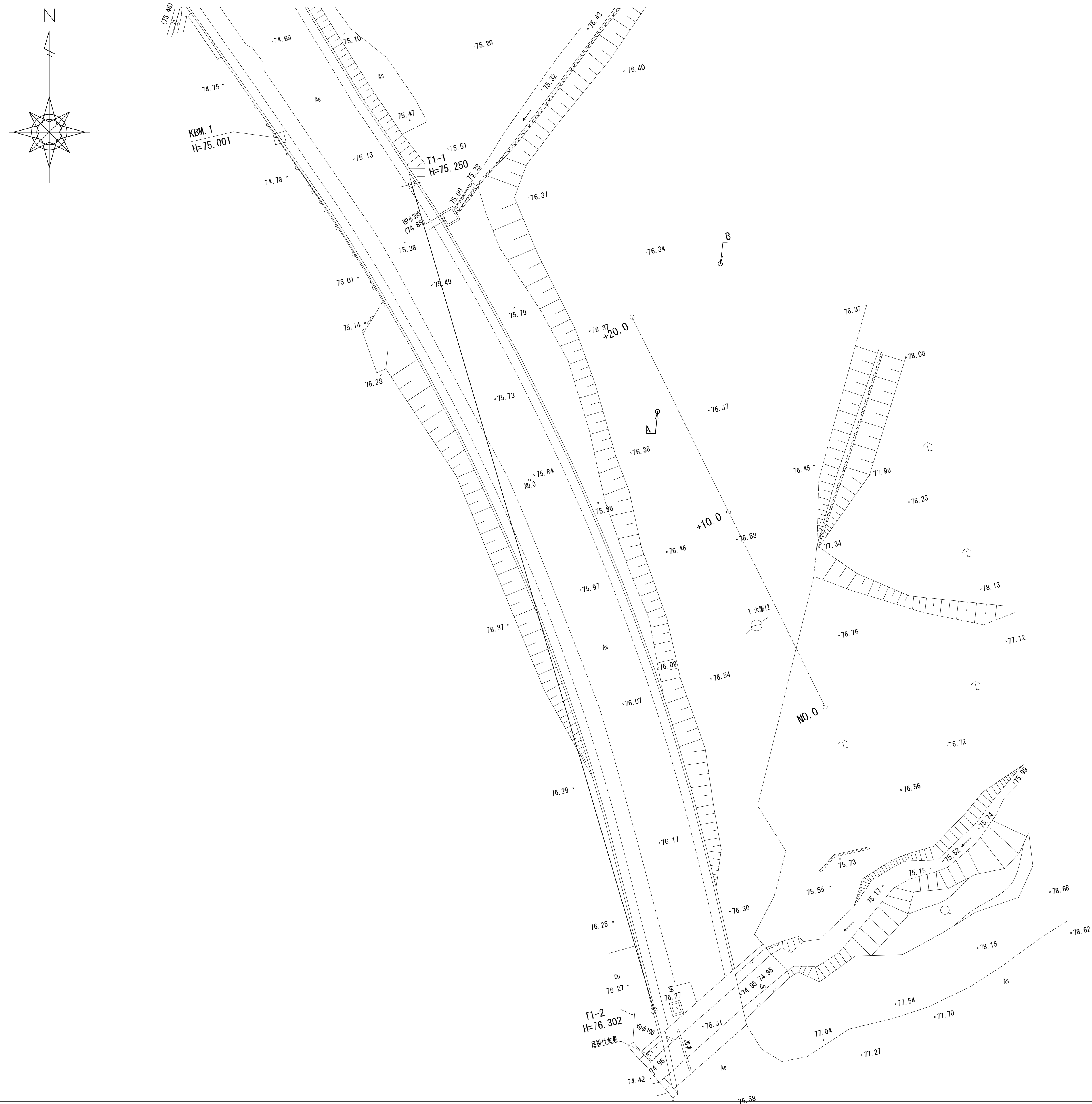
B 通り架構配筋詳細図 1/30

特記なき限り、下記による（各図共通）。
1. STPIは 2-D13@200、腹筋は 2-D10とする。
2. HOOPは □-D13@100とする。
3. 仕口内(※印部)HOOPは、□-D13@150とする。
4. 柱頭部仕口内柱主筋の定着は、全数フック付きとする。

現況平面図 S=1:100

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	現況平面図		
図面番号	C-1	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

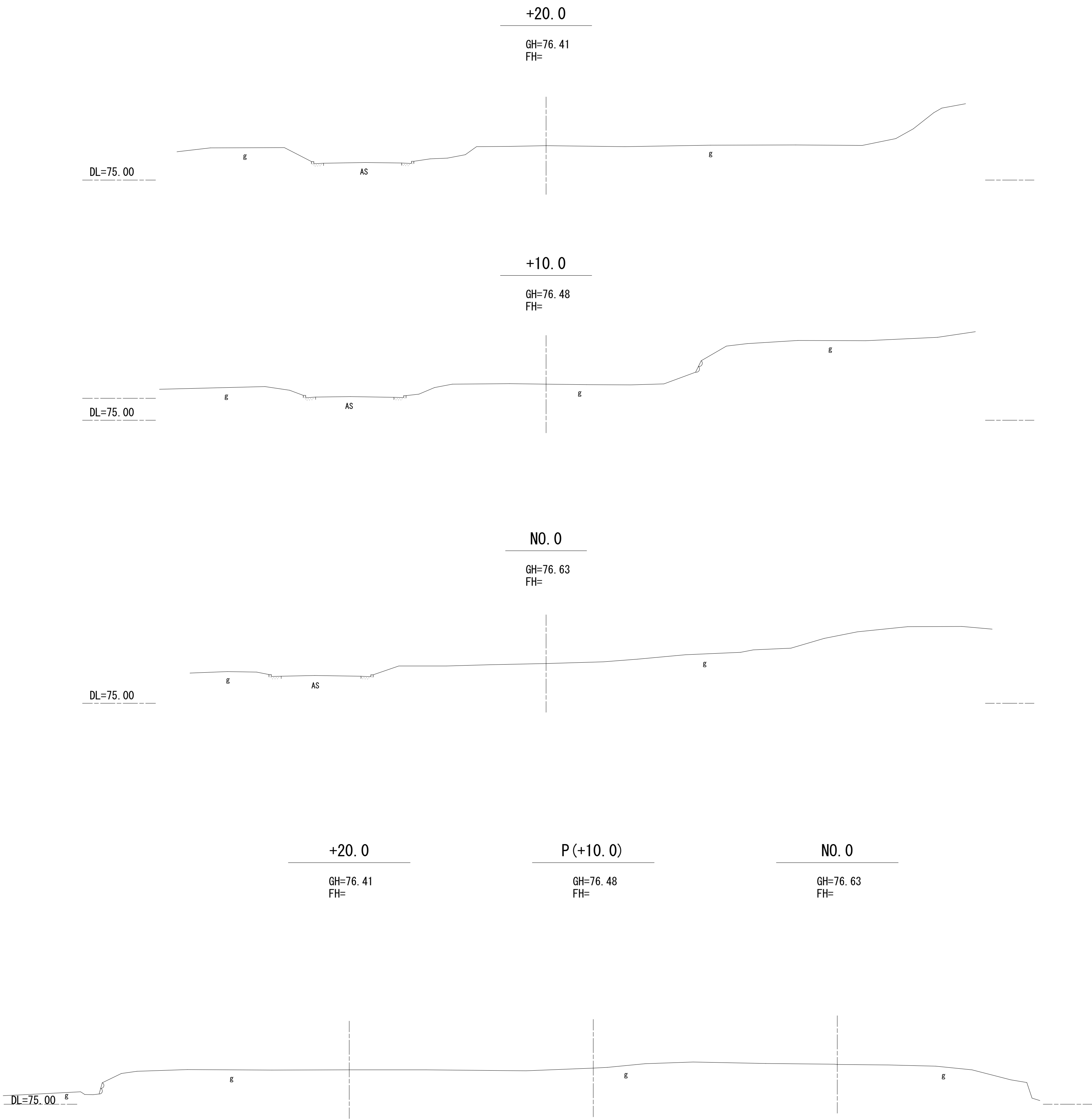
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



現況横断・縦断面図 S=1:100

工 事 名	〈仮称〉東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	現況横断・縦断面図		
図面番号	C-2	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

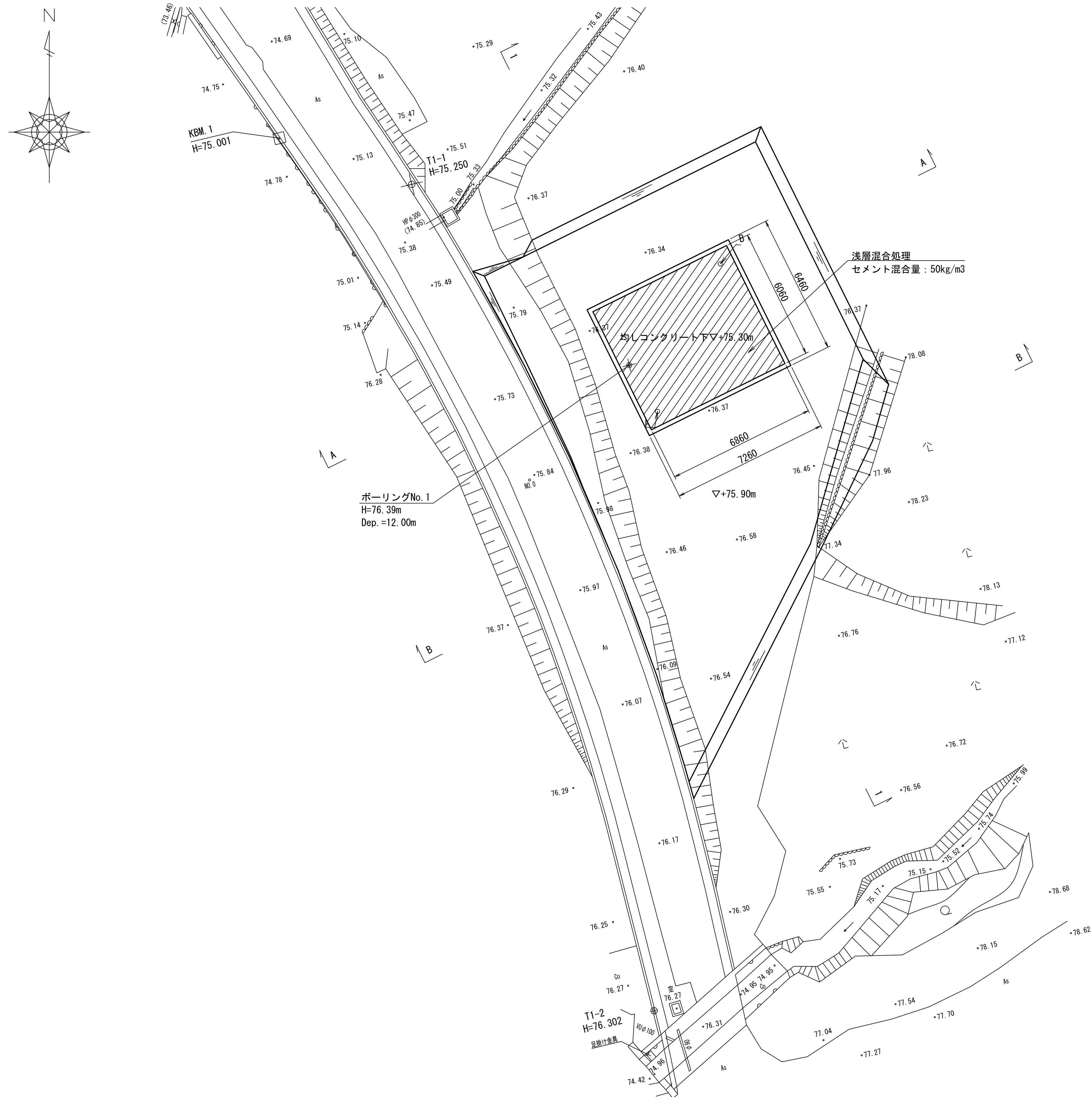
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



土工平面图 S=1:100

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	土工平面図		
図面番号	C-3	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

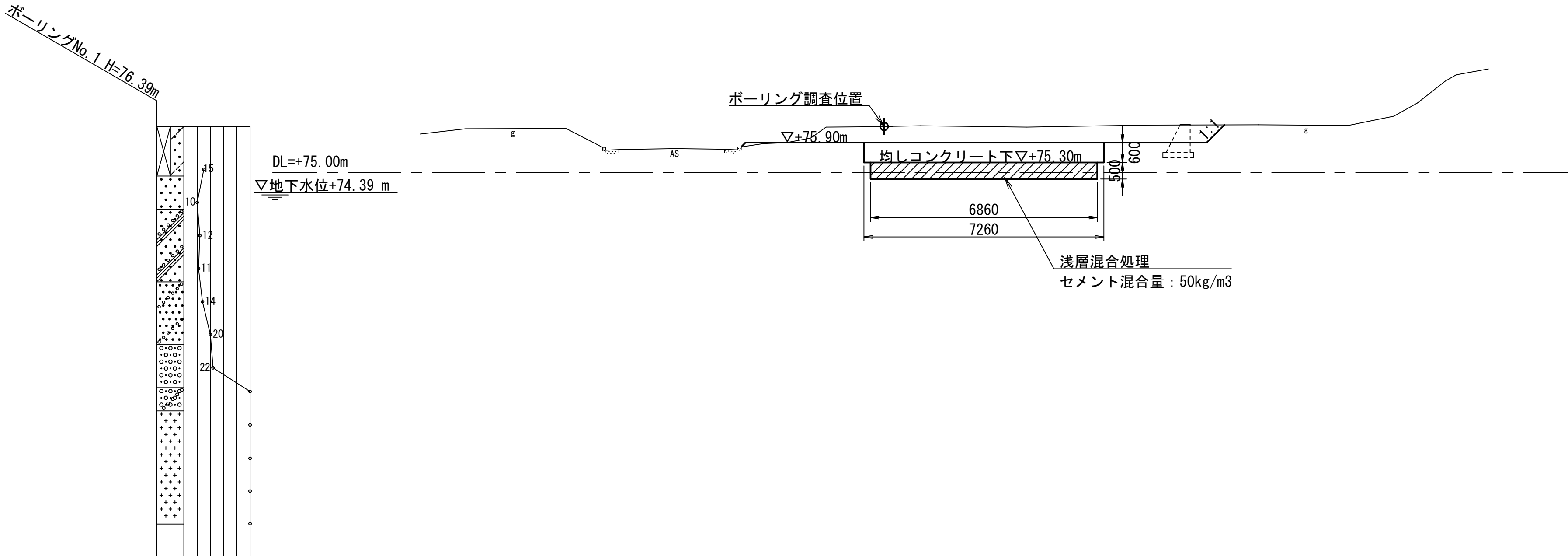


土工断面図 S=1:100

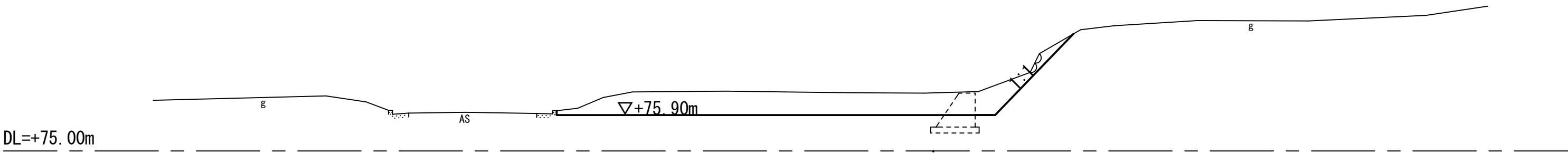
工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	土工断面図		
図面番号	C-4	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

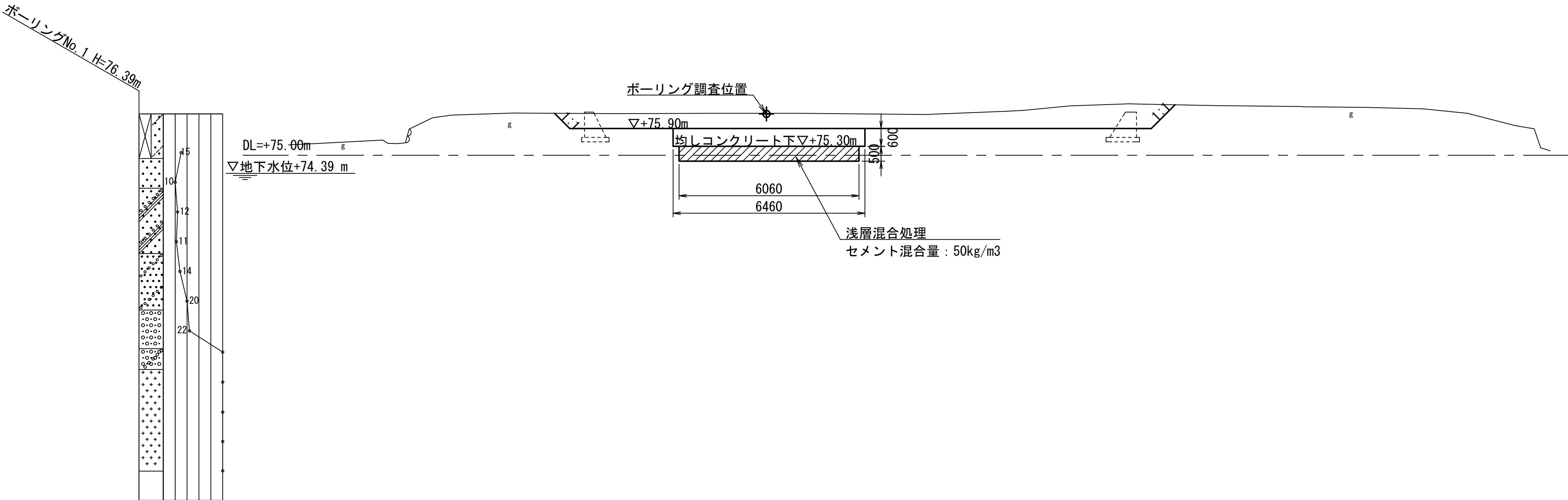
A-A断面図



B-B断面図



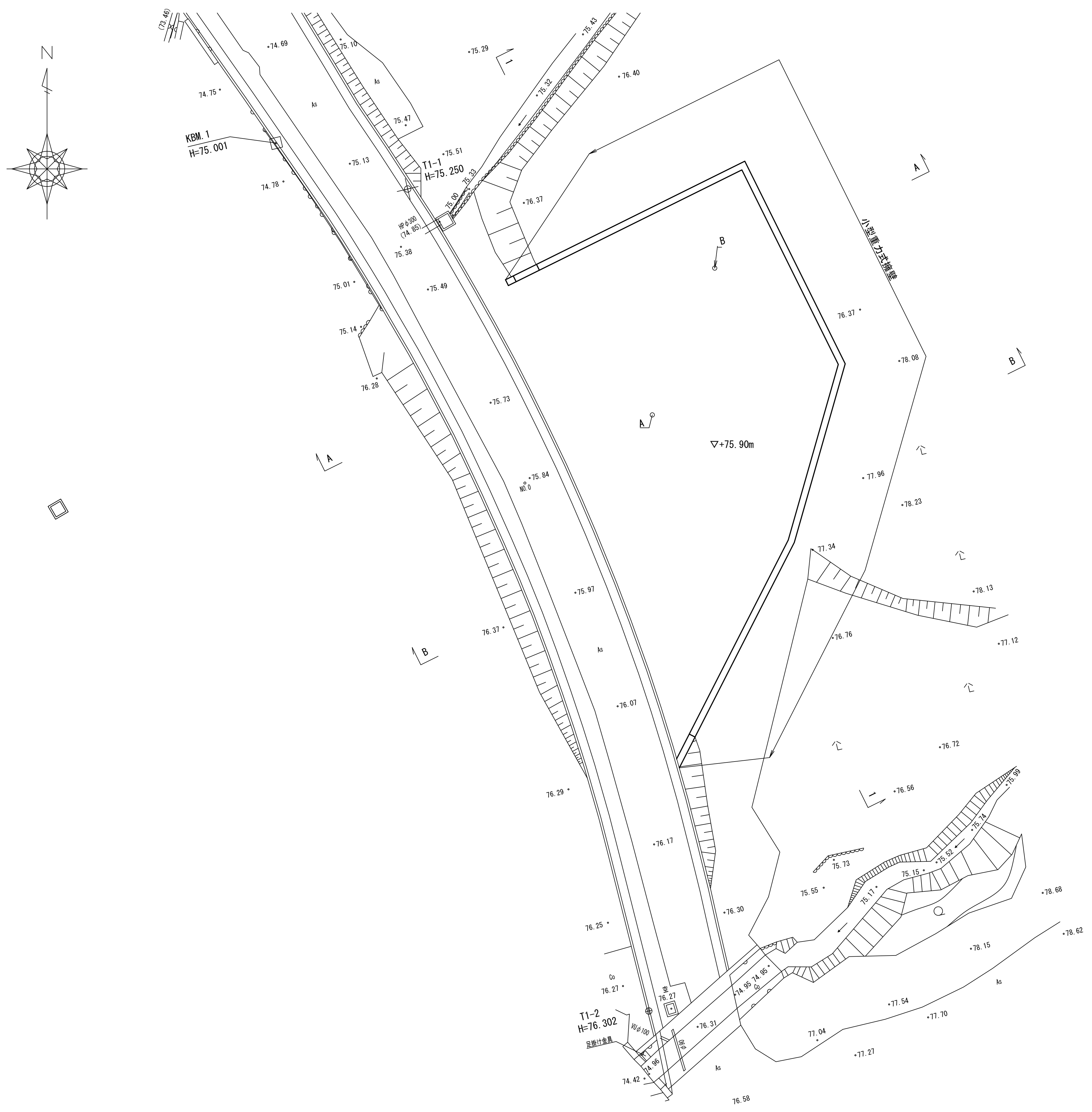
1-1断面図



造成平面図 S=1:100

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	造成平面図		
図面番号	C-5	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

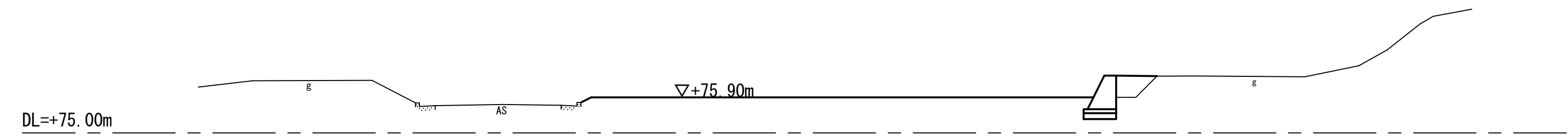


工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	造成断面図		
図面番号	C-6	縮 尺	1:100
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

造成断面図 S=1:100

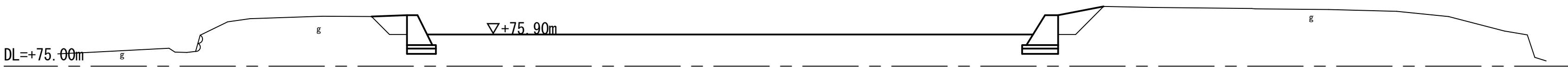
A-A断面図



B-B断面図



1-1断面図

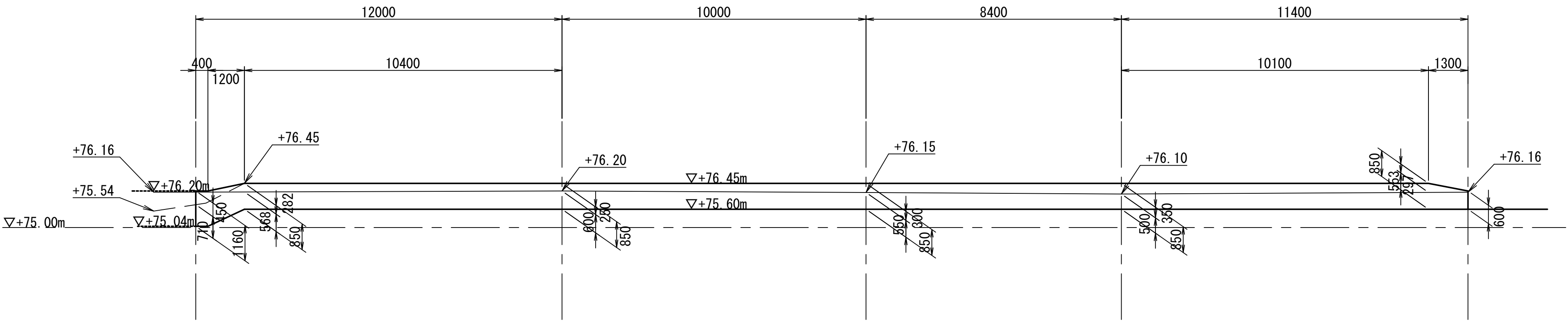


工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	小型重力式擁壁展開図・標準図		
図面番号	C-7	縮 尺	1:100 1:25
福 山 市 上 下 水 道 局			

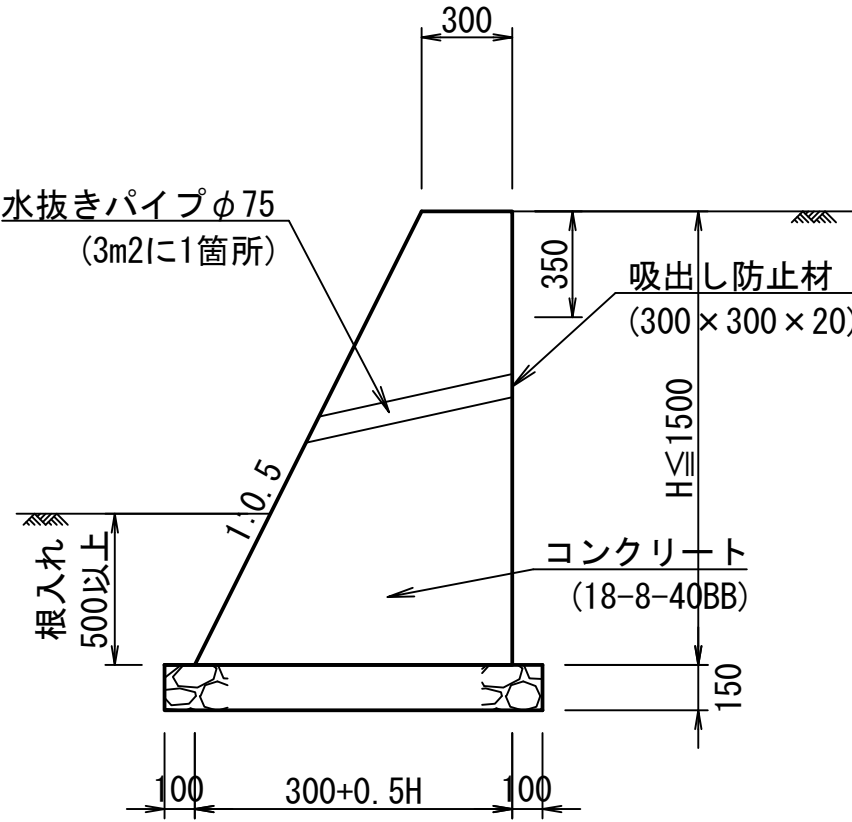
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

小型重力式擁壁展開図・標準図 S=1:100

展 開 図



標 準 図
S=1:25



福山市機械設備工事特記仕様書

※ 福山市建築工事特記仕様書と内容が重複する場合は、福山市建築工事特記仕様書の特記内容を優先する。

I 工事概要

1 工事名称

(仮称) 東中条ポンプ所新築工事

2 工事場所

福山市神辺町地内

3 用途地域

指定なし

4 防火地域

防火地域 準防火地域 指定なし

5 工事種別

新築 増築 改築 改修

6 敷地面積

241.59m²

7 建物概要

1) 構造

RC造 平屋建

2) 面積

建築面積 31.42m²

延べ面積 31.42m²

概要

3) 附属施設

B 消防法令に基づき(防火対象物 消防法施行令別表― (15) 項

9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 ()

※ 本工事の工期には、工事検査期間として 日を含んでいる。

※ 契約締結後 日以内に実施工程表を提出するものとする。

※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

II 工事種目 (〇印のついたものを適用する。)

工事種目		工事種目	
1.	給排水衛生設備工事	②	空調調和設備工事
1	衛生器具設備工事	1	空調調和設備工事
2	給水設備工事	2	換気設備工事
3	排水設備工事	③	排煙設備工事
4	給湯設備工事	4	自動制御設備工事
5	消火設備工事		
6	厨房機器設備工事		
7	ガス設備工事		
8	浄化槽設備工事		

III 設備概要 (〇印のついたものを適用する。)

給排水衛生設備	給水方式		・ 直結直圧式 ・ 直結増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
	排水方式		・ 自然流下 ・ ポンプ排水 (・ 汚物 ・ 水 ・ 雑排水)
放流先	汚 水	・ 直放流下水管 ・ 浄化槽	
	雑排水	・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途排水	
給湯設備	方式 (・ 局所式 ・ 中央式)		
	熱源 (・ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油)		
消火設備	・ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー		
	・ 粉末消火 ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連結散水 ・ 消火器		
・ フード等用簡易自動消火 ・ 二酸化炭素消火 ・ 不活性ガス消火			
ガス設備	・ 都市ガス 種別1 3 A (4 5 M J / N □)		・ 液化石油ガス
	・ 浄化槽		・ 小規模合併処理 ・ 合併処理
空調調和設備	・ 空気調和 (・ 中央ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ・ パッケージ方式 ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式)		
	・ ()		
主要熱源機器	・ 鋼製ボイラー ・ 鋳鉄製ボイラー ・ 温水発生機 ・ チリングユニット		
	・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 遠心冷凍機 ・ スクリュー冷凍機		
・ 吸収冷凍機 ・ 直だし吸収冷凍水機 ・ 小形吸収冷凍水機ユニット			
・ コージェネレーション装置 ・ 永暑熱ユニット			
・ パッケージ形空調調和機 ・ ガスエンジン系パッケージ形空調調和機			
換気設備	① 1種換気 ・ 2種換気 ・ 3種換気 ・ 全熱交換器		
	排煙設備		・ 機械排煙 (・ 有り ・ 無し) ・ 適用法則 (・ 建築法 ・ 消防法)
自動制御設備			・ 自動制御方式 (・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式) ・ 中央監視制御装置

IV 機械設備工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和 4 年版(以下「標準仕様書」という。)、同官庁設備・環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 令和 4 年版(以下「標準図」という。)及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和 4 年版による。

建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)による。

(1)官庁手続き

受注者は各関係官公署への必要な手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。)関係官公署手続きは監督員の承諾後とする。)

(2)地元企業及び地場製品の活用

受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用を努める。

(3)疑義に対する協議等

設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2 特記仕様

(1)項目は、番号に〇印のついたものを適用する。

(2)特記事項は※および〇印のついたものを適用する。

3 引渡し後、次に示す点検を行う。(〇印のついたものを適用する。)

・ 引渡し後点検 (第1 次点検) 引渡し後概ね 1 年後

・ 引渡し後点検 (第2 次点検) 引渡し後概ね 2 年後

章 項目 特記事項

① 適用基準等

・ 公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修 (令和元年版)

・ 建築基準法、消防法、その他関係法令

・ 建設工事公共災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設課・住宅局建築指導課監修

・ 建築工事安全施工技術指針 建設大臣官庁官庁営繕部監修課長通達

② 監理 (主任) 技術者

受注者は、監理技術者及び主任技術者を建築業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

3 電気保安技術者

・ 適用する。 ・ 適用しない

4 技能士

・ 適用する。 ・ 適用しない

⑤ 施工管理

受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。

※施工体制台帳 (建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)

技術者台帳 (施工体制台帳に添付)

監理技術者・主任技術者 (下請を含む) 及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。

※施工体系図 (建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)

工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。

指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。

また、 (社) 公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質、性能を有することの評価を受け、材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。)

形状、寸法等が設計書と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。

工事に使用する機器および材料は、アスベストを含有しないものとする。

国等による環境物品等の調達推進等に関する法律 (平成12年法律第100号。 「グリーン購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

・ 引渡しを要するもの ()

・ 現場において再利用を図るもの ()

※ 再資源化を図るもの

・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材

・ コンクリート及び鉄からなる建設資材

※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(以下、「資源有効利用促進法」という。)、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という。)その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。

※ 建設副産物情報交換システム (COBRIS) (財) 日本建設情報総合センター

本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。

また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入 (搬出) する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

施工計画時		工事完了時	
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書	
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書	

※本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物立税が課税される。

なお、本工事で広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。

分類	規格	撮影枚数	提出部数
着手前	L版程度 (カラー)	必要に応じた数	1
工事中	L版程度 (カラー)	必要に応じた数	1
完成時	L版程度 (カラー)	各 室 4 面 外 景 4 面	1

建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出する。

○ 各種写真は、写真帳 (A 4 版) にて工事完成時に提出する。

・ 原版等の提出 する (・ 完成時のみ ・ 全て) ・ しない

・ 提出の方法及び形式は、監督員の指示による。

速やかに次の図書を提出する。

竣工図 (・ A 3 版 2 つ折りにして製本) 部

○ 完成図 ○ 竣工図

・ 保全に関する資料 (設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)

・ 竣工図電子データ (竣工図含む) 一式 (「竣工図電子データ作成要領」による。)

○ C A Dデータ (媒体 (C D - R など) 、データ形式等は監督員の指示による)

10 関連工事等の調整等

施工範囲 「工事区分表」による。

※契約書に基づき関連工事受注者と工程を含めた総合的な軒合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。

⑪ 足場

建築工事等に伴う足場及び安全仮囲いは、無償にて使用できる。

・ 本工事で設置する。

・ 内部足場 (・ 単管足場 ・ 特組足場)

・ 外部足場 (・ 特組足場 ・ 単管足場)

※特組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について、(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2) (2) 手すり据置方式又は (3) 手すり先行専用足場方式により行う。

・ 同一場所で契約書に基づき(関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第3 0 条第2 項に基づき、当該工事について、同条第1 項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。

・ 本工事は、交通誘導員として 人を見込んで、交通誘導員の配置については、実施伝票 (原本) および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。

※受注者は、次表に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。

登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。

なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)

本工事は、インターネットを利用して、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。

本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。

運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。

・ 受注者指定型

共通伝票費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。

受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。

・ 受注者希望型 (契約時の請負金額が5 0 0 万円以上のものに限り)

工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。

本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。

その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通伝票費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。

⑫ 施工中の安全確保

・ 下記項目の測定を行ない監督員に提出する (部)

・ 温度 ・ 湿度 ○ 風量 ○ 騒音 ・ 振動 ・ 気流 ・ 塵埃

・ 飲料水 (雑用水) の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度

測定箇所等は、監督員の指示による。

監督員と協議の上、設備機器類 (ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調調和機等) 及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成し、指示する箇所に取付ける。

特記なき場合は、E M 電線・ケーブルとする。

標準仕様書によるほか下記による。

・ 運転ブロック図に適合するものとする。

・ ボイラー及び給温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に漏電検出計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による

・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形

標準仕様書によるほか示図の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製 ・ コンクリート製)

排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS 3 0 4) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等もステンレス製 (SUS 3 0 4) 又は溶接部締めくき仕上げとする。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8 年版・建設大臣官庁官庁営繕部監修) 及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2 0 1 4 年版・一般財団法人日本建築センター発行) による。耐震クラスは () とする。

標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

イ) ボリスチレンフォーム 給水配管、排水配管の多湿場所

ロ) グラスウール 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等

ハ) ロックウール 排気ダクト、排煙ダクト

ベトラタム系防食テープ (1 / 2 重ね、1 回巻き) + プラスチックテープ (1 / 2 重ね、1 回巻き)

ブチルゴム系絶縁テープ (1 / 2 重ね、2 回巻)

熱収縮材

防食用水リ強化ビニル貼着テープ (J I S Z 1 9 0 1 ② 0.4mm / m) 1 / 2 重ね、2 回巻

標準仕様書及び図示による。

外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ強化ビニル管 (V U) とする。

(柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)

図面に記載されている数値以上とする。

以下とする。

防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管

非破壊検査の適用 ※ 無し

・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)

判定基準 ()

採取率は ・ 標準仕様書による

⑬ 工事実績情報システム (CORINS) への登録

登録申請について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。

なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)

本工事は、インターネットを利用して、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。

本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。

運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。

・ 受注者指定型

共通伝票費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。

受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。

・ 受注者希望型 (契約時の請負金額が5 0 0 万円以上のものに限り)

工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。

本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。

その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通伝票費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。

⑭ 情報共有システム

・ 下記項目の測定を行ない監督員に提出する (部)

・ 温度 ・ 湿度 ○ 風量 ○ 騒音 ・ 振動 ・ 気流 ・ 塵埃

・ 飲料水 (雑用水) の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度

測定箇所等は、監督員の指示による。

監督員と協議の上、設備機器類 (ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調調和機等) 及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成し、指示する箇所に取付ける。

特記なき場合は、E M 電線・ケーブルとする。

標準仕様書によるほか下記による。

・ 運転ブロック図に適合するものとする。

・ ボイラー及び給温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に漏電検出計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による

・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形

標準仕様書によるほか示図の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製 ・ コンクリート製)

排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS 3 0 4) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等もステンレス製 (SUS 3 0 4) 又は溶接部締めくき仕上げとする。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8 年版・建設大臣官庁官庁営繕部監修) 及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2 0 1 4 年版・一般財団法人日本建築センター発行) による。耐震クラスは () とする。

標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

イ) ボリスチレンフォーム 給水配管、排水配管の多湿場所

ロ) グラスウール 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等

ハ) ロックウール 排気ダクト、排煙ダクト

ベトラタム系防食テープ (1 / 2 重ね、1 回巻き) + プラスチックテープ (1 / 2 重ね、1 回巻き)

ブチルゴム系絶縁テープ (1 / 2 重ね、2 回巻)

熱収縮材

防食用水リ強化ビニル貼着テープ (J I S Z 1 9 0 1 ② 0.4mm / m) 1 / 2 重ね、2 回巻

標準仕様書及び図示による。

外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ強化ビニル管 (V U) とする。

(柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)

図面に記載されている数値以上とする。

以下とする。

防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管

非破壊検査の適用 ※ 無し

・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)

判定基準 ()

採取率は ・ 標準仕様書による

⑮ 測定表

・ 下記項目の測定を行ない監督員に提出する (部)

・ 温度 ・ 湿度 ○ 風量 ○ 騒音 ・ 振動 ・ 気流 ・ 塵埃

・ 飲料水 (雑用水) の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度

測定箇所等は、監督員の指示による。

監督員と協議の上、設備機器類 (ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調調和機等) 及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成し、指示する箇所に取付ける。

特記なき場合は、E M 電線・ケーブルとする。

標準仕様書によるほか下記による。

・ 運転ブロック図に適合するものとする。

・ ボイラー及び給温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に漏電検出計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による

・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形

標準仕様書によるほか示図の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製 ・ コンクリート製)

排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS 3 0 4) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等もステンレス製 (SUS 3 0 4) 又は溶接部締めくき仕上げとする。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8 年版・建設大臣官庁官庁営繕部監修) 及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2 0 1 4 年版・一般財団法人日本建築センター発行) による。耐震クラスは () とする。

標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

イ) ボリスチレンフォーム 給水配管、排水配管の多湿場所

ロ) グラスウール 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等

ハ) ロックウール 排気ダクト、排煙ダクト

ベトラタム系防食テープ (1 / 2 重ね、1 回巻き) + プラスチックテープ (1 / 2 重ね、1 回巻き)

ブチルゴム系絶縁テープ (1 / 2 重ね、2 回巻)

熱収縮材

防食用水リ強化ビニル貼着テープ (J I S Z 1 9 0 1 ② 0.4mm / m) 1 / 2 重ね、2 回巻

標準仕様書及び図示による。

外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ強化ビニル管 (V U) とする。

(柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)

図面に記載されている数値以上とする。

以下とする。

防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管

非破壊検査の適用 ※ 無し

・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)

判定基準 ()

採取率は ・ 標準仕様書による

⑯ 説明板

監督員と協議の上、設備機器類 (ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調調和機等) 及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成し、指示する箇所に取付ける。

特記なき場合は、E M 電線・ケーブルとする。

標準仕様書によるほか下記による。

・ 運転ブロック図に適合するものとする。

・ ボイラー及び給温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に漏電検出計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による

・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形

標準仕様書によるほか示図の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製 ・ コンクリート製)

排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS 3 0 4) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等もステンレス製 (SUS 3 0 4) 又は溶接部締めくき仕上げとする。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8 年版・建設大臣官庁官庁営繕部監修) 及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2 0 1 4 年版・一般財団法人日本建築センター発行) による。耐震クラスは () とする。

標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

イ) ボリスチレンフォーム 給水配管、排水配管の多湿場所

ロ) グラスウール 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等

ハ) ロックウール 排気ダクト、排煙ダクト

ベトラタム系防食テープ (1 / 2 重ね、1 回巻き) + プラスチックテープ (1 / 2 重ね、1 回巻き)

ブチルゴム系絶縁テープ (1 / 2 重ね、2 回巻)

熱収縮材

防食用水リ強化ビニル貼着テープ (J I S Z 1 9 0 1 ② 0.4mm / m) 1 / 2 重ね、2 回巻

標準仕様書及び図示による。

外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ強化ビニル管 (V U) とする。

(柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)

図面に記載されている数値以上とする。

以下とする。

防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管

非破壊検査の適用 ※ 無し

・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)

判定基準 ()

採取率は ・ 標準仕様書による

⑰ 電線類

標準仕様書によるほか下記による。

・ 運転ブロック図に適合するものとする。

・ ボイラー及び給温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に漏電検出計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による

・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形

標準仕様書によるほか示図の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製 ・ コンクリート製)

排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS 3 0 4) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等もステンレス製 (SUS 3 0 4) 又は溶接部締めくき仕上げとする。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8 年版・建設大臣官庁官庁営繕部監修) 及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2 0 1 4 年版・一般財団法人日本建築センター発行) による。耐震クラスは () とする。

標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

イ) ボリスチレンフォーム 給水配管、排水配管の多湿場所

ロ) グラスウール 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等

ハ) ロックウール 排気ダクト、排煙ダクト

ベトラタム系防食テープ (1 / 2 重ね、1 回巻き) + プラスチックテープ (1 / 2 重ね、1 回巻き)

ブチルゴム系絶縁テープ (1 / 2 重ね、2 回巻)

熱収縮材

防食用水リ強化ビニル貼着テープ (J I S Z 1 9 0 1 ② 0.4mm / m) 1 / 2 重ね、2 回巻

標準仕様書及び図示による。

外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ強化ビニル管 (V U) とする。

(柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)

図面に記載されている数値以上とする。

以下とする。

防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管

非破壊検査の適用 ※ 無し

・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)

判定基準 ()

採取率は ・ 標準仕様書による

⑱ 機器付属の制御盤

標準仕様書によるほか下記による。

・ 運転ブロック図に適合するものとする。

・ ボイラー及び給温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に漏電検出計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による

・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形

標準仕様書によるほか示図の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製 ・ コンクリート製)

排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS 3 0 4) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等もステンレス製 (SUS 3 0 4) 又は溶接部締めくき仕上げとする。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8 年版・建設大臣官庁官庁営繕部監修) 及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2 0 1 4 年版・一般財団法人日本建築センター発行) による。耐震クラスは () とする。

標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

イ) ボリスチレンフォーム 給水配管、排水配管の多湿場所

ロ) グラスウール 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等

ハ) ロックウール 排気ダクト、排煙ダクト

ベトラタム系防食テープ (1 / 2 重ね、1 回巻き) + プラスチックテープ (1 / 2 重ね、1 回巻き)

ブチルゴム系絶縁テープ (1 / 2 重ね、2 回巻)

熱収縮材

防食用水リ強化ビニル貼着テープ (J I S Z 1 9 0 1 ② 0.4mm / m) 1 / 2 重ね、2 回巻

標準仕様書及び図示による。

外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ強化ビニル管 (V U) とする。

(柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)

図面に記載されている数値以上とする。

以下とする。

防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管

非破壊検査の適用 ※ 無し

・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)

判定基準 ()

採取率は ・ 標準仕様書による

⑲ 耐震施工

標準仕様書によるほか下記による。

・ 運転ブロック図に適合するものとする。

・ ボイラー及び給温水機等の附属盤の始動スイッチ二次側に漏電検出計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する ・ 機器表特記による

・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形

標準仕様書によるほか示図の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製 ・ コンクリート製)

排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS 3 0 4) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等もステンレス製 (SUS 3 0 4) 又は溶接部締めくき仕上げとする。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8 年版・建設大臣官庁官庁営繕部監修) 及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2 0 1 4 年版・一般財団法人日本建築センター発行) による。耐震クラスは () とする。

標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

イ) ボリスチレンフォーム 給水配管、排水配管の多湿場所

ロ) グラスウール 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等

ハ) ロックウール 排気ダクト、排煙ダクト

ベトラタム系防食テープ (1 / 2 重ね、1 回巻き) + プラスチックテープ (1 / 2 重ね、1 回巻き)

ブチルゴム系絶縁テープ (1 / 2 重ね、2 回巻)

熱収縮材

防食用水リ強化ビニル貼着テープ (J I S Z 1 9 0 1 ② 0.4mm / m) 1 / 2 重ね、2 回巻

標準仕様書及び図示による。

外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ強化ビニル管 (V U) とする。

(柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)

図面に記載されている数値以上とする。

以下とする。

防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管

非破壊検査の適用 ※ 無し

・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)

判定基準 ()

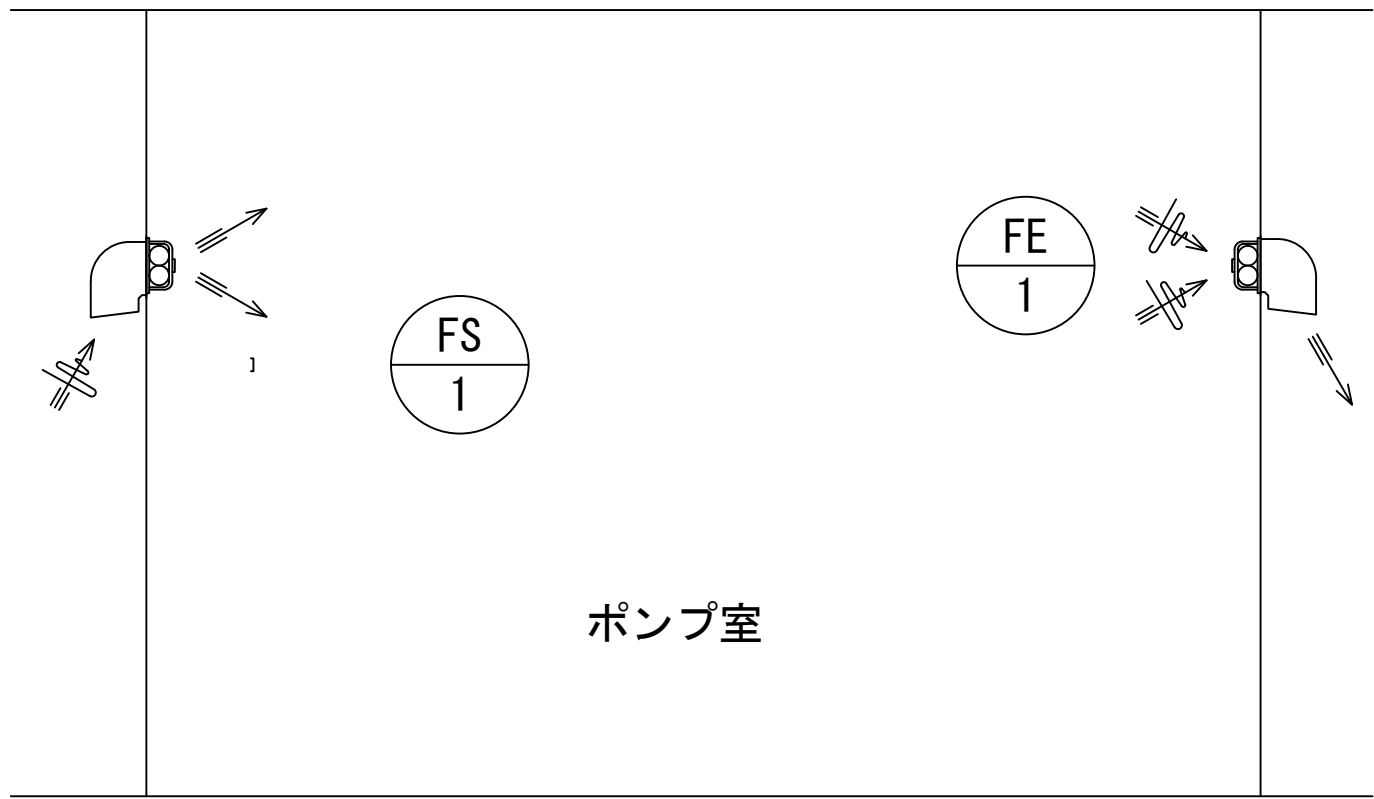
採取率は ・ 標準仕様書による

⑳ 埋設表示

標準仕様書によるほか下記

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	換気設備、機器表、平・断面図		
図面番号	AM-3	縮 尺	1:30
福 山 市 上 下 水 道 局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

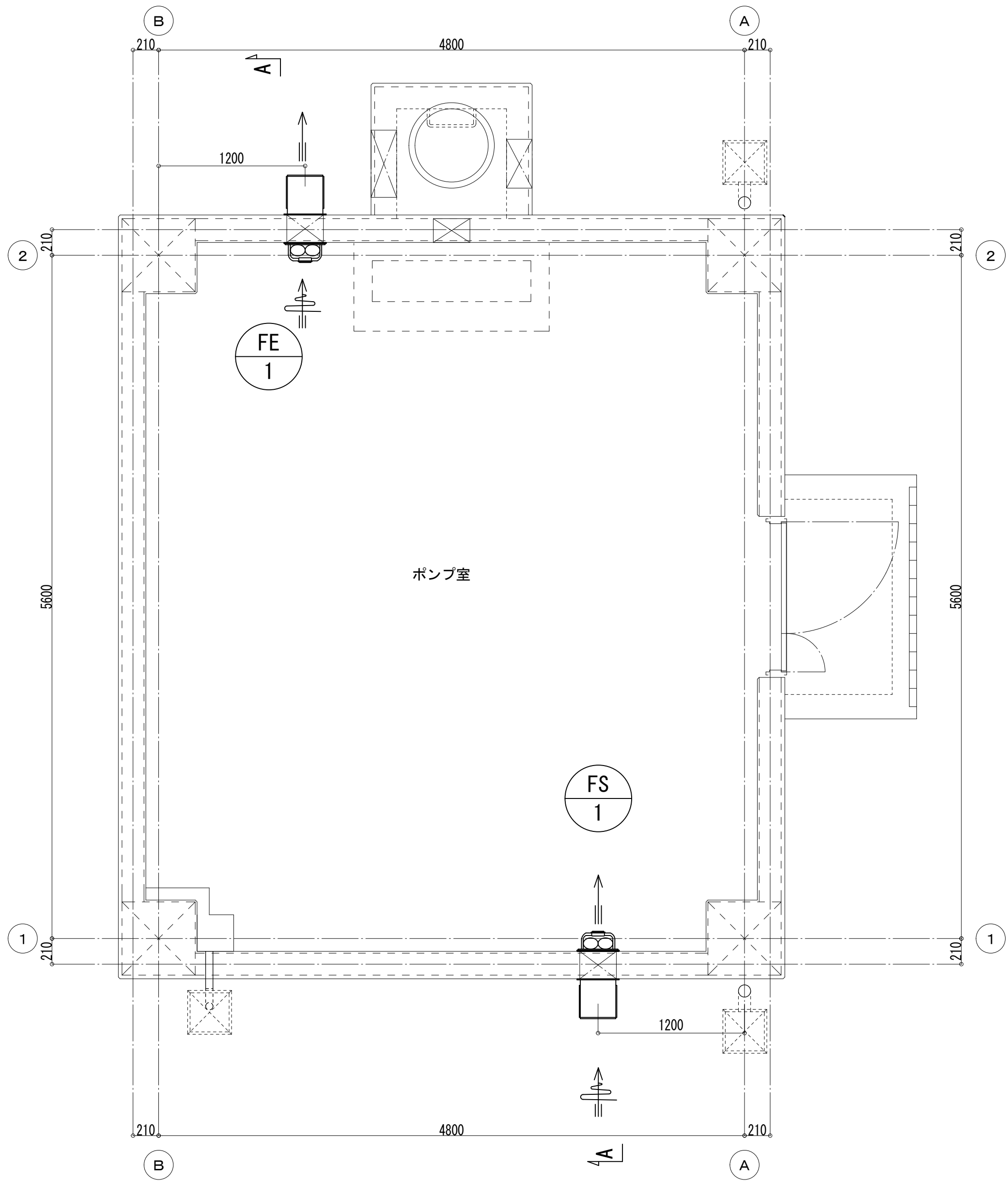


換気系統図

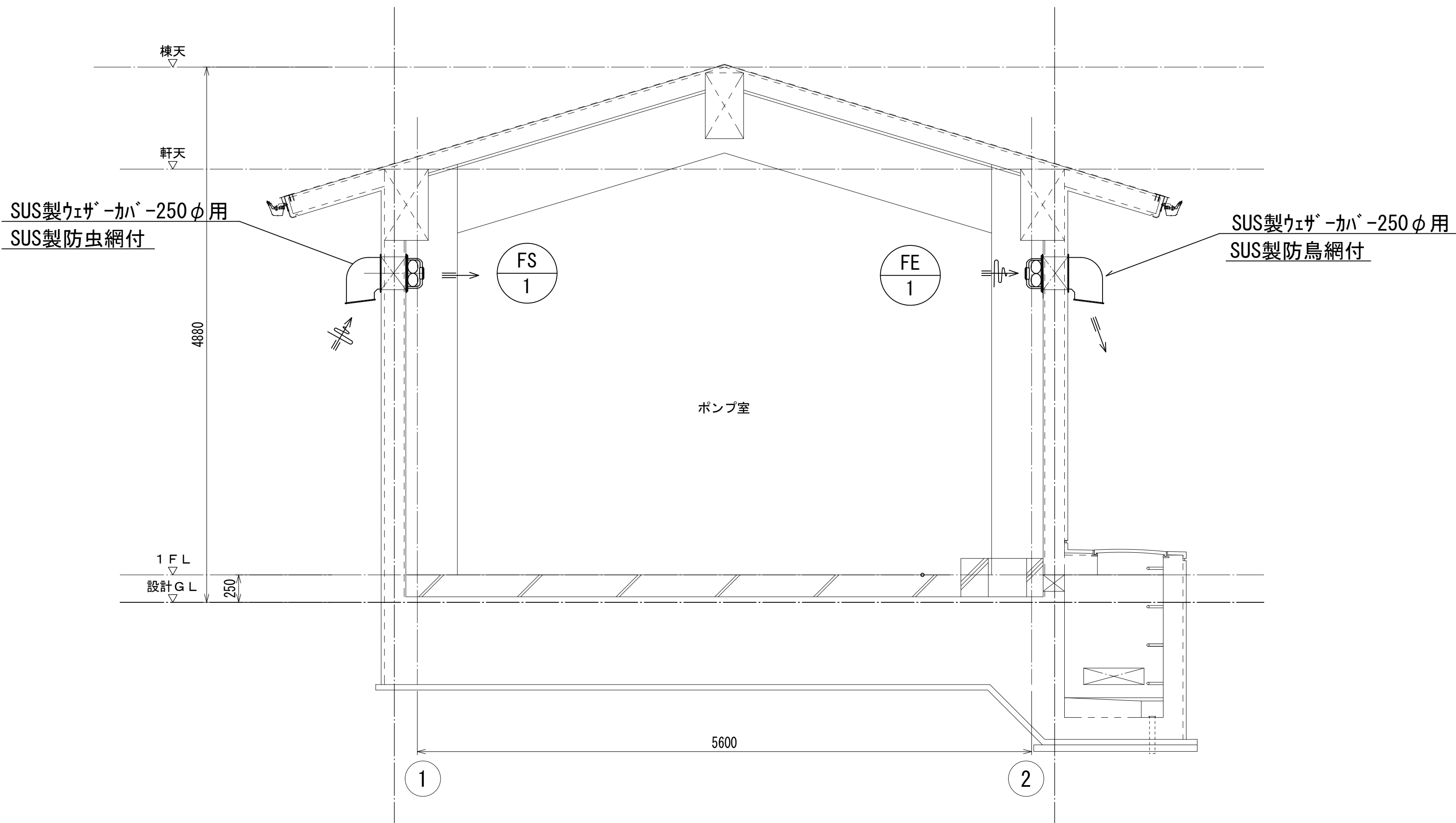
換気設備 機器表

記 号	機 器 名	仕 様 ・ 付 属 品	電 源	電 気 容 量	台 数	設 置 場 所	備 考
FS-1	給気ファン	型 式 : 有圧換気扇 給気用低騒音形	1φ-100V	53W	1	ポンプ室	FE-1と連動
		ステンレス製					
		能 力 : 250φ × 650 m ³ /h × 50 Pa					
		付属品 : SUS製電動式シャッター、SUS製保護ガード、					
		SUS製ウェザークハバ(指定色焼付塗装、SUS製防虫網付)、SUS製取付枠					
FE-1	排気ファン	型 式 : 有圧換気扇 排気用低騒音形	1φ-100V	50W	1	ポンプ室	FS-1と連動
		ステンレス製					
		能 力 : 250φ × 650 m ³ /h × 40 Pa					
		付属品 : SUS製風圧式シャッター、SUS製保護ガード、					
		SUS製ウェザークハバ(指定色焼付塗装、SUS製防虫網付)、SUS製取付枠					
		他標準付属品一式					


(注記) 1. 電気容量は、参考値とする。



1 階平面詳細図 S = 1 / 3 0

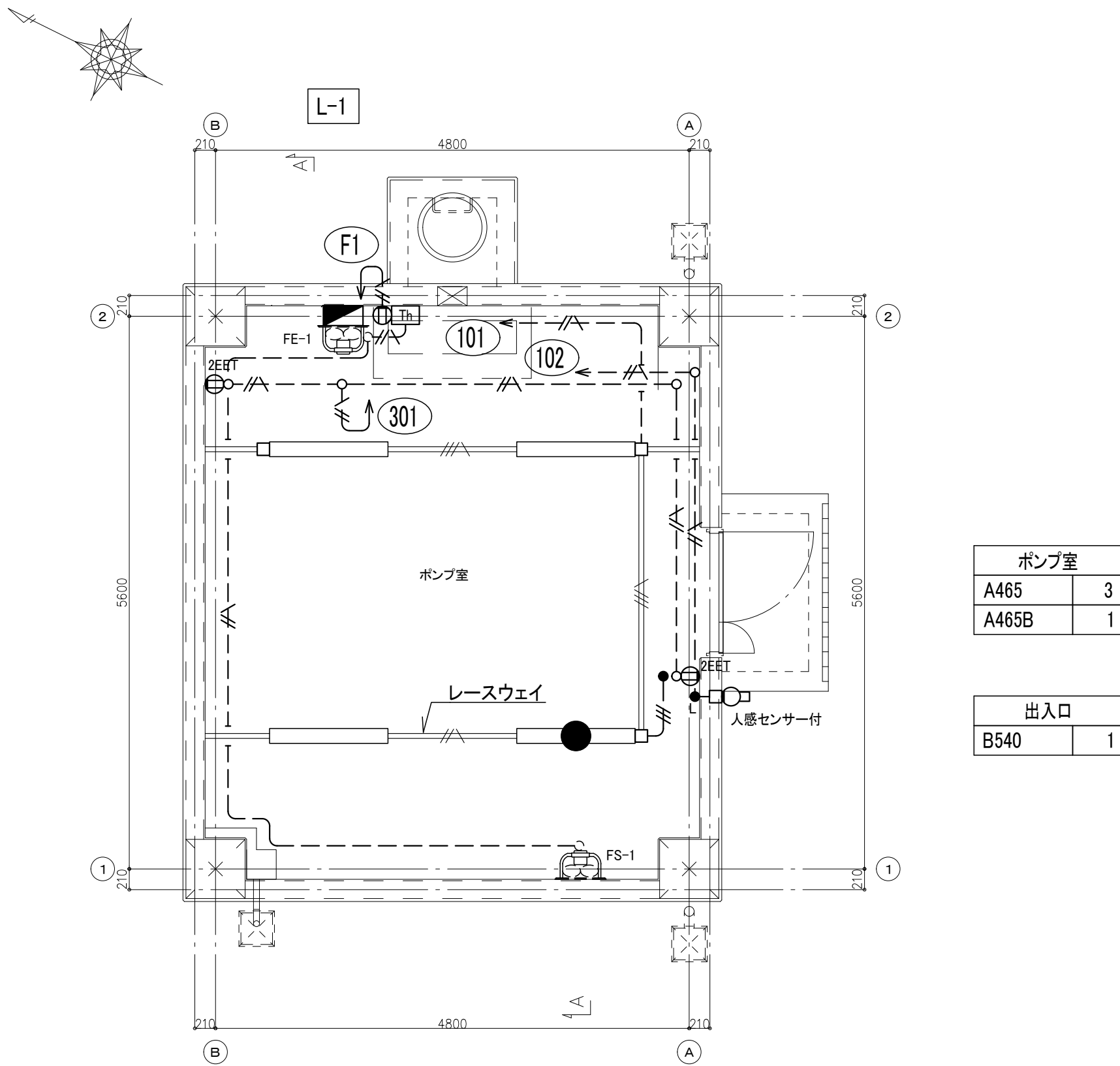


A-A断面図 S = 1 / 3 0

	福山市上下水道局		福山市上下水道局	図面No
			設計	AE-1
			2026年 1月	
			電気設備待記仕様書	

工 事 名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図 面	電灯・コンセント設備 平面図		
図面番号	AE-2	縮 尺	1:50
福 山 市 上 下 水 道 局			

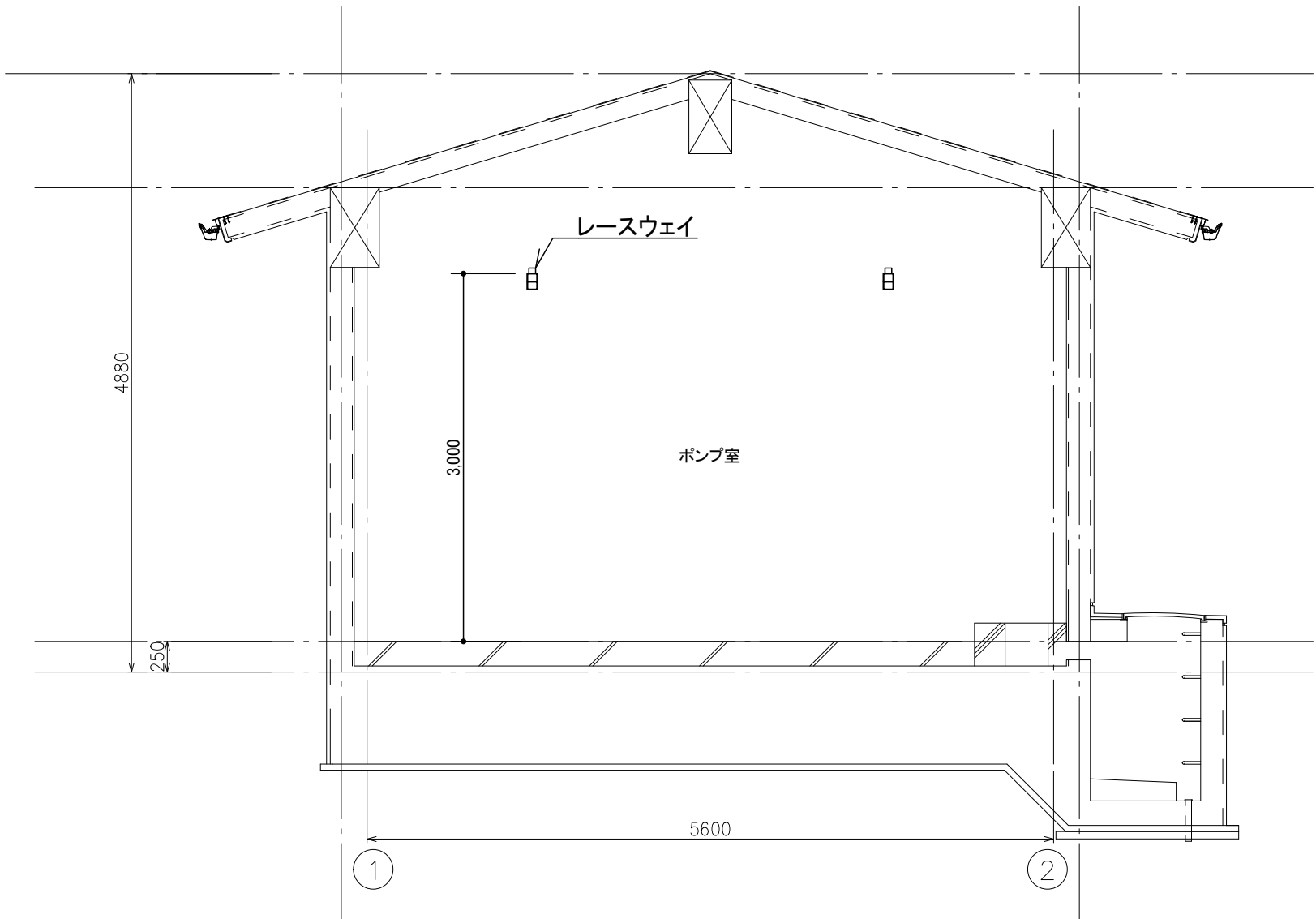
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



ポンプ室	
A465	3
A465B	1

出入口	
B540	1

電灯・コンセント設備 平面詳細図 S=1/50



A-A 断面詳細図 S=1/50

凡 例

記 号	名 称
	電灯分電盤
	照明器具 (レースウェイ付)
	非常用照明器具 (レースウェイ付)
	埋込スイッチ 1P15A×1 新金属プレート
	埋込動作確認灯付スイッチ 1P4A(LED)オビハ 新金属プレート
	埋込コンセント 2P15A×2 接地極・接地端子付 新金属プレート
	サーモスイッチ
	配管配線 天井隠蔽
	配管配線 床隠蔽
	配管配線 露出
	配管配線 ケーブル工事
	配管配線 床下(0A707)内ケーブル工事
	配管配線 立上り・素通し・立下げ・707内立上げ立ち下げ

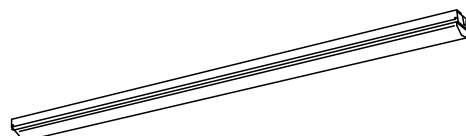




注 記

1.特記なき配管配線は下記とする。

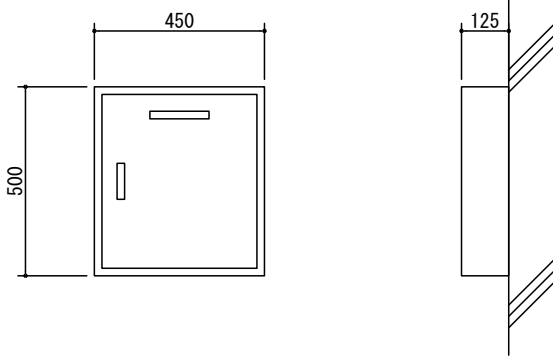
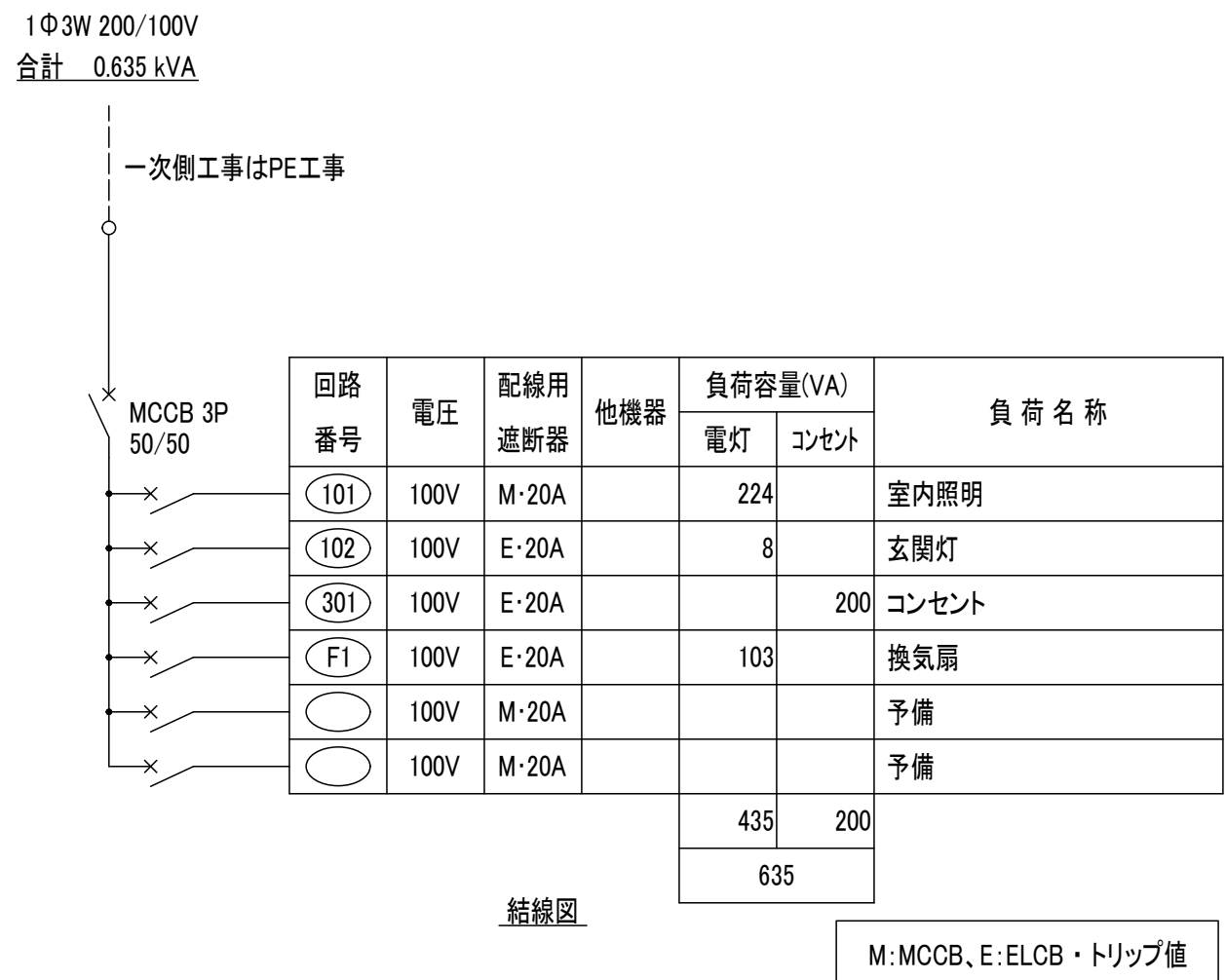
EM-IE 2.0×2	(HIVE16)
EM-IE 2.0×2 E2.0	(HIVE16)
EM-IE 2.0×3	(HIVE16)

EM-IE 2.0×2 E2.0	2種金属線び40×45
EM-IE 2.0×3 E2.0	2種金属線び40×45
EM-IE 2.0×4 E2.0	2種金属線び40×45

照明器具姿図

A	直付トラフ型 (LSS1)			
				
記号	適用・公共型番・参考型番	光束(lm)	入力容量(VA)	シンボル
A465	LSS1-4-65	6,500	56	
A465B	K1-LSS1-4-65	6,500	56	
B	LEDポーチライト(人感センサー付)			
				
記号	適用・公共型番・参考型番	光束(lm)	入力容量(VA)	シンボル
B540	パナソニック LGWC81290LE1相当	540	7.1	

分電盤(L-1)結線図、参考姿図



鋼板製屋内壁掛型

参考姿図
注記)寸法は参考とする

参考数量書

§ 工事名称 (仮称) 東中条ポンプ所新築工事

§ 工事場所 福山市 神辺町地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

工事名称 (仮称) 東中条ポンプ所新築工事

工事場所 福山市神辺町 地内

工事概要
・構造 RC造 平屋建
・規模 延べ面積 31.42m²
・その他 擁壁工 一式
・換気設備工事 一式
・電灯設備工事 一式

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
防水		1		式		
タイル		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
計						

建築工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
コンクリート	内部仕上	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
型枠	外部仕上	1	式		
型枠	内部仕上	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
タイル	外部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	小規模	31.4	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	小規模 - -	31.4	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	小規模 - -	31.4	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	小規模 - -	31.4	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0005
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	137	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	31.2	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築電気設備工		電灯設備		電灯コンセント分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配線器具		1	式			別紙 00-0023
タンプ°ラスイッチ	連用(ネ-ム無) 1P15A	1	個			
スイッチ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P4A(L)	1	個			
コンセント (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×1 - 125V	1	個			
コンセント (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×2 (接地極×2 接地端子×1付 一体形) 125V	2	個			
計						
電線		1	式			別紙 00-0024
600V耐燃性ﾌﾟﾚｰﾄ 絶縁電線(EM-IE)	2.0mm	176	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0025
耐衝撃性 硬質ﾍﾞﾆｰﾙ管(HIVE)	露出配管 16mm	49	m			
計						
金属線び		1	式			別紙 00-0026
2種金属線び(MM2)	C型 幅40×高さ45mm	10	m			
計						

[illegible]